

南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事

設 計 図

令和7年 3月

表紙含め 57枚

発注者 南 房 総 市

設計者 間宮建築設計事務所

図 面 リ ス ト

図面番号	建 築 図 面 名 称	縮 尺	図面番号	電 気 設 備 図 面 名 称	縮 尺	図面番号	機 械 設 備 図 面 名 称	縮 尺
A-01	建築改修工事特記仕様書（1）	S=N0T	E-01	電気設備特記仕様書（1）	S=N0T	M-01	機械設備工事特記仕様書（1）	S=N0T
A-02	建築改修工事特記仕様書（2）	S=N0T	E-02	電気設備特記仕様書（2）	S=N0T	M-02	機械設備工事特記仕様書（2）	S=N0T
A-03	建築改修工事特記仕様書（3）	S=N0T	E-03	案内図・配置図	A1：S=1/500 A3：S=1/1000	M-03	機械設備工事特記仕様書（3）	S=N0T
A-04	建築改修工事特記仕様書（4）	S=N0T	E-04	電気工事凡例	S=N0T	M-04	案内図・配置図	A1：S=1/500 A3：S=1/1000
A-05	建築改修工事特記仕様書（5）	S=N0T	E-05	幹線・動力設備 1階外構図	A1：S=1/150 A3：S=1/300	M-05	空調機機器表	S=N0T
A-06	建築改修工事特記仕様書（6）	S=N0T	E-06	受変電設備 単線結線図（既設改修）	S=N0T	M-06	空調設備系統図	S=N0T
A-07	建築改修工事特記仕様書（7）	S=N0T	E-07	電灯・動力分電盤（LP-1・2L-2）単線結線図	S=N0T	M-07	1、2階空調ダクト図	A1：S=1/200 A3：S=1/400
A-08	建築改修工事特記仕様書（8）	S=N0T	E-08	動力分電盤（1P-E）単線結線図（新設）	S=N0T	M-08	1、2階空調冷媒管図	A1：S=1/200 A3：S=1/400
A-09	案内図	A1：S=1/2500 A3：S=1/5000	E-09	1、2階コンセント設備図	A1：S=1/200 A3：S=1/400	M-09	1、2階空調リモコン配線図	A1：S=1/200 A3：S=1/400
A-10	配置図	A1：S=1/400 A3：S=1/800	E-10	1階電灯設備図（撤去・改修）	A1：S=1/200 A3：S=1/400	M-10	空調室外機基礎図	A1：S=1/30 A3：S=1/60
A-11	仕上表 1	S=N0T	E-11	2階電灯設備図（撤去・改修）	A1：S=1/200 A3：S=1/400			
A-12	仕上表 2	S=N0T	E-12	非常放送系統図	S=N0T			
A-13	仕上表3	S=N0T	E-13	1階弱电設備図（撤去・改修）	A1：S=1/200 A3：S=1/400			
A-14	1階、2階平面図	A1：S=1/200 A3：S=1/400	E-14	2階弱电設備図（撤去・改修）	A1：S=1/200 A3：S=1/400			
A-15	3階、R階平面図	A1：S=1/200 A3：S=1/400	E-15	火災報知設備系統図	S=N0T			
A-16	立面図	A1：S=1/200 A3：S=1/400	E-16	1階火災報知設備図（撤去・改修）	A1：S=1/200 A3：S=1/400			
A-17	A棟断面図	A1：S=1/50 A3：S=1/100	E-17	2階火災報知設備図（撤去・改修）	A1：S=1/200 A3：S=1/400			
A-18	B棟断面図	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
A-19	C棟断面図	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
A-20	1階、2階天井伏図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-21	3階、R階天井伏図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-22	改修建具キープラン	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-23	改修建具表	A1：S=1/40 A3：S=1/80						
A-24	外部足場仮設計画図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-25	8月工事作業範囲図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-26	9月工事作業範囲図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-27	10月工事作業範囲図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						
A-28	11月、12月工事作業範囲図	A1：S=1/200 A3：S=1/400						

[illegible]

2

仮設工事

○ 1 騒音 粉じん等の対策

2. 1. 3]

● 2 足場その他

2. 2. 1]

○ 3 既存部分の養生

2. 3. 1]

○ 4 仮設間仕切り

2. 3. 2][表2. 3. 1]

● 5 監督職員事務所

2. 4. 1]

○ 6 監督職員事務所の備品等

● 7 工事用水

● 8 工事用電力

○ 9 仮囲い等

○10 仮設道路

●11 交通誘導員

○ 1 施工数量調査

1. 6. 2. 3]

○ 2 降雨等に対する養生方法（とい共）

3. 1. 3]

○ 3 既存防水の処理

3. 1. 4] 3. 2. 3. 4. 6]

○ 4 既存下地の処理

3. 2. 6]

○ 5 アスファルト防水

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

屋根保護防水（既存）

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 3. 3から表3. 3. 9]

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 3. 3から表3. 3. 9]

平場の保護コンクリートの厚さ

3. 3. 3から表3. 3. 9]

立上り部の保護工法

3. 3. 3から表3. 3. 9]

屋根露出防水（既存）

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 3. 3から表3. 3. 9]

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 3. 3から表3. 3. 9]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 3. 3から表3. 3. 9]

絶縁断熱工法の場合のルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置

3. 3. 3から表3. 3. 9]

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

3. 3. 3から表3. 3. 9]

屋内防水

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

防水層の種類

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

保護層

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

屋上排水溝

3. 3. 2～5][表3. 3. 3～10]

○ 6 改質アスファルトシート防水

3. 4. 2～4][表3. 4. 1～3]

屋根露出防水（既存）

3. 4. 2～4][表3. 4. 1～3]

改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 4. 1から表3. 4. 3]

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 4. 1から表3. 4. 3]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 4. 1から表3. 4. 3]

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

3. 4. 1から表3. 4. 3]

絶縁断熱工法の防湿用シート

3. 4. 1から表3. 4. 3]

新設防水層の種類

3. 5. 2～4][表3. 5. 1～3]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 5. 1から表3. 5. 3]

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 5. 1から表3. 5. 3]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 5. 1から表3. 5. 3]

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

3. 5. 1から表3. 5. 3]

絶縁断熱工法の防湿用シート

3. 5. 1から表3. 5. 3]

新設防水層の種類

3. 5. 2～4][表3. 5. 1～3]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 5. 1から表3. 5. 3]

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 5. 1から表3. 5. 3]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 5. 1から表3. 5. 3]

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

3. 5. 1から表3. 5. 3]

絶縁断熱工法の防湿用シート

3. 5. 1から表3. 5. 3]

○ 8 塗膜防水

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

新設防水層の種類

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

新設防水層の種類

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

絶縁断熱工法の防湿用シート

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

新設防水層の種類

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

絶縁断熱工法の防湿用シート

3. 6. 2～4][表3. 6. 1～3]

● 9 シーリング

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング改修工法の種類

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 1. 4][3. 7. 2～8]

○ 10 保証年限

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

シーリング材の種類、施工箇所

3. 7. 2～8]

間宮建築設計事務所

千葉県南房総市和田町花園 9 7 ー 6 番地

T E L 0470-47-5520

F A X 0470-47-5540

一級建築士 大臣登録 第208415号

千葉県知事登録 第1-2209-4705号

間宮 幸男

工事名

南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事

製 年 月 日

R7. 3. 7

図 名

建築改修工事特記仕様書（2）

R5. 10

製 図

間宮

A-02

[illegible]

5

建具改修工事

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類

ガラス留め材

ガラス溝の大きさ(mm)

アルミニウム製

○シーリング材
○グレイジングチャンネル
○

窓建具の製造所の仕様による
○図示
○

鋼製及び鋼製軽量

○シーリング材
○

窓建具の製造所の仕様による
○図示
○

ステンレス製

○シーリング材
○

窓建具の製造所の仕様による
○図示
○

樹脂製

○グレイジングチャンネル
○

窓建具の製造所の仕様による
○図示
○

○20 ガラスブロック

呼び寸法 (mm)

厚さ (mm)

色調

目地幅 (mm)

伸縮調整目地位置 (mm)

防火性能

○160×160

○95
○

○200×200

○95
○

壁用金属枠及び補強材

窓図示

○

力骨 材質 窓ステンレス鋼(SUS304)

寸法 窓径5.5mm

○

形状 窓はしご形状横筋及び単筋

○

化粧目地モルタルの色 (○白 ○グレー)

金属製化粧カバー 材質 ○ステンレス製 ○アルミニウム製

寸法 窓図示 ○

形状 窓図示 ○

目地部の横力骨の納まり

窓ガラスブロック製造所の仕様による

○図示 ○

工法

1-4 適用区分による風圧力の (○1 ○1.5 ○1.3) 倍の風圧力に対応した工法

○21 ガラス用フィルム

種 類

記 号

その他性能等

○日射調整フィルム

○SC-1

○SC-2

○低放射フィルム

○LE

○衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム

○GI-1

○GI-2

○相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム

○GD-1

○GD-1

○ガラス貫通防止フィルム

○SF

品質 JIS A 5759Iによる

6

内装改修工事

○1 改修範囲

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

窓壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○図示

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

窓壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

○図示

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

窓既存のまま

○図示

○2 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去

窓仕上げ材のみ (接着剤とも)

○下地モルタルとも (○図示の範囲 ○除去範囲全て)

合成樹脂塗床材の除去工法

○機械的除去工法

○目荒し工法

改修後の床の清掃範囲

窓室内の改修箇所

○

○3 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修

窓改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り

○

(全塗厚が25mmを超える場合の処理

窓図示)

○4 施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量

窓F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (㏽) (b)による

○

○5 製材

○

○JAS1083-5 製材-第5節に基づく下地用製材

施工箇所

寸法 (mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

窓2級
○

窓A種 ○B種

○

○

窓2級
○

窓A種 ○B種

○

○

○JAS1083-2 製材-第2節に基づく造作用製材

施工箇所

寸法 (mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

見え係り面

窓上小筋
○

窓A種 ○B種

○

○

見え係り面以外

窓小筋以上
○

窓A種 ○B種

○

○

○JAS1083-6 製材-第6節に基づく広葉樹製材

施工箇所

寸法 (mm)

等級

含水率

保存処理

間伐材等の適用

窓1級
○

窓10%以下
○A種 ○B種

○

○

窓1級
○

窓10%以下
○A種 ○B種

○

○

窓1級
○

窓10%以下
○A種 ○B種

○

○

○JAS1083 (製材) 以外の製材

施工箇所

寸法 (mm)

材面の品質

防虫処理

含水率

間伐材等の適用

()
造作材の場合 (窓A種 ○B種)

○適用する

窓A種
○B種

○

○

()
造作材の場合 (窓A種 ○B種)

○適用する

窓A種
○B種

○

○

○6 造作用修材

○

○「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所

品名

樹種名

寸法 (mm)

化粧薄板の見付け材面

見付け材面の品質

間伐材等の適用

窓1等 ○2等
○2等

○

○「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所

品名

樹種名

寸法 (mm)

化粧薄板の厚さ (mm)

見付け材面の品質

見付け材面の品質

間伐材等の適用

窓1等 ○2等

○

○「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所

樹種名

寸法 (mm)

見付け材面の品質

含有率

間伐材等の適用

窓15%以下
○

○

○「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所

樹種名

寸法 (mm)

化粧薄板の厚さ (mm)

品質

含水率

間伐材等の適用

化粧薄板: 芯材: 化粧薄板: 芯材:

窓15%以下
○

○

○7 造作用単板積層材

○

○JAS0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所

品名

寸法 (mm)

表面の品質

防虫処理

間伐材等の適用

○適用する
○適用しない

○

○JAS0701以外の造作用単板積層材

施工箇所

寸法 (mm)

表面の品質

含水率

防虫処理

間伐材等の適用

窓14%以下
○

○適用する
○適用しない

○

○JAS3079Iに基づく直交集成板

施工箇所

品名

強度等級

種別

接着性能 (使用環境)

樹種名

寸法 (mm)

間伐材等の適用

○

○「合板の日本農林規格」による普通合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

間伐材等の適用

窓1類
○2類

広葉樹
針葉樹

窓2等以上
窓C-D以上

○1等
○

○適用する
○適用しない

○

○「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

板面の品質

防虫処理

強度等級

間伐材等の適用

窓2級
以上
○1級

窓1類
○特類

窓C-D
以上
○

窓12
○

○適用する
○適用しない

○適用する
○適用しない

○

○「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

防虫処理

間伐材等の適用

○特類
○1類

○適用する
○適用しない

○適用する
○適用しない

○

○「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所

厚さ (mm)

化粧板に使用する単板の樹種名

接着の程度

防虫処理の適用

○1類
○2類

○適用する
○適用しない

○適用する
○適用しない

○「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所

厚さ (mm)

単板の樹種名

接着の程度

化粧加工方法

防虫処理の適用

○1類
○2類

○適用する
○適用しない

○適用する
○適用しない

○パーティクルボード

施工箇所

厚さ (mm)

表表面の状態による区分

曲げ強さによる区分

耐水性による区分

6

内装改修工事

●25

せっこうボード
その他のボード
張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
木質系セメント板

種類	厚さ(mm)、規格等
○硬質(HW)	○15 ○20 ○25 ○
○中質(MW)	○15 ○20 ○25 ○
○普通(NW)	○15 ○20 ○25 ○

木片セメント板

種類	厚さ(mm)、規格等
○硬質(HF)	○12 ○15 ○18 ○21 ○
○普通(NF)	○30 ○

繊維強化セメント板

種類	厚さ(mm)、規格等
○けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2(無石綿) ○6 ○8
○化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FKタイプ2(無石綿) ○6 ○8 表面への化粧張り等の加工 ○アクリル樹脂系統付け ○

火山性ガラス質複層板

種類	厚さ(mm)、規格等
○火山性ガラス質複層板	○図示

繊維板

種類	厚さ(mm)、規格等
○ハードボード(素地) スタンダードボード(無処理)	○素地ハードボード (○未研磨板(RN) ○研磨板(RS)) ○内装用化粧ハードボード(D1) ○2.5 ○3.5 ○5 ○7
○テンパードボード(処理)	○素地ハードボード (○未研磨板(RN) ○研磨板(RS)) ○外装用化粧ハードボード(DE) ○2.5 ○3.5 ○5 ○7
○ミディアムデンシティ ファイバーボード(MDF)	○3 ○7 ○9 ○12
○インシュレーションボード	A級(○天井仕上 ○内装仕上 ○) ○9 ○12 ○15 ○18

パーティクルボード

種類	厚さ(mm)、規格等
○単板張りパーティクルボード	○無研磨板(VN) ○研磨板(VS) ○10 ○12 ○15 ○18
○化粧パーティクルボード	○単板オフ・レイ(DV) ○オフ・レイ(DO) ○塗装(DC) ○10(難燃) ○12(難燃) ○

吸音材料

種類	厚さ(mm)、規格等
○ロックウール化粧吸音板(DR)	○フラットタイプ (○9(不燃) ○12(不燃) ○) ○凹凸タイプ (○12(不燃) ○15(不燃) ○)
○ロックウール吸音ボード1号	○25 ○
○グラスウール吸音ボード32K	○25(※ラップ包装) ○

せっこうボード製品

種類	厚さ(mm)、規格等
○せっこうボード(GB-R)	○12.5(不燃) ○15(不燃)
○不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5(不燃) ○化粧無(下地張り用) ○化粧有(トラバーチン模様)
○シージングせっこうボード(GB-S)	○12.5(※不燃 ○準不燃)
○強化せっこうボード(GB-F)	○12.5(不燃) ○15(不燃)
○せっこうラウボード(GB-L)	9.5
●化粧せっこうボード(GB-D)	○木目 12.5(不燃) 幅440mm程度 模様(○柱目 ○板目) 専用下地材有り ●トラバーチン模様 9.5(準不燃)

合板

種類	厚さ(mm)、規格等
○普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※サツ合板程度 ○) 不透明塗料塗り (※しな合板程度 ○) 板面の品質 ○ 厚さ(mm) ※図示 ○ 防虫処理 ○行う ○行わない
○天然木化粧合板	化粧板の樹種名 ○ 厚さ(mm) ※図示 ○ 防虫処理 ○行う ○行わない
○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法(○オフ・レイ ○7・リット ○塗装) 表面性能()タイプ 厚さ(mm) ※図示 ○ 防虫処理 ○行う ○行わない

化粧板

○メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による(※1.2 ○)
○ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合

※図示 ○

合板類の張付け

○A種 ※B種 ○

せっこうボードの目地工法等

目地工法の種類

※仕上げ表による

○26

壁紙張り

○27

モルタル塗り

○28

タイル張り

○29

セルフレベリング
材塗り

6-2

天井・床・壁・その他の仕上

○1

フリーアクセス
フロア

○20

20.2.1

○21

20.2.2

○22

20.2.3

○23

20.2.4

○24

20.2.5

○25

20.2.6

○26

20.2.7

○27

20.2.8

○28

20.2.9

○29

20.2.10

○30

20.2.11

○31

20.2.12

○32

20.2.13

○33

20.2.14

○34

20.2.15

○35

20.2.16

○36

20.2.17

○37

20.2.18

○38

20.2.19

○39

20.2.20

○40

20.2.21

○41

20.2.22

○42

20.2.23

○43

20.2.24

○44

20.2.25

○45

20.2.26

○46

20.2.27

○47

20.2.28

○48

20.2.29

○49

20.2.30

○50

20.2.31

○51

20.2.32

○52

20.2.33

○53

20.2.34

○54

20.2.35

○55

20.2.36

○56

20.2.37

○57

20.2.38

○58

20.2.39

○59

20.2.40

○60

20.2.41

○61

20.2.42

○62

20.2.43

○63

20.2.44

○64

20.2.45

○65

20.2.46

○66

20.2.47

○67

20.2.48

○68

20.2.49

○69

20.2.50

○70

20.2.51

○71

20.2.52

○72

20.2.53

○73

20.2.54

○74

20.2.55

○75

20.2.56

○76

20.2.57

○77

20.2.58

○78

20.2.59

○79

20.2.60

○80

20.2.61

○81

20.2.62

○82

20.2.63

○83

20.2.64

○84

20.2.65

○85

20.2.66

○86

20.2.67

○87

20.2.68

○88

20.2.69

○89

20.2.70

○90

20.2.71

○91

20.2.72

○92

20.2.73

○93

20.2.74

○94

20.2.75

○95

20.2.76

○96

20.2.77

○97

20.2.78

○98

20.2.79

○99

20.2.80

○100

20.2.81

○101

20.2.82

○102

20.2.83

○103

20.2.84

○104

20.2.85

○105

20.2.86

○106

20.2.87

○107

20.2.88

○108

20.2.89

○109

20.2.90

○110

20.2.91

○111

20.2.92

○112

20.2.93

○113

20.2.94

○114

20.2.95

○115

20.2.96

○116

20.2.97

○117

20.2.98

○118

20.2.99

○119

20.2.100

間宮建築設計事務所

千葉県南房総市和田町花園897-6番地

T E L 0470-47-5520
F A X 0470-47-5540

一級建築士 大臣登録 第208415号
千葉県知事登録 第1-2209-4705号
間宮 幸男

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事
図名 建築改修工事特記仕様書(6)
製図 間宮

竣工年月日 R7.3.7
R5.10

A-06

6-2

ユニ

ニ

タ

ト

他

の

工

事

○21

くつふきマット

材種		受け枠		備考
○塩化ビニル又はゴム製		○ステンレス鋼 (SUS304)		
○硬質アルミニウム合金製		○硬質アルミニウム合金		
○ステンレス鋼 (SUS304) 製		○		
○				

○22

流し台ユニット

材 種	寸法 (mm)			備考
	W	D	H	
○流し台	○1200 ○1500 ○1800	○550 ○600 ○650	○800 ○850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
○コンロ台	○600	○550 ○600 ○650	○620 ○670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
○つり戸棚	○1200 ○900	○450	○500 ○700	市販品
○水切り	○1200 ○900 ○600			市販品 ステンレス製 ○1段式 ○

品質、性能
外観はJIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の既定による。

形状

図表示 ○

○23

鋼製書架及び物品棚

種 類	規格等	JISによる種類
○鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	○1 種 ○2 種 ○3 種
○鋼製物品棚		○4 種 ○5 種 ○6 種

○24

屋内掲示板

枠の材質 図アルミニウム製 ○

表面の材質 図塩ビ発泡シート張り ○

○25

洗面カウンター

材 種 ○メラミン樹脂化粧板張り (心材：集成材) ○人工大理石

奥行き (mm) ○約 450 ○約 600

○26

防煙垂れ壁

○固定式

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
○鋼入り磨板ガラス	図6.8	図500	アルミ製枠付き
○線入り磨板ガラス	○	○	

○可動式

種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
○垂直降下式 (巻取り型)	図 不燃布 (不燃認定品)	図500 ○800 ○	ガイドレール 図 固定式 (壁埋込型) ○ 可動式 (天井収納型)
○回転降下式	鋼板製又はアルミ製	図500 ○800 ○	表面仕上げ 図 天井材張り ○

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

○28

収納家具

材料のホルムアルデヒドの放散量 図F☆☆☆☆ ○

材質、形状、寸法 図表示 ○

7

塗装改修工事

○ 1 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 図F☆☆☆☆ ○

防火材料 図屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
○次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

○ 2 下地調整

塗替えRＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲 図劣化部分は除去し、活膜部分は残す ○図示 ○

既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ○行う (箇所) ○行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種類	ひび割れ部の補修
木部	図不透明塗料塗りの場合はRＢ種 ○	
鉄鋼面	図RＢ種 ○	
垂鉛めっき面	図RＢ種 ○	
垂鉛めっき面 (鋼製建具等)	図RＢ種 / ○	
モルタル、	図RＢ種 ○	○行う
せっこうプaster面		○行わない
コンクリート面 (DP以外)、	図RＢ種 ○	○行う
ALCパネル面		○行わない
押出成形セメント板面	○RA種 ○RB種 ○RC種	○行う
コンクリート面 (DP)	○RB種 ○RC種	○行う
せっこうボード面及び	図RＢ種 ○	○行わない
その他ボード面		

○ 3 素地ごしらえ

[7.1.3]

[7.2.1～7] [表7.2.1～7]

[7.3.2～7] [表7.3.1～7]

○ 4 錆止め塗料塗り

[7.4.2、3] [表7.4.1～6]

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種別	
鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛り 新規見え隠れ	A種 A種 A種	図C種 ○ 図A種 ○ 図B種 ○
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え 新規見え掛り 新規見え隠れ	図B種 ○A種 図B種 ○A種 図B種 ○A種	○ ○ ○
	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え 新規	7.4.2(1) (4) (b)による。 7.4.2(1) (4) (a)による。	○A種 (下地調整R A種) ○B種 (下地調整R B種) ○C種 (下地調整R C種) ○A種
	垂鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5) EP-G (工程の種別は表7.4.5) DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え 新規 新規 鋼製建具等 その他 鋼製建具等 その他 塗替え 新規	図A種 ○B種 図A種 ○B種 図A種 ○B種 図A種 ○B種 図A種 ○B種 図A種 ○B種 図A種 ○B種 図A種 ○B種

[7.5.2～7.12.2] [表7.5.1～7.13.1]

塗装の種類	塗装面	塗替え	新規
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	図B種 ○	図A種 ○
塗料の種類	木部屋内	図B種 ○	図B種 ○
図1種 ○2種	鉄鋼面	図B種 ○	図B種 ○A種
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	図A種 ○	図B種 ○
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	図B種 ○	図B種 ○
○クリヤラッカー塗り (CL)		図B種 ○A種	図B種 ○A種
○アクリル樹脂系非分散型塗料塗り (NAD)		図B種 ○A種	図B種 ○A種
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面		
	上塗り等級 () 級		
	垂鉛めっき鋼面		
	上塗り等級 () 級		
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	○A-1種 ○A-2種 ○B-1種 ○B-2種 ○C-1種 ○C-2種	○A-1種 ○ ○B-1種 ○ ○C-1種 ○
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	図B種 ○	図B種 ○A種
	屋内の木部	図B種 ○	図A種 ○
	屋内の鉄鋼面	図B種 ○	図B種 ○A種
	屋内の垂鉛めっき面	図A種 ○	図A種 ○B種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		図B種 ○	図B種 ○A種
○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		図B種 ○	図B種 ○A種
○ステイン塗り		○ビグメントステイン塗り	○
		○オイルステイン塗り (OS)	○
○木材保護塗料塗り (WP)		図B種 ○A種	図B種 ○A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、セメント面、せっこうボード面、木部屋外、木部屋内、その他ボード面) の塗替えの場合のしきり
図B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきり止めシテとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり
図B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきり止めシテとする
○高反射率塗料塗り [G]
下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ○RA種 図RB種 ○RC種

工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量 (kg/m ²)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	○1 級 ○2 級 ○3 級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
○適用しない
○適用する (着色剤：○溶剤系着色剤 ○油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
○適用する
○適用しない
オイルステイン塗りの工程等
○製造所の仕様による

○ 5 塗装

[7.5.2～7.12.2] [表7.5.1～7.13.1]

塗装の種類

塗装の種類	塗装面	塗替え	新規
○合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	図B種 ○	図A種 ○
塗料の種類	木部屋内	図B種 ○	図B種 ○
図1種 ○2種	鉄鋼面	図B種 ○	図B種 ○A種
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	図A種 ○	図B種 ○
	垂鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	図B種 ○	図B種 ○
○クリヤラッカー塗り (CL)		図B種 ○A種	図B種 ○A種
○アクリル樹脂系非分散型塗料塗り (NAD)		図B種 ○A種	図B種 ○A種
○耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面		
	上塗り等級 () 級		
	垂鉛めっき鋼面		
	上塗り等級 () 級		
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	○A-1種 ○A-2種 ○B-1種 ○B-2種 ○C-1種 ○C-2種	○A-1種 ○ ○B-1種 ○ ○C-1種 ○
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面等	図B種 ○	図B種 ○A種
	屋内の木部	図B種 ○	図A種 ○
	屋内の鉄鋼面	図B種 ○	図B種 ○A種
	屋内の垂鉛めっき面	図A種 ○	図A種 ○B種
○合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		図B種 ○	図B種 ○A種
○ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		図B種 ○	図B種 ○A種
○ステイン塗り		○ビグメントステイン塗り	○
		○オイルステイン塗り (OS)	○
○木材保護塗料塗り (WP)		図B種 ○A種	図B種 ○A種

つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コンクリート面、セメント面、せっこうボード面、木部屋外、木部屋内、その他ボード面) の塗替えの場合のしきり
図B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきり止めシテとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり
図B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきり止めシテとする
○高反射率塗料塗り [G]
下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ○RA種 図RB種 ○RC種

工程	規格番号	規格名称	種類	等級	塗付量 (kg/m ²)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	○1 級 ○2 級 ○3 級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
○適用しない
○適用する (着色剤：○溶剤系着色剤 ○油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
○適用する
○適用しない
オイルステイン塗りの工程等
○製造所の仕様による

○ 6 有害物質の処理

[9.1.1、3～6]

石綿含有建材の除去工事

除去処理対象物質 ○PCB ○六価クロム ○

除去対象物 ○

除去対象範囲 ○図示 ○

除去方法 ○

処分 ○

有害物質の取扱については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に処理すること。

8

環境配慮改修工事

● 1 石綿含有建材の除去工事

[9.1.1、3～6]

石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
○ 測定 1	処理作業前		処理作業室内	○計 点
			調査対象室外部の付近	○計 点
			処理作業室内	○計 点
			集合・排気装置の出入口	○計 点
			集合・排気装置の風速 1m/s以下の位置	○計 点
○ 測定 2	処理作業中		処理作業室内	○計 点
			処理作業室外	○計 点
○ 測定 3	処理作業後 (シト養生中)		施工区画周辺	○計 点
			敷地境界	○計 点
			処理作業室内	○計 点
			調査対象室外部の付近	○計 点
			撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近

○ 3 PCB含有シーリング材の処分

測定方法

○自動測定器による測定

測定名称	測定方法
○測定 4	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

○JIS K 3850-1 に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ	試料の吸引流量 (l/min)	試料の吸引時間 (min)
○測定 4	25	5	30
○測定 5			
○測定	47	10	120
○測定			
○測定	47	10	240
○測定			

石綿含有建材の処理

○石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲 ○図示 ○

除去方法

図改修標準仕様書9.1.3 (2) (7)による

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

図湿潤化 ○図固化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

○埋立処分 (管理型最終処分場)
○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有保温材等 (石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む) の除去

除去対象範囲 ○図示 ○

除去方法

○破碎して除去 ○手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止

図湿潤化 ○図固化

除去した石綿含有保温材等の処分

○埋立処分 (管理型最終処分場)
○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外) の除去

除去対象範囲 ○図示 ○

除去した石綿含有成形板の処分

○石綿含有せっこうボード
図埋立処分 (管理型最終処分場)
○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板

○埋立処分 (安定型最終処分場)
○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)

○石綿含有成形板 (石綿含有けい酸カルシウム板第一種) の除去

除去対象範囲 ○図示 ○

隔離養生 (負担不要) 方法

○ビニールシート等による養生を行う ○

足場 ○図示 ○

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

○埋立処分 (安定型最終処分場)
○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)
○

○石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板 (下地調整材) の除去

除去対象範囲 ○図示 ○

着工前の試験施工 図行う ○行わない

除去方法

○集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
○集じん装置併用手工具ケレン工法
○集じん装置付き高圧水洗工法 (15MPa以下、30～50MPa程度)
○集じん装置付き超高圧水洗工法 (100MPa以上)
○剥離剤併用超音波ケレン工法
○剥離剤併用手工具ケレン工法
○剥離剤併用高圧水洗工法 (30～50MPa程度)
○剥離剤併用超高圧水洗工法 (100MPa以上)
○超音波ケレン工法 (HEPAフィルター付き掃除機併用)

養生方法

○

除去した石綿含有仕上塗材の処分

○埋め立て処分 (安定型最終処分場)
○埋め立て処分 (管理型最終処分場)
○中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示 ○

○ 4 外断熱改修工事

[9.2.1～4]

断熱材

断熱材の種類 ○

断熱材の厚さ (mm) ○

施工箇所 ○図示 ○

ホルムアルデヒド放散量 図F☆☆☆☆ ○

外装材

種類	防火性能	備考
○		

鋼材

改修標準仕様書表8.2.7による。

笠木

改修標準仕様書3章9節による。

既存外壁の処理

既存外壁仕上材の撤去 ○行う ○行わない

下面部の清掃 ○行う ○行わない

欠損部の改修工法

○改修標準仕様書4章による

○

工法

1-4 適用区分による風圧力 (○1 ○1.15 ○1.3) 倍の風圧力に対応した工法

不陸等の下地調整 ○

断熱材の施工 ○断熱材製造所の仕様による ○

外壁材の施工 ○外壁材製造所の仕様による ○

通気層の有無 ○有 () mm ○無

外装材の外壁への取付け ○図示 ○

笠木の施工 ○改修標準仕様書3章9節による ○

○ 5 断熱・防露改修工事

[9.3.2～4]

フェノールフォーム断熱材又は保温剤、接着剤のホルムアルデヒド放散量 図F☆☆☆☆ ○

開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 図F☆☆☆☆ ○

工法

○断熱材打込み工法

断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材

種類 ○

厚さ (mm) ○

施工場所 ○

○断熱材現場発泡工法

断熱材の種類 ○A種 1 ○A種 1 H ○

吹付け厚さ (mm) ○25 ○30 ○

施工場所 ○図示 ○

○断熱材後張り工法

断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材

種類 () 厚さ (mm) ()

○断熱材にせっこうボード等を貼り付けたパネル

材質 ○ 厚さ (mm)

○張り付け工法

断熱材の張り付け工法 ○

断熱材へのボードの張付け工法 ○

○ 6 屋上緑化改修工事

[9.4.1～4]

植栽基盤及び材料

○屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等 図表示 ○

見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 図表示 ○

品質、性能及び試験方法は建築材料等品質性能表 (改修) (2)9章 屋上緑化改修による工法

1-4 適用区分による風圧力の (○1 ○1.15 ○1.3) 倍の風圧力に対応した工法

かん水装置 ○設置する (種類 ○)

既存保護層の撤去 ○行う ○行わない

新植した芝及び地被類の枯保証の期間 図引き渡しの日から1年 ○

○ 7 透水性アスファルト舗装改修工事

[9.5.2～5、9] [表9.5.7]

適用範囲：歩道

既存舗装の撤去及び再利用 図表示 ○

路床

路床の材料

種別	材料	厚さ (mm)
○盛土	○A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○建設汚泥から再生した処理土 [G]	○図示 ○
○凍上抑制層	○再生クラッシャーラン [G] ○クラッシャーラン ○切込み砂利 ○砂 (改修標準仕様書表9.5.1による) ○	○図示 ○
○フィルター層	○改修標準仕様書表9.5.3 (2) (9)による	○図示 ○

○凍結抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験

○行う ○行わない

○路床安定処理 ○適用する ○適用しない

安定処理の方法 ○置き換え工法 () ○安定処理工法

路床安定処理添加材料

種類 ○普通ポルトランドセメント ○高炉セメントB種 [G]
○フライアッシュセメントB種
○生石灰 (○特号 ○1号) ○消石灰 (○特号 ○1号)
添加量 ○ kg/m³ (目標CBR 図3以上 ○)

目標CBRを満足する添加量の確認方法

○安定処理土のCBR試験 ○

○ジオテキスタイル

単位面積質量 ○60g/m²以上 ○

厚さ (mm) ○0.5～1.0 ○

引張強さ ○98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ○

透水係数 ○1.5×10⁻¹cm/sec以上 ○

間宮建築設計事務所

千葉県南房総市和田町花園97-6番地

T E L 0470-47-5520
F A X 0470-47-5540

一級建築士 大臣登録 第208415号
千葉県知事登録 第1-2209-4705号
間宮 幸男

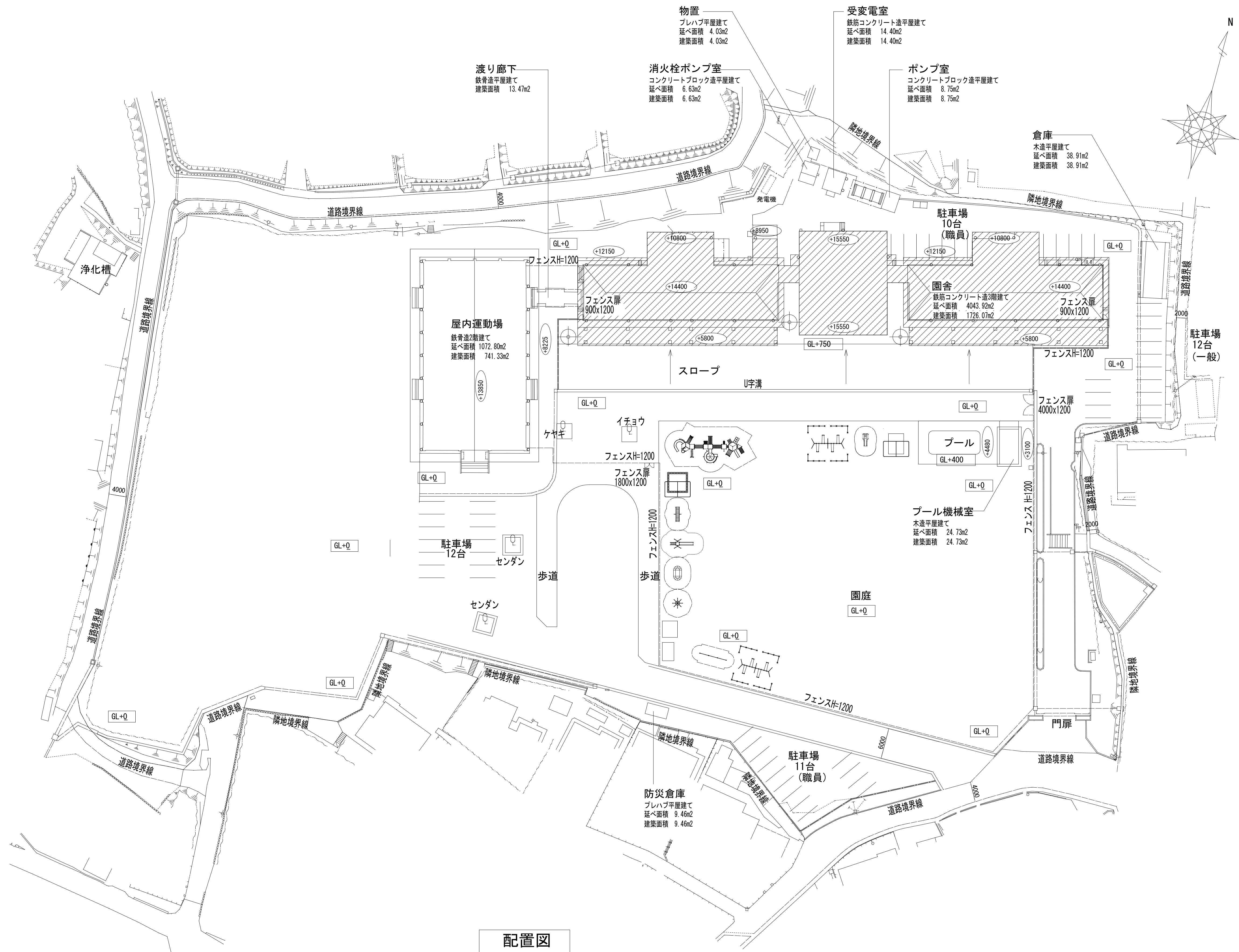
工 事 名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事 設 画 月 日 R7.3.7
図 名 建築改修工事特記仕様書 (7) R5.10
製 図 間宮

A-07



案内図 S=1/2500

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所	一級建築士 大臣登録 第208413号 千葉県知事登録 第1-2209-4703号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 案内図	図面NO A-09
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 1/2500	



配置図

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事				間宮建築設計事務所 一級建築士 大臣登録 第208413号 千葉県知事登録 第1-2209-4703号 間宮 幸男		管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 配置図		図面NO A-10
備考				千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		日付	日付	日付	縮尺 1/400		

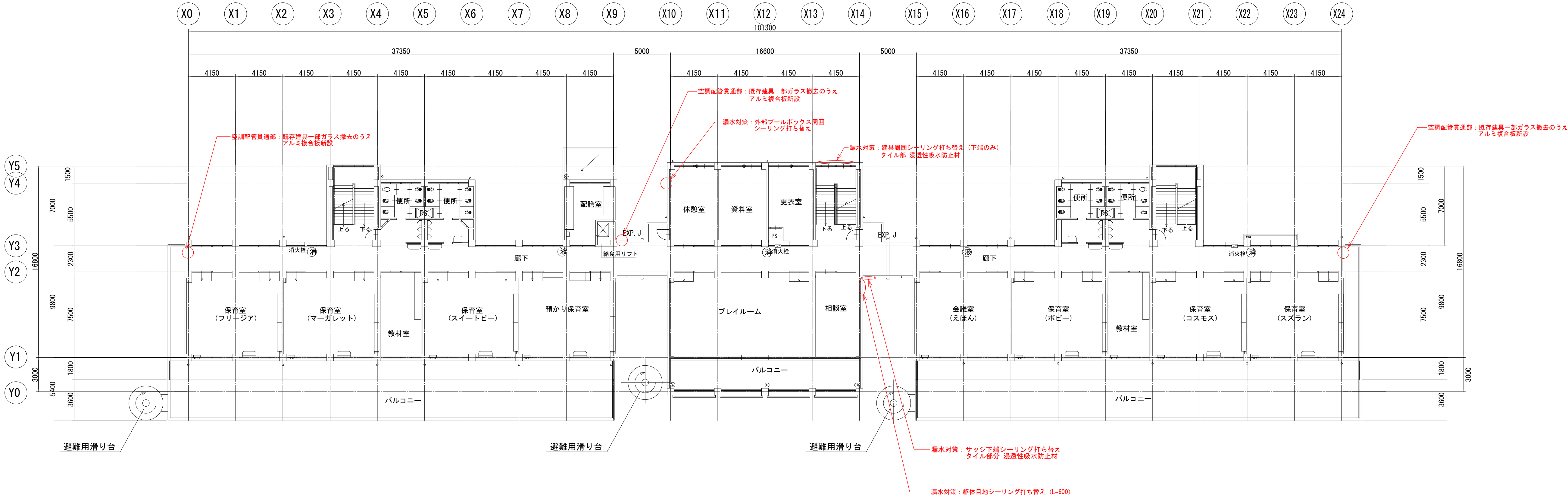
内部仕上										内部仕上										
階	室 名	部 位	既設仕上		改修後仕上				備考	階	室 名	部 位	既設仕上		改修後仕上				備考	
			下地		下地		下地						下地		下地					
1階	職員室 保健コーナー 医務スペース 図長室	床	コンクリート	フリースアクセスフロア カーベツト敷	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800	1階	階段	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=3000*3600	
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	一部モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				壁	コンクリート	下地調整 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
				ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない						LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				天井	コンクリート 軽鉄	ミ75t吹付（石綿含有なし） 石膏ボードt=9mm下地、岩綿吸音板t=9mm	コンクリート 軽鉄	既存のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない		
		その他						その他					階段両側手摺取付							
	保育室 （ひよこ）	床	コンクリート	乾式二重床 耐水合板 厚9mm 複合フローリング厚15mm張（床暖房） 一部床暖房用畳 厚15mm	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800		玄関	床	コンクリート	モルタル下地 磁器タイル張	コンクリート	既存のまま	規制対象外	添加材料を使用しない	天井高 H=2900	
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	幅木			コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り 一部モルタル金ごて 掲示マグネット壁紙張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	壁			コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
				ケイカル板厚8mm張 (NM-8578) EP-G塗り 石膏ボード厚9mm張+掲示マグネット壁紙張	LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆		添加材料を使用しない
		天井	軽鉄	化粧石膏吸音ボード厚9mm (NM-0879)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	その他						壁天井除菌清掃					
		床 （スロープ）	コンクリート	長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	床			コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2500		
	その他						幅木	コンクリート	ビニル幅木H100		コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない						
	保育室 （りす） （きりん） （ばんだ） （こあら）	床	コンクリート	乾式二重床 耐水合板 厚9mm 複合フローリング厚15mm張（床暖房）	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800		更衣室	幅木	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2500	
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	壁			コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り 一部モルタル金ごて 掲示マグネット壁紙張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	壁			コンクリート	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
				ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					その他				既設換気扇分解清掃			
		天井	軽鉄	化粧石膏吸音ボード厚9mm (NM-0879)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	床			コンクリート	長尺シート張り	コンクリート	既存のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	天井高 H=2900		
床 （スロープ）		コンクリート	長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り		コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
沐浴トイレ 調乳室	床	コンクリート	乾式二重床 耐水合板 厚12mm二重張 +長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800（沐浴トイレ） 天井高 H=2400（調乳室）		ゆうぎ室	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900		
	幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井	軽鉄		モルタル金ごて EP-G塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	壁	コンクリート		モルタル金ごて EP-G塗り 一部モルタル金ごて EP-G塗り 化粧石膏ボード厚9mm張+掲示マグネット壁紙張 ケイカル板厚8mm張 (NM-8578) EP-G塗り	LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
			ケイカル板 厚6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				化粧石膏ボード厚9mm張 (NM-0879)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
	天井	軽鉄	ケイカル板 厚6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	その他					壁天井除菌清掃、床除菌清掃MAX仕上げ 既設空調機及び換気扇分解清掃							
	その他						昇降口	床	コンクリート		モルタル下地 長尺塩ビシート張 モルタル下地 磁器質タイル張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900				
洗濯・シャワー室	幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない						
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない						
			ケイカル板厚8mm EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない							
	天井	軽鉄	ケイカル板 厚6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井	軽鉄	化粧石膏ボード9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない						
	その他						その他				壁天井除菌清掃 床除菌清掃・長尺シート部分MAX仕上げ									
	前室 （多目的便所）	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2500		調理室、下処理室	床	コンクリート	モルタル下地 エポキシ樹脂塗床 モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900*2100	
幅木		コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	幅木	コンクリート	塗床材立上り、ビニル幅木H100		コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
壁		コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	アレルギー調理室	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
天井		軽鉄	ケイカル板 厚6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				LGS	ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				
多目的便所	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま		規制対象外	天井高 H=2500	配膳室、洗浄室	天井	軽鉄	ケイカル板厚8mm目透し張 EP (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900			
	壁	コンクリート	100角タイル張り	コンクリート	既存のまま		5年以上経過			その他				既設空調機及び換気扇分解清掃						
	天井	軽鉄	ケイカル板 厚6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		廊下	床	コンクリート	モルタル下地 アンダーレイシート+長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない				
	その他						幅木			コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
前室 （職員便所）	床	コンクリート	長尺シート張り	コンクリート	既存のまま		5年以上経過	天井高 H=2500		倉庫	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2300		
	幅木	コンクリート	モルタル目地切 AP吹付	コンクリート	既存のまま		5年以上経過	床	コンクリート		モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	幅木	コンクリート		モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
	天井	軽鉄	フレキシブルボード t=5mm 目透し張りEP	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	壁	コンクリート		モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
	その他						壁天井除菌清掃、床除菌清掃MAX仕上げ	天井	コンクリート		モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない					
職員便所	床	コンクリート	コインモザイクタイル	コンクリート	既存のまま		規制対象外	天井高 H=2600		その他					除菌等	壁天井除菌清掃、床除菌清掃MAX仕上げ				
	壁	コンクリート	100角タイル張り 一部、下地調整の上 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		規制対象外 F☆☆☆☆	その他												
	天井	軽鉄	フレキシブルボード t=5mm 目透し張りEP	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない													
	その他						壁天井除菌清掃、床除菌清掃MAX仕上げ 既設換気扇分解清掃													

内部仕上									
階	室 名	部 位	既設仕上		改修後仕上				備考
			下地		下地		シックハウス対策	クロビリホス対策	
2階	保育室 (フリージア) (マーガレット) (スイートピー) (ポピー) (コスモス) (スズラン)	床	コンクリート	乾式二重床 耐水合板9mm 複合フローリング厚15mm	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り モルタル金ごて 掲示マグネット壁紙張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
			LGS	ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏吸音ボード厚9mm張 EP塗り (NM-0879)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		床 (スロープ)	コンクリート	長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		その他				既設空調機及び換気扇分解清掃			
	預かり保育室	床	コンクリート	乾式二重床 耐水合板9mm 複合フローリング厚15mm	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
			LGS	ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏吸音ボード厚9mm張 EP塗り (NM-0879)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		床 (スロープ)	コンクリート	長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		その他				既設空調機及び換気扇分解清掃			
	会議室 (えほん)	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
			LGS	ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏吸音ボード厚9mm張 EP塗り (NM-0879)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		その他				既設空調機及び換気扇分解清掃			
	教材室	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900
		幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	
		その他							
便所（前室部分）	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2500	
	幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	天井	軽鉄	ケイカル板厚6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	その他				壁天井除菌清掃、床除菌清掃MAX仕上げ				
便所	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2500	
	壁	コンクリート	100口タイル 下地調整の上 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	天井	軽鉄	ケイカル板6mm目透し張 EP塗り (NM-8578)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	その他				壁天井除菌清掃、床除菌清掃MAX仕上げ 既設換気扇分解清掃				
更衣室	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900	
	幅木	コンクリート	木製幅木 OL	コンクリート	既存のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない		
	壁	コンクリート	たもベニヤ合板目透し張 OL	コンクリート	既存のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない		
	天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	その他				既設換気扇分解清掃				
資料室 休憩室	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900	
	幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り 化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	その他				既設換気扇分解清掃				
相談室	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900	
	幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
		LGS	ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	その他				既設空調機及び換気扇分解清掃				
配膳室	床	コンクリート	長尺シート張	コンクリート	既存のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	天井高 H=2900	
	幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張 (QM-9824)	軽鉄	既存のまま	F☆☆☆	添加材料を使用しない		
	その他								

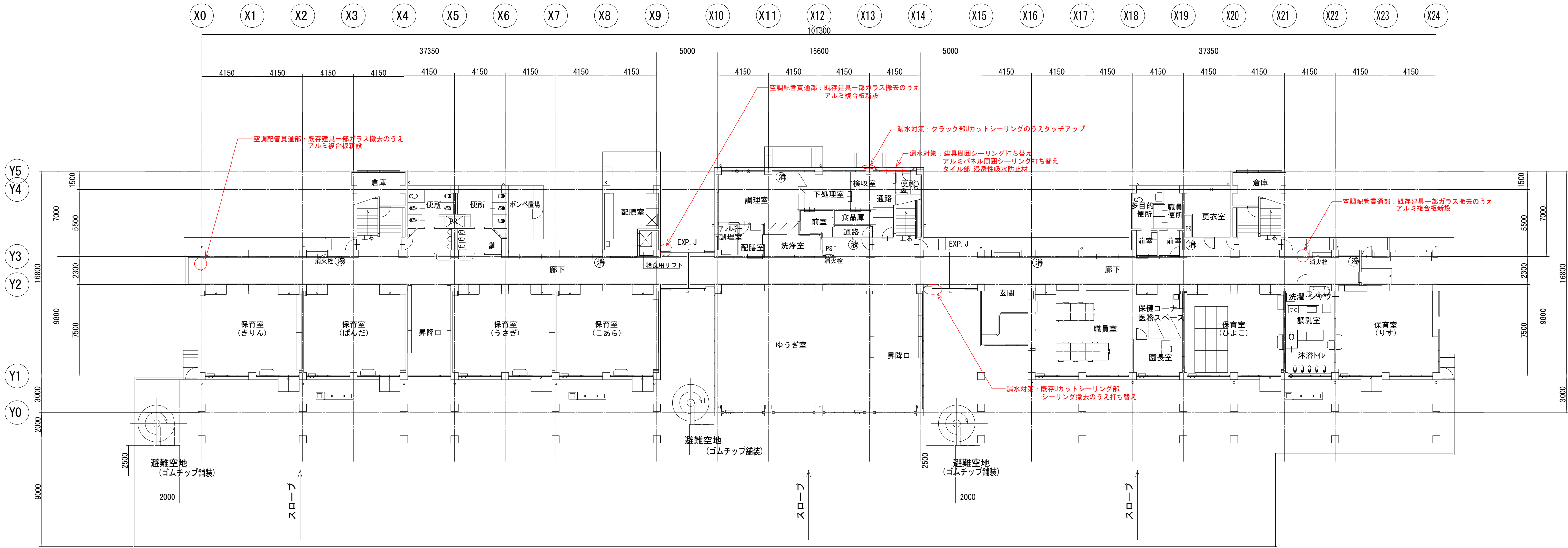
内部仕上											
階	室 名	部 位	既設仕上		下地	改修後仕上		シックハウス対策	クロルビリス対策	備考	
			下地								
2階	多目的室	床	コンクリート	乾式二重床 耐水合板厚9mm 複合フローリング厚15mm	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2800	
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
			LGS	ケイカル板厚8mm張 EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	軽鉄	化粧石膏吸音ボード厚9mm張 EP塗り (NM-0879)	軽鉄	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		床 (スロープ)	コンクリート	長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		その他									
	廊下	床	コンクリート	モルタル下地 アンダーレイシート+長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2900	
		幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm (QM-9824)	軽鉄	既存撤去のうえ 化粧石膏ボード厚9mm (QM-9824) 更新		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		その他									
	階段	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=3000~3600	
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
			LGS	ケイカル板厚8mm EP-G塗り	LGS	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	コンクリート 軽鉄	ミクライト吹付(アスベストは、含まれていない) 石膏ボード厚9mm下地 岩綿吸音板厚9mm張	コンクリート 軽鉄	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない		
		その他		階段両側手摺		既存のまま					
	3階	前室(女) 前室(男)	床	コンクリート	長尺シート張	コンクリート	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない	天井高 H=2500
			幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
			壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
			天井	軽鉄	フレキシブルボード厚5mm 目透し張 EP塗り	軽鉄	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		その他									
		便所(女) 便所(男)	床	コンクリート	コインモザイクタイル	コンクリート	既存のまま		規制対象外	添加材料を使用しない	天井高 H=2600
壁			コンクリート	100口タイル張	コンクリート	既存のまま		規制対象外	添加材料を使用しない		
天井			軽鉄	フレキシブルボード厚5mm 目透し張 EP塗り	軽鉄	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
その他											
多目的室1 多目的室2 家庭料室		床	コンクリート	化粧寄木フロアー張り	コンクリート	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない	天井高 H=3000~3500(多目的1,家庭料室) 天井高 H=3000(多目的2)	
		幅木	コンクリート	木製巾木 SOP塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	軽鉄	フレキシブルボード厚5mm 目透し張 EP塗り 一部ケイカル板目透し張(NM-8578) EP塗り	軽鉄	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
その他											
倉庫		床	コンクリート	モルタル塗金こて	コンクリート	既存のまま		規制対象外	添加材料を使用しない	天井高 H=2500	
		幅木	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	軽鉄	フレキシブルボード厚5mm 目透し張 EP塗り	軽鉄	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		その他									
多目的室3 多目的室6		床	コンクリート	化粧寄木フロアー張り	コンクリート	既存のまま		規制対象外	添加材料を使用しない	天井高 H=3000	
		幅木	コンクリート	下地調整の上 SOP塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	モルタル金こて EP-G塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張	軽鉄	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない		
		その他									
多目的室7		床	コンクリート	カーベット敷	コンクリート	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない	天井高 H=3000~3500	
		幅木	コンクリート	木製巾木 SOP塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		壁	コンクリート	パンチングベニヤ合板厚6mm 目透し張 SOP グラスウール	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない		
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm張	軽鉄	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない		
	その他										
多目的室9	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=3000~4000		
	幅木	コンクリート	木製巾木 SOP塗り	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
	壁	コンクリート	パンチングベニヤ合板厚6mm 目透し張 SOP グラスウール	コンクリート	既存のまま		F☆☆☆☆	添加材料を使用しない			
	天井	軽鉄	石膏ボード厚9mm下地 岩綿吸音板厚9mm張	軽鉄	既存のまま		5年以上経過	添加材料を使用しない			
	その他										

内部仕上									
階	室 名	部 位	既設仕上		改修後仕上		シックハウス対策	クロルピリホス対策	備考
			下地		下地				
3階	多目的室8	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2500
		幅木	コンクリート	木製巾木 SOP塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm	軽鉄	既設のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	
		その他							
	図書閲覧室	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=3000
		幅木	コンクリート	木製巾木 SOP塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード9mm厚下地 岩綿吸音板厚9mm張	軽鉄	既設のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	
		その他							
	多目的室4 多目的室5	床	コンクリート	カーベツト敷き	コンクリート	既設のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	天井高 H=3400 (多目的4)
		幅木	コンクリート	木製巾木 SOP塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=2850 (多目的5)
		壁	コンクリート	パンチングベニヤ合板厚6mm 目透し張 SOP グラスウール	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード9mm厚下地 岩綿吸音板厚9mm張	軽鉄	既設のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	
		その他							
	廊下 ラウンジ	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=3000
		幅木	コンクリート	モルタル目地切 EP-G塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	軽鉄	化粧石膏ボード厚9mm (0M-9824)	軽鉄	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		その他							
	階段	床	コンクリート	モルタル下地 長尺塩ビシート張	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	天井高 H=3000~3600
		幅木	コンクリート	ビニル幅木H100	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		壁	コンクリート	モルタル金ごて EP-G塗り	コンクリート	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
			LGS	ケイカル板厚8mm EP-G塗り (NM-8578)	LGS	既設のまま	F☆☆☆☆	添加材料を使用しない	
		天井	コンクリート 軽鉄	ミクライト吹付け (アスベストは含まれていない) 石膏ボード厚9mm 岩綿吸音板厚9mm	コンクリート 軽鉄	既設のまま	5年以上経過	添加材料を使用しない	
		その他		階段両側手摺取付		既設のまま			

外部仕上			
建物名	部 位	既設仕上	改修後仕上
幼保一体化施設	屋根	アスファルトシングル防水 かぶせ工法	既設のまま
	外壁	外装薄塗塗材E 吹付け	既設のまま
	軒裏	外装薄塗塗材E 吹付け	既設のまま
	軒天井	ケイカル板 厚6mm目透し張 (NM-8578) EP 一部、ケイカル板 厚6mm目透し張 (NM-8578) 外装薄塗塗材E 吹付け	既設のまま
	縦樋	塩ビパイプ 一部、既存 SOP塗り	既設のまま
	目地	ポリウレタン系シーリング	既設のまま
	漏水対策 ※位置は 立面図参照		・サッシ周リシーリング打ち替え ・クラック部分Uカットシーリングのうえタッチアップ ・タイル部分浸透性吸水防止材 ・エスケー化研㈱ タイルセラクリーン ・株バークス環境 Sクリートガード 同等品 ・大同塗料㈱ アクアシール500S ・既存Vカットシーリング部分シーリング打ち替え
	建具 配管貫通部		既存建具一部 ガラス撤去のうえアルミ複合板取付



2階 平面図

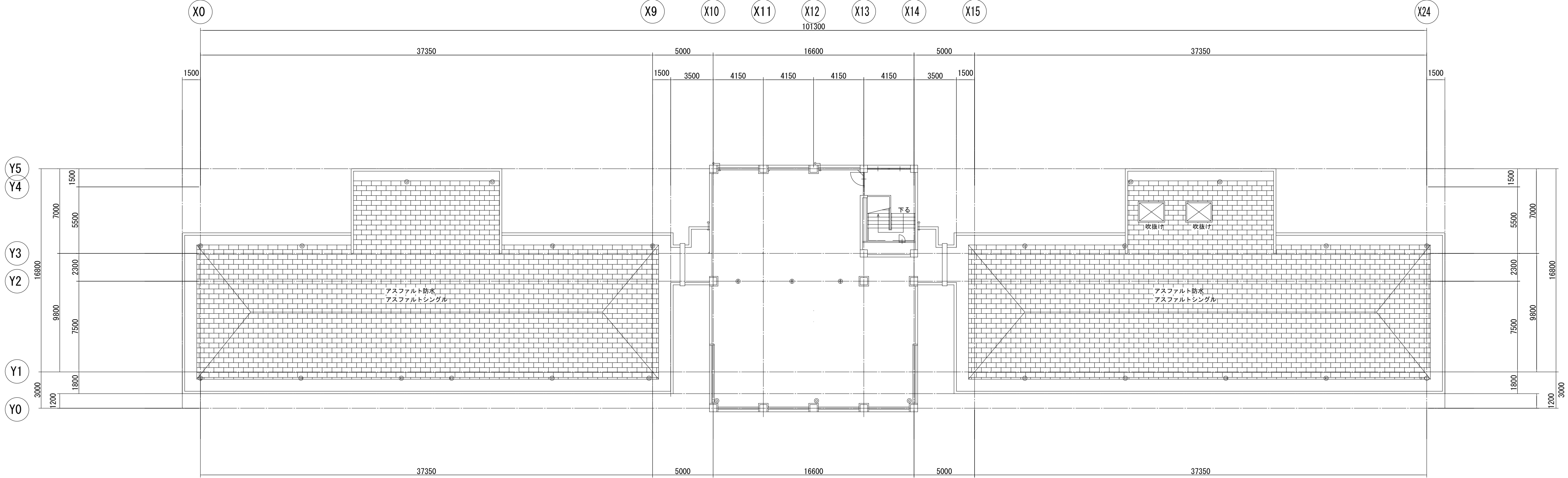


1階 平面図

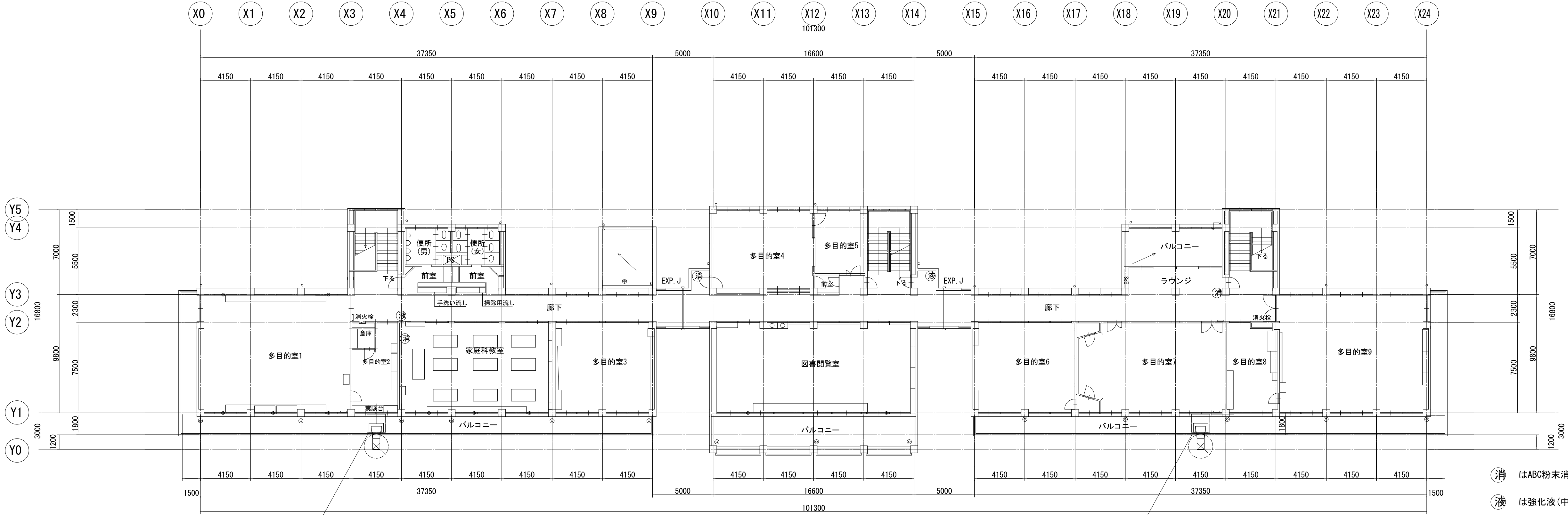
消 はABC粉末消火器10型を示す
液 は強化液(中性)消火器6型を示す

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		管理 間宮 幸男		設計者 間宮	担当者	図面名 1階、2階平面図		図面NO A-14
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地		日付	日付	日付	縮尺 1/200	

3階、R階 改修無し



屋階 平面図



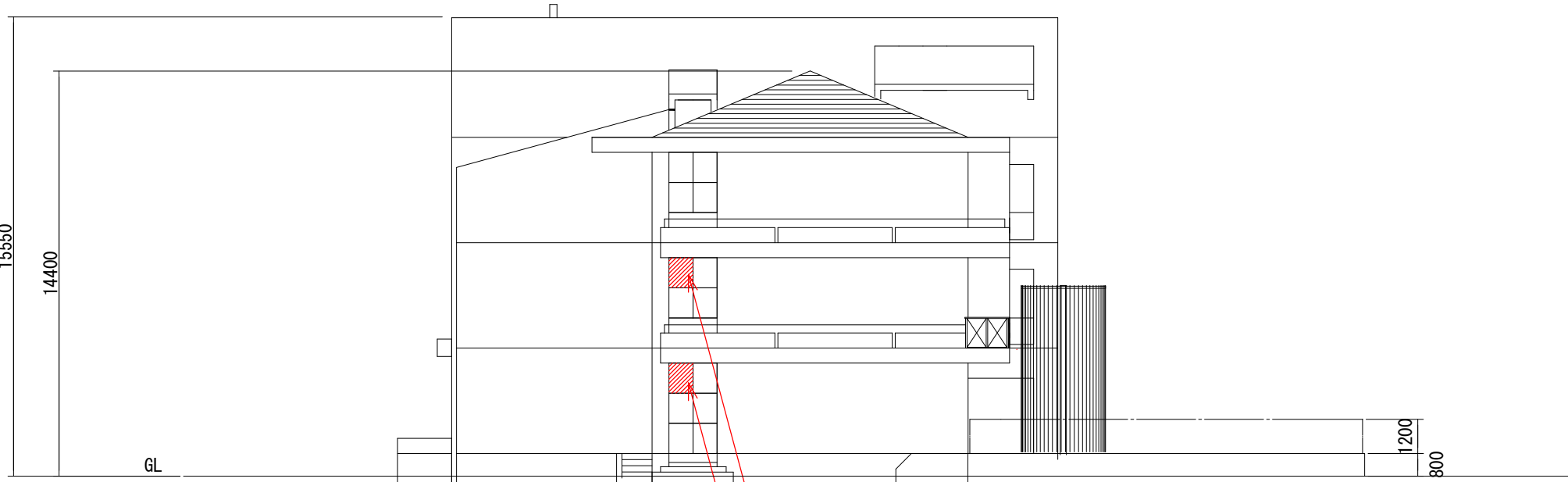
3階 平面図

消 はABC粉末消火器10型を示す
液 は強化液(中性)消火器6型を示す

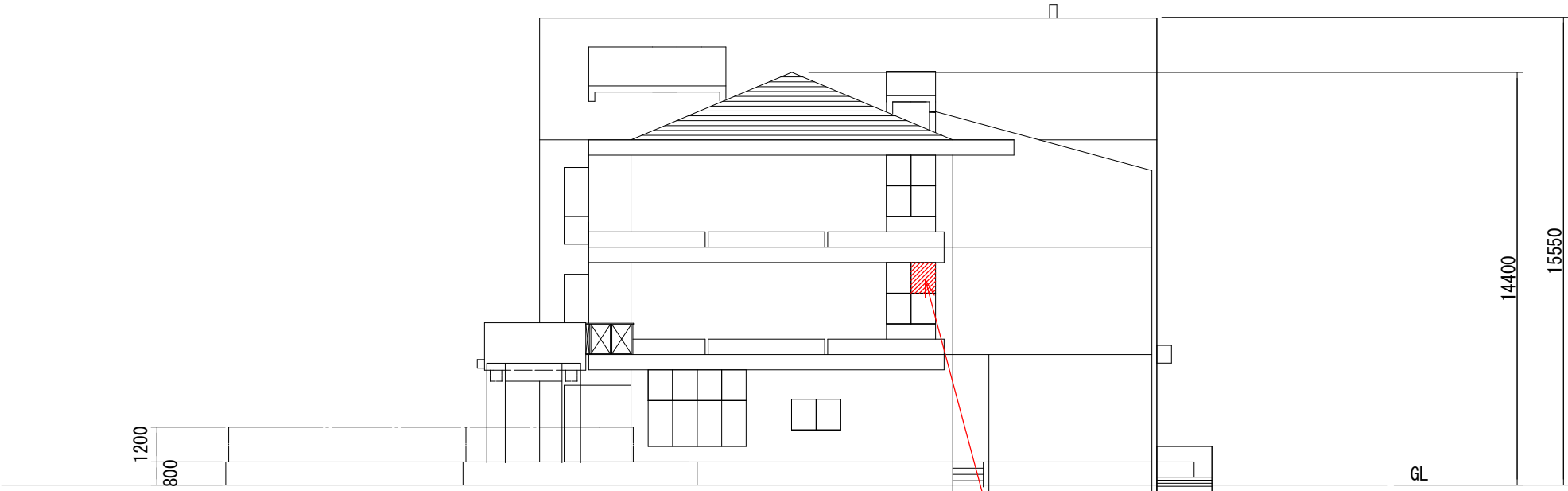
工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事				間宮建築設計事務所		一級建築士 大臣登録 第208413号 千葉県知事登録 第1-2209-4703号 間宮 幸男		管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 3階、R階平面図		図面NO A-15
備考					千葉県南房総市和田町花園897-6番地		TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		日付	日付	日付	縮尺 1/200		



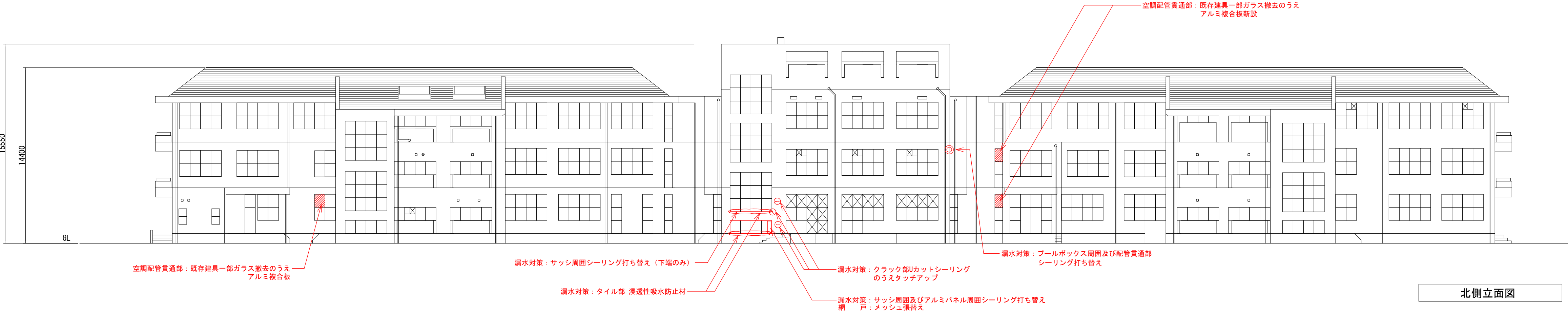
南側立面図



西側立面図

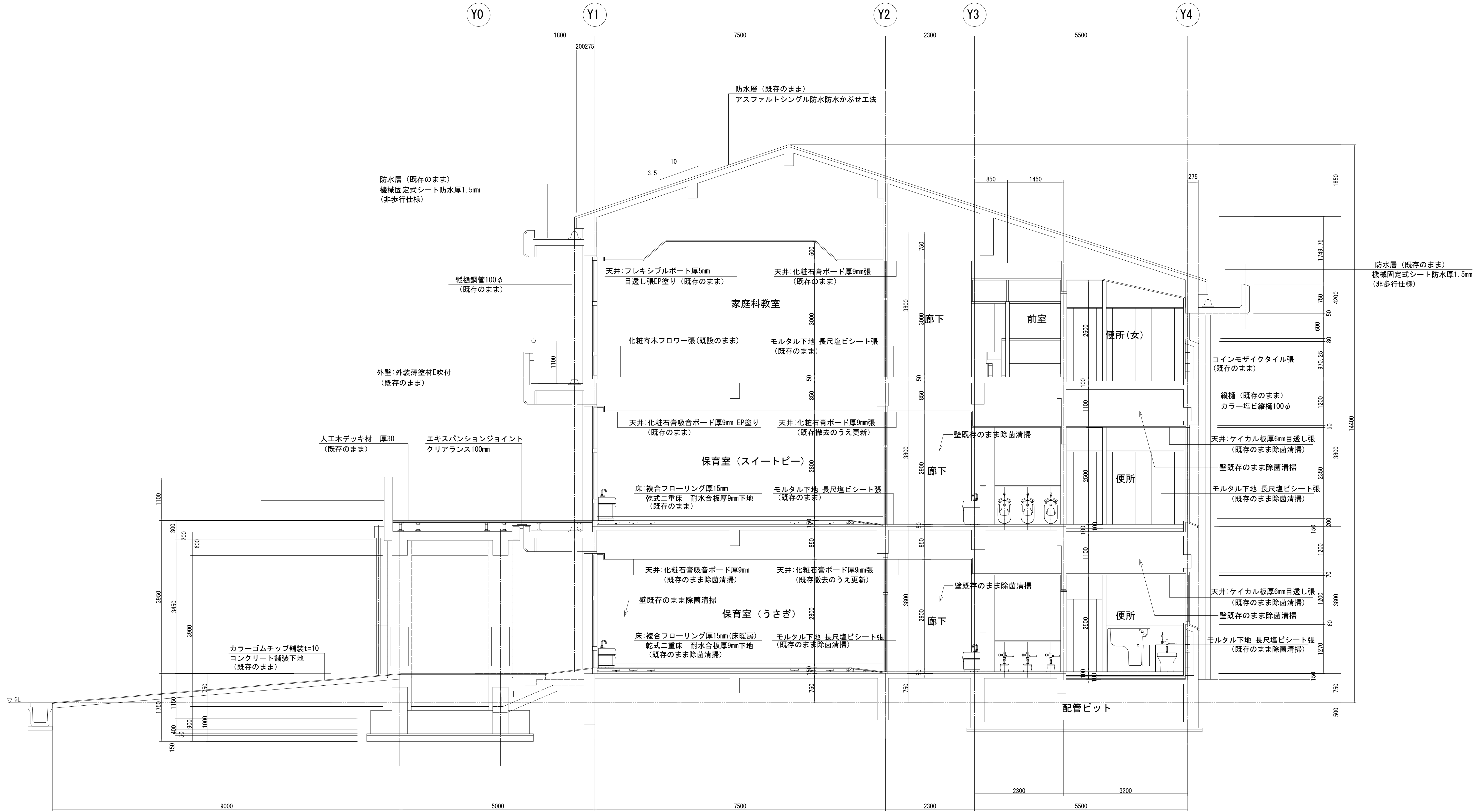


東側立面図



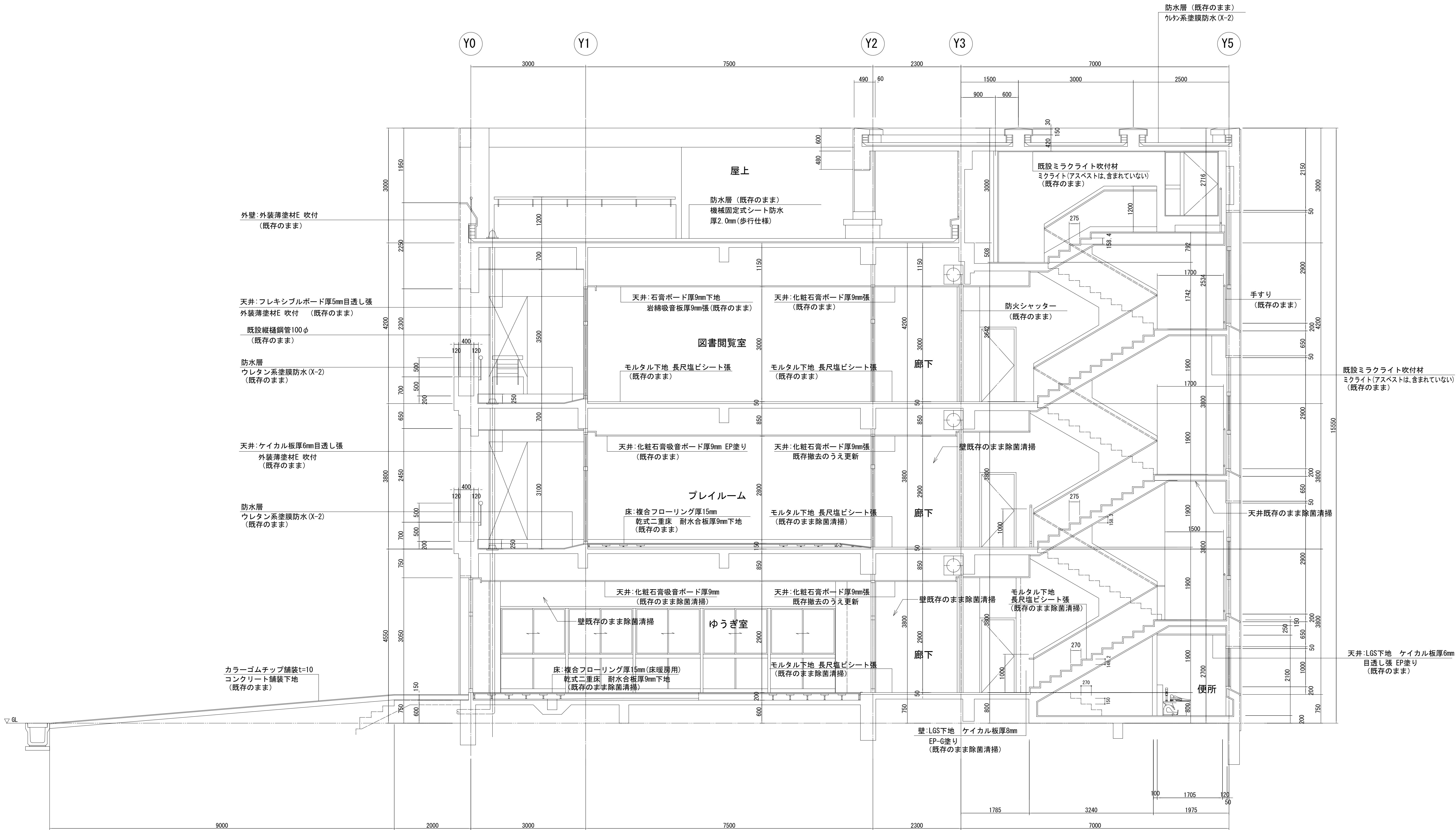
北側立面図

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 〒千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 立面図	図面NO A-16
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地		日付	日付	日付	縮尺 1/200	



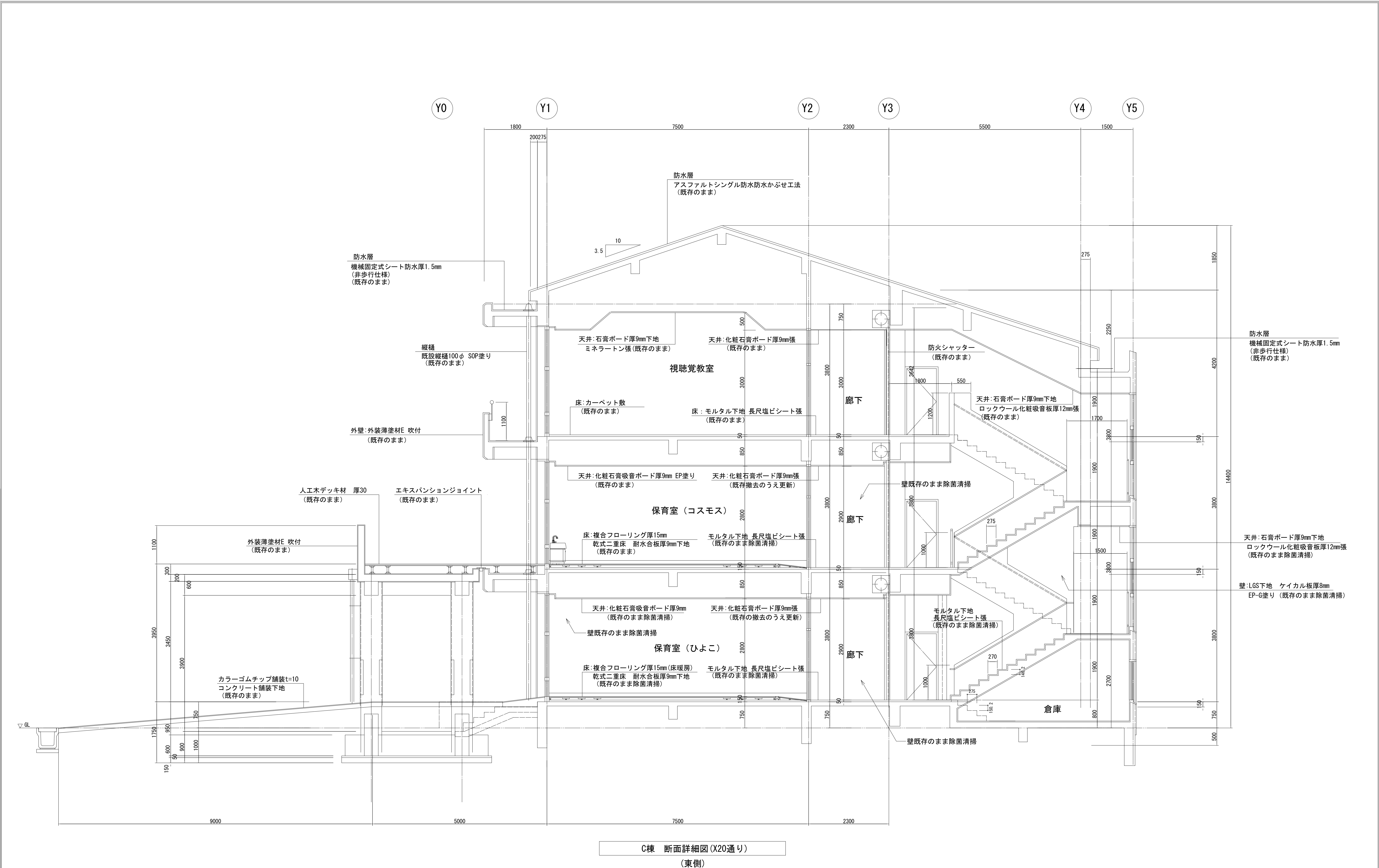
A棟 断面詳細図(X5通り)
(西側)

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 A棟断面図		図面NO A-17
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地		TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 1/50	

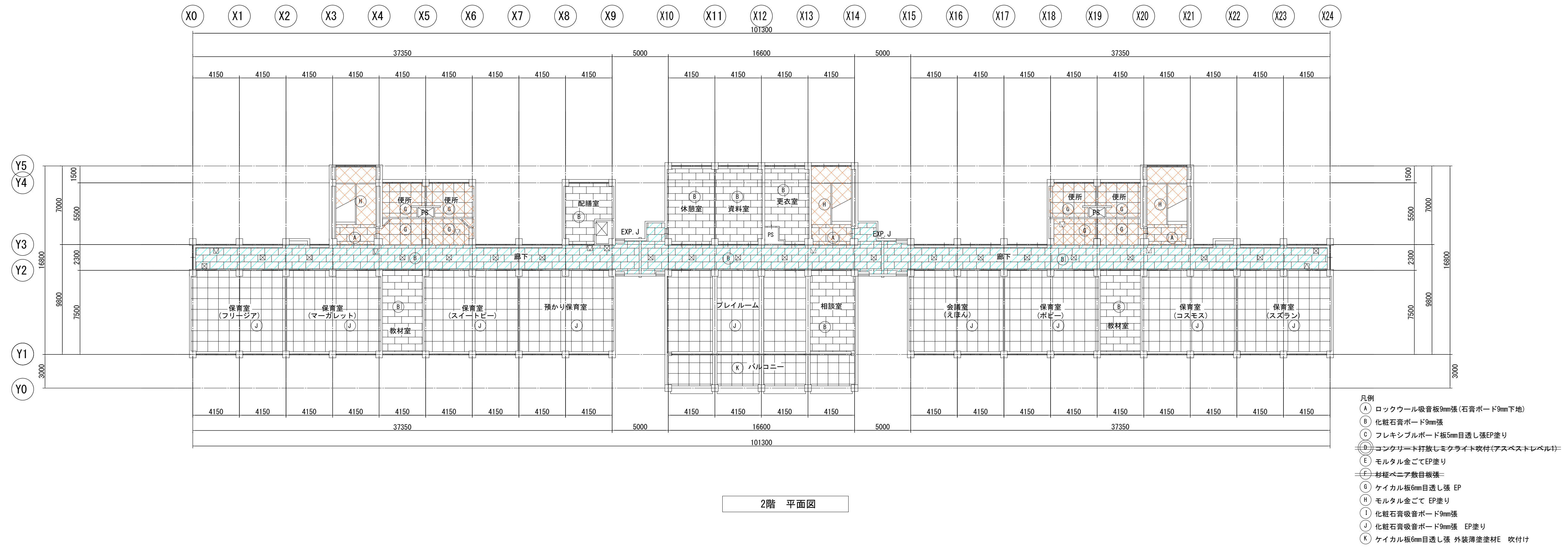


B棟 断面詳細図 (X13通り)
(中央)

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事			間宮建築設計事務所	一般建築士 大田登録 第208413号 千葉県知事登録 第1-2209-4703号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名	B棟断面図	図面NO A-18
備考				千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	間宮	間宮				
						日付	日付	日付		縮尺 1 / 5 0	



工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 C棟断面図	図面NO A-19
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地		日付	日付	日付	縮尺 1/50	

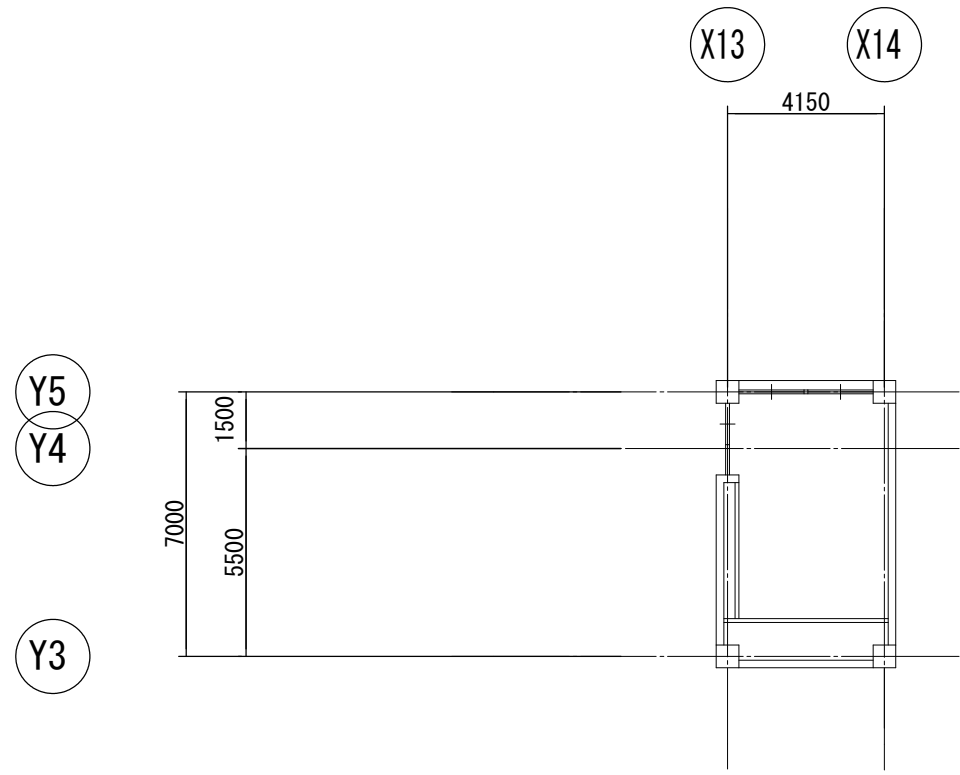


2階 平面図



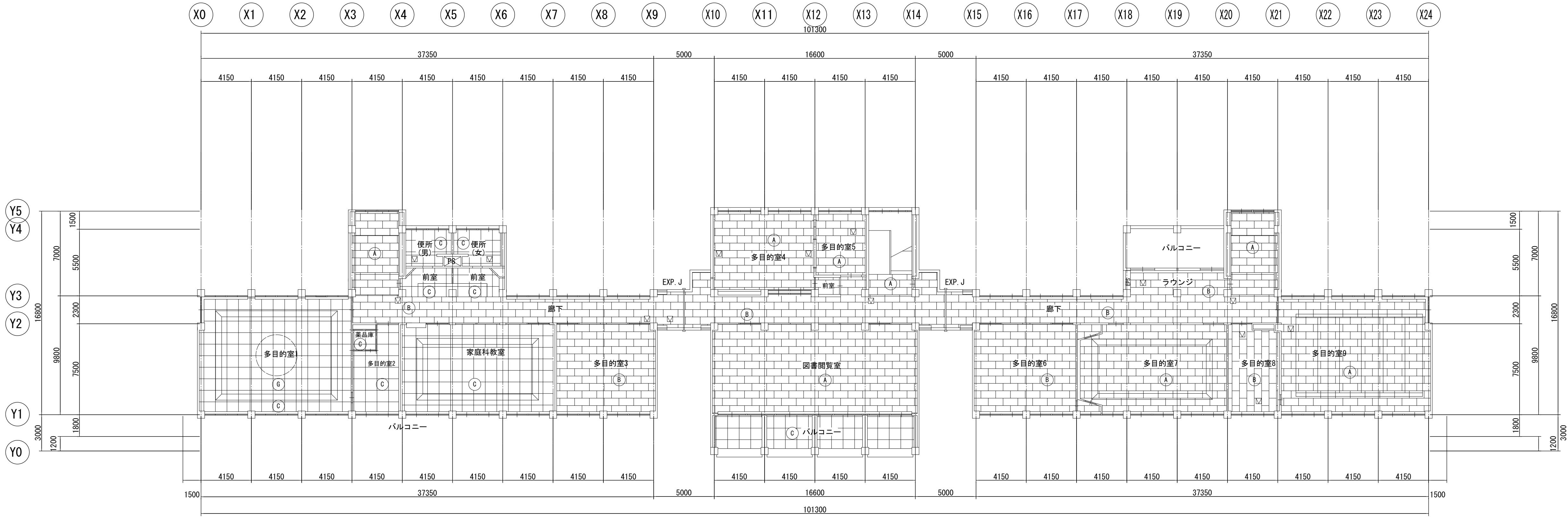
1階 平面図

3階、R階 改修無し



屋階 平面図

- 凡例
- (A) ロックウール吸音板9mm張 (石膏ボード9mm下地)
 - (B) 化粧石膏ボード9mm張
 - (C) フレキシブルボード5mm目透し張EP塗り
 - (H) コンクリート打放しミタライト吹付(アスベストレベリ付)
 - (E) モルタル金ごてEP塗り
 - (F) 杉径ベニア数目板張
 - (G) ケイカル板6mm目透し張 EP
 - (H) モルタル金ごて EP塗り
 - (I) 化粧石膏吸音ボード9mm張
 - (J) 化粧石膏吸音ボード9mm張 EP塗り
 - (K) ケイカル板6mm目透し張 外装薄塗塗材E 吹付け
- ☒ 天井点検口 (450□) を示す。



3階 平面図

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事			間宮建築設計事務所 一級建築士 大臣登録 第208413号 千葉県知事登録 第1-2209-4703号 間宮 幸男		管理者 間宮	設計者 間宮	担当者	図面名 3階、R階天井伏図	図面NO A-21
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		日付	日付	日付		



2階 平面図



1階 平面図

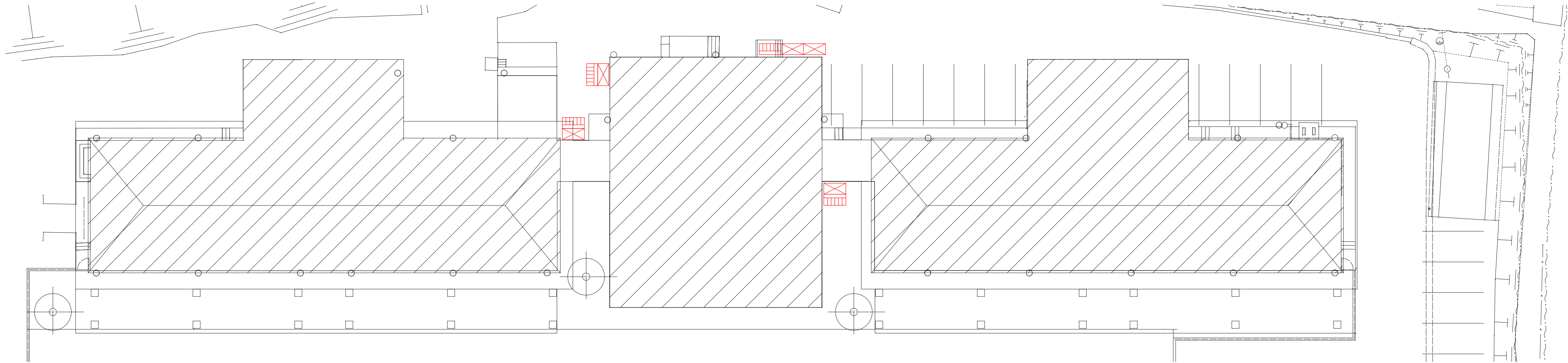
工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 改修建具キープラン		図面NO A-22
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地		TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 1/200	

既 存

記号	<div>1 AW</div>	改修数量	2	記号	<div>2 AW</div>	改修数量	1	記号	<div>3 AW</div>	改修数量	2	記号	<div>3' AW</div>	改修数量	1
型式	突出し・FIX	使用箇所	廊下	型式	引違い	使用箇所	廊下	型式	引違い	使用箇所	廊下	型式	引違い	使用箇所	廊下
付属金物				付属金物	クレセント			付属金物	クレセント			付属金物	クレセント		
ガラス	線入型ガラス 6.8mm 透明ガラス 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70	ガラス	透明ガラス 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70	ガラス	線入型ガラス 6.8mm フロートガラス 5mm 透明ガラス 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70	ガラス	線入型ガラス 6.8mm フロートガラス 5mm 透明ガラス 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70

改修後

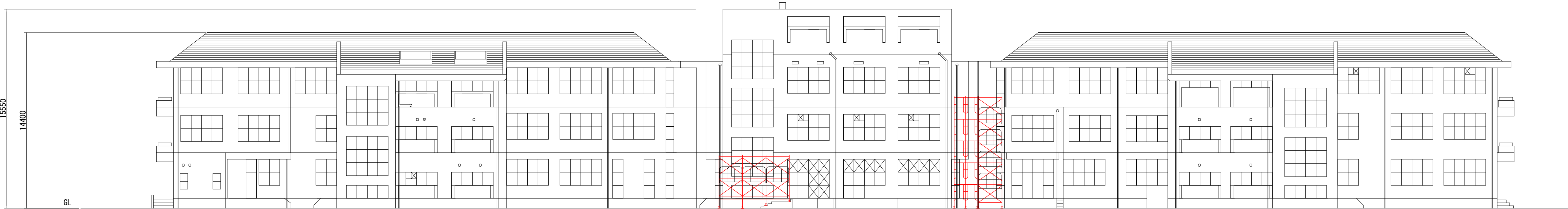
記号	<div>1 AW</div>	改修数量	2	記号	<div>2 AW</div>	改修数量	1	記号	<div>3 AW</div>	改修数量	2	記号	<div>3' AW</div>	改修数量	1
型式	突出し・FIX	使用箇所	廊下	型式	引違い	使用箇所	廊下	型式	引違い	使用箇所	廊下	型式	引違い	使用箇所	廊下
付属金物				付属金物	クレセント			付属金物	クレセント			付属金物	クレセント		
ガラス等	線入型ガラス 6.8mm 透明ガラス 3mm アルミ複合板 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70	ガラス等	透明ガラス 3mm アルミ複合板 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70	ガラス等	線入型ガラス 6.8mm フロートガラス 5mm 透明ガラス 3mm アルミ複合板 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70	ガラス等	線入型ガラス 6.8mm フロートガラス 5mm 透明ガラス 3mm アルミ複合板 3mm	摘要	アルミサッシ 枠見込70



平面配置



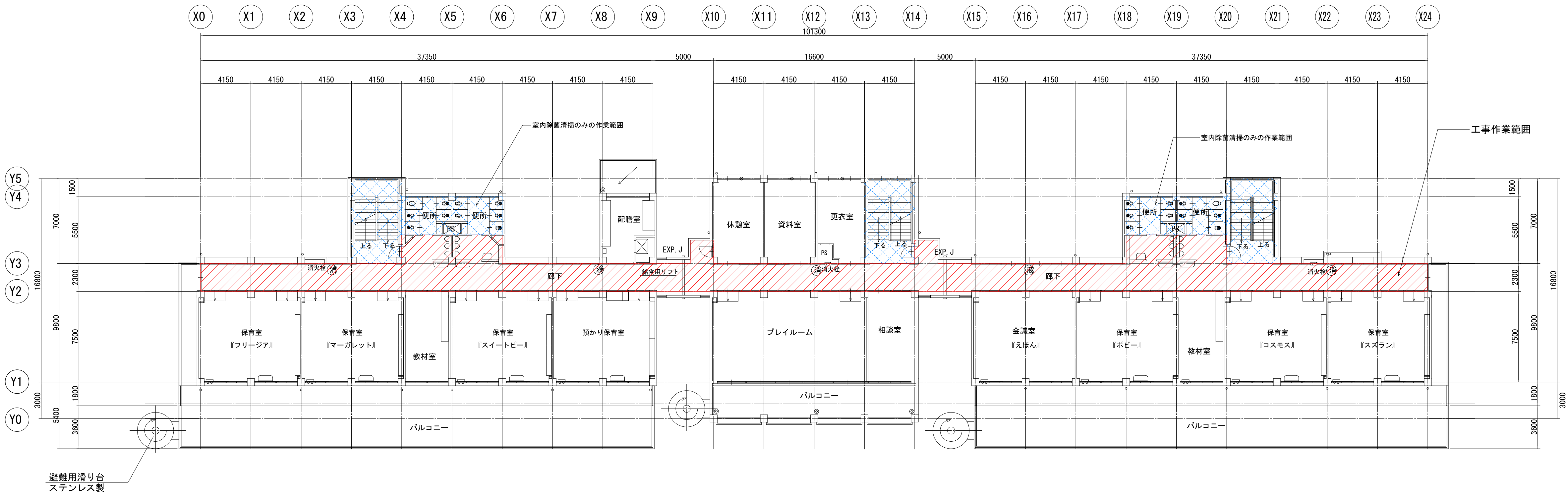
南側立面



北側立面

外部足場 仮設計画図（参考）

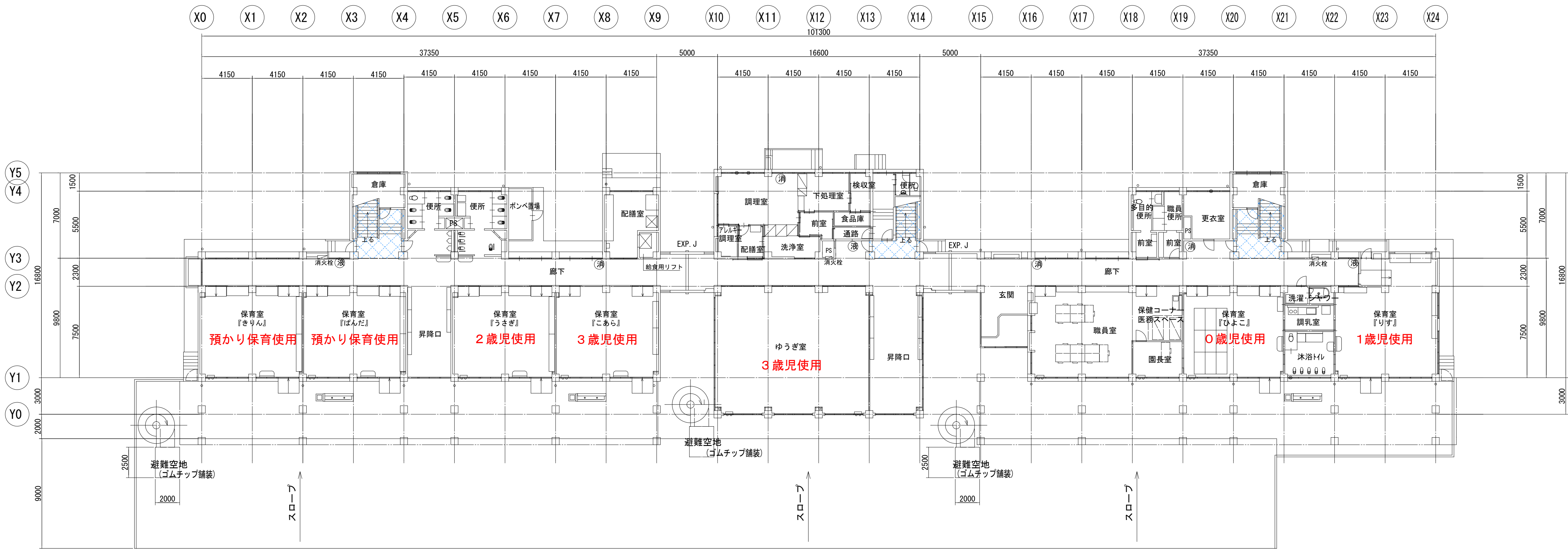
工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 間宮 幸男 日付	設計者 間宮 日付	担当者 日付	図面名 外部足場 仮設計画図（参考） 縮尺 1/200	図面NO A-24
備考								



2階 平面図

8月作業範囲

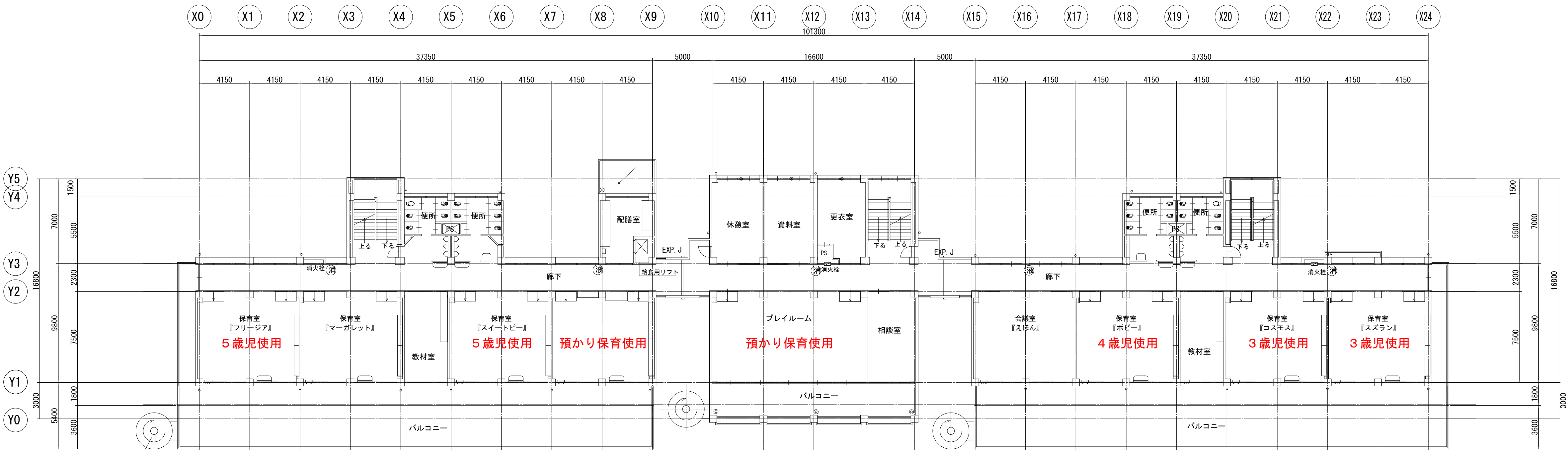
・夏休み期間中に工事を行う
4, 5歳が夏休みのため2階の部屋の子ども園での使用はない。



1階 平面図

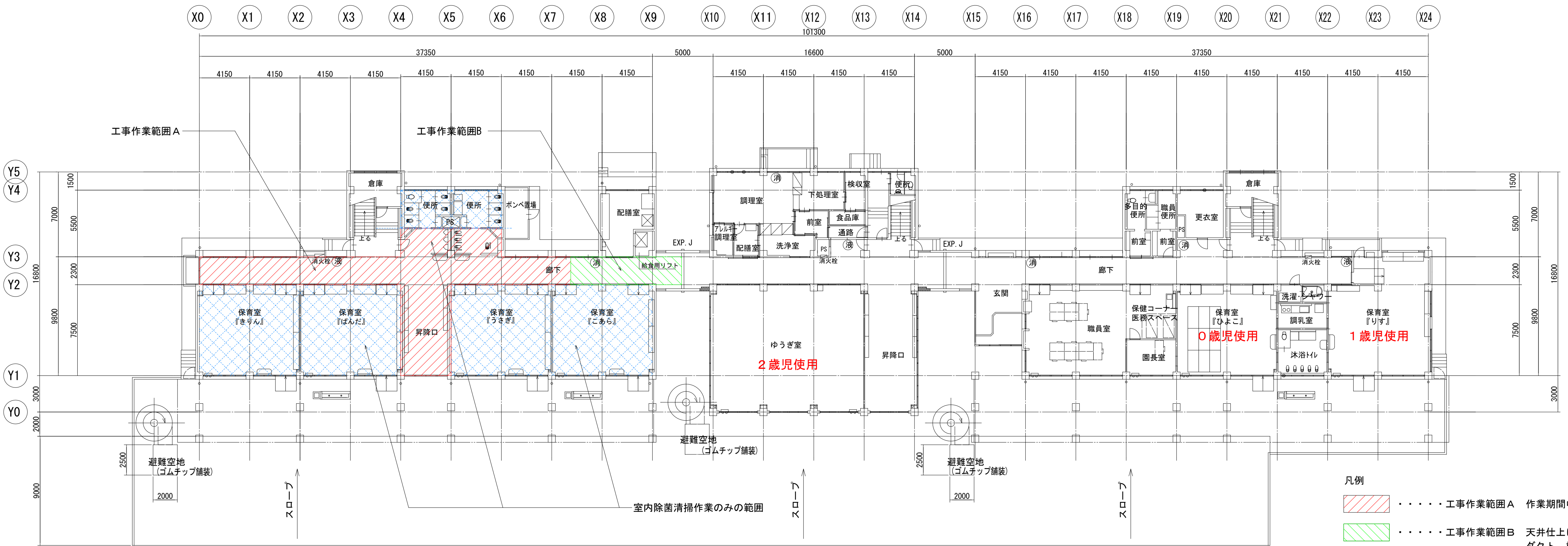
- 凡例
- 工事作業範囲 作業期間中は脚立足場設置
 - 室内除菌清掃作業のみの範囲
 - 消 はABC粉末消火器10型を示す
 - 液 は強化液(中性)消火器6型を示す

工 事 名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事			間宮建築設計事務所			一般建築士 大田智雄 第208413号 千葉県知事登録 第1-2209-4703号 間宮 幸男	管 理 者	設 計 者	担 当 者	図 面 名		図 面 N O
備 考								間宮	間宮		8 月 工 事 作 業 範 囲 図		A-25
				千葉県南房総市和田町花園897-6番地			T E L 0470-47-5520 F A X 0470-47-5540	日 付	日 付	日 付	縮 尺	1 / 2 0 0	



避難用滑り台
ステンレス製

2階 平面図



工事作業範囲A

工事作業範囲B

室内除菌清掃作業のみの範囲

凡例

..... 工事作業範囲A 作業期間中は脚立足場設置

..... 工事作業範囲B 天井仕上材の撤去時：ローリング足場使用
ダクト、機器設置時：高さ調節しローリング足場再使用
天井仕上工事時：脚立足場設置

※作業は土曜、日曜、祝日のみで行う。平日はローリング足場を配膳室よりも
西側に置き、配膳室内の給食リフトへの動線を確保する。

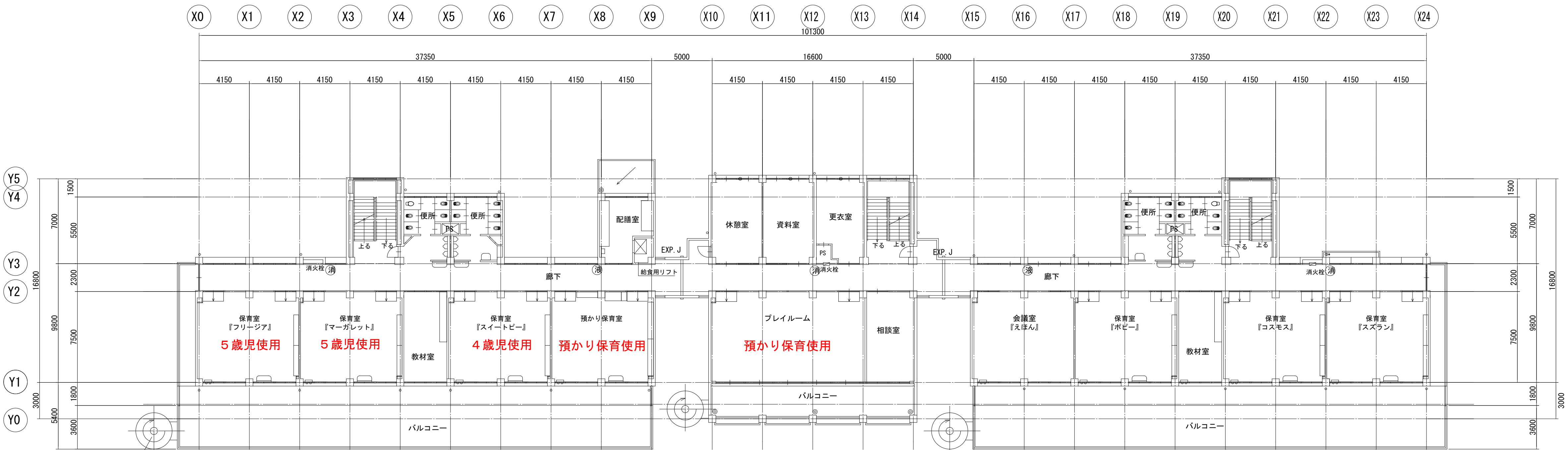
..... 室内除菌清掃作業のみの範囲

③消 はABC粉末消火器10型を示す

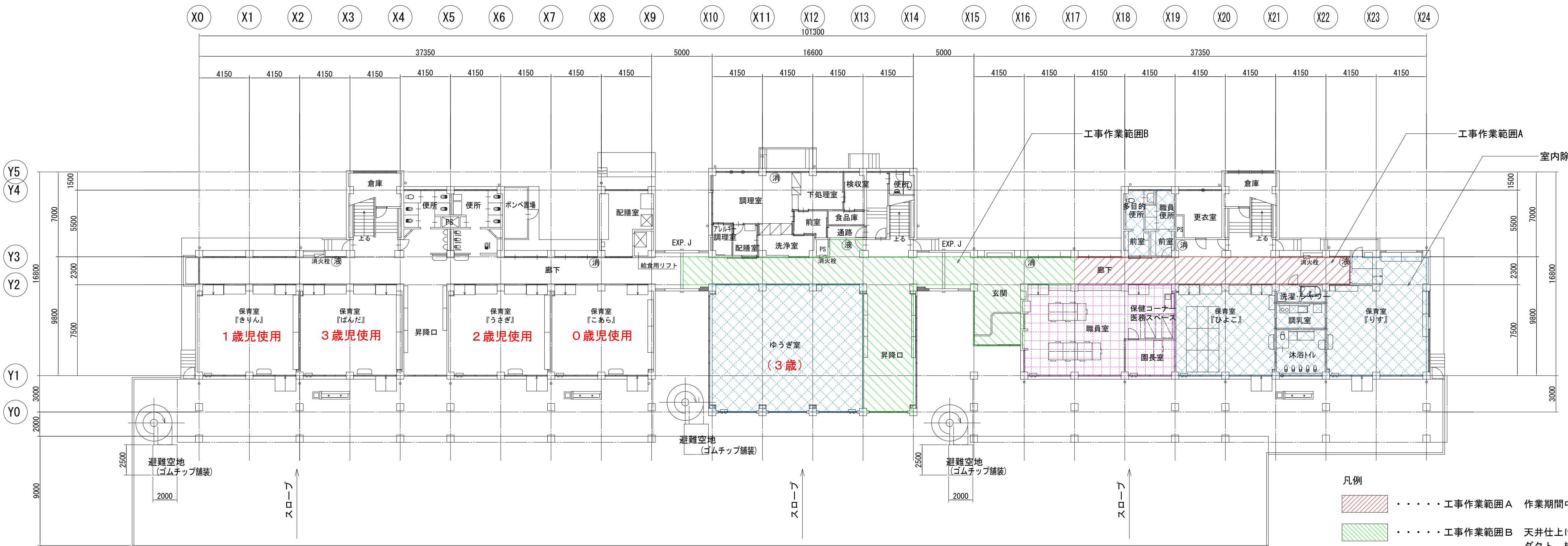
④液 は強化液(中性)消火器6型を示す

1階 平面図

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所	一級建築士 大匠館路 第208415号 千葉県知事登録 第1-2209-4705号	管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 9月工事作業範囲図		図面NO A-26
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺	1/200	



2階 平面図



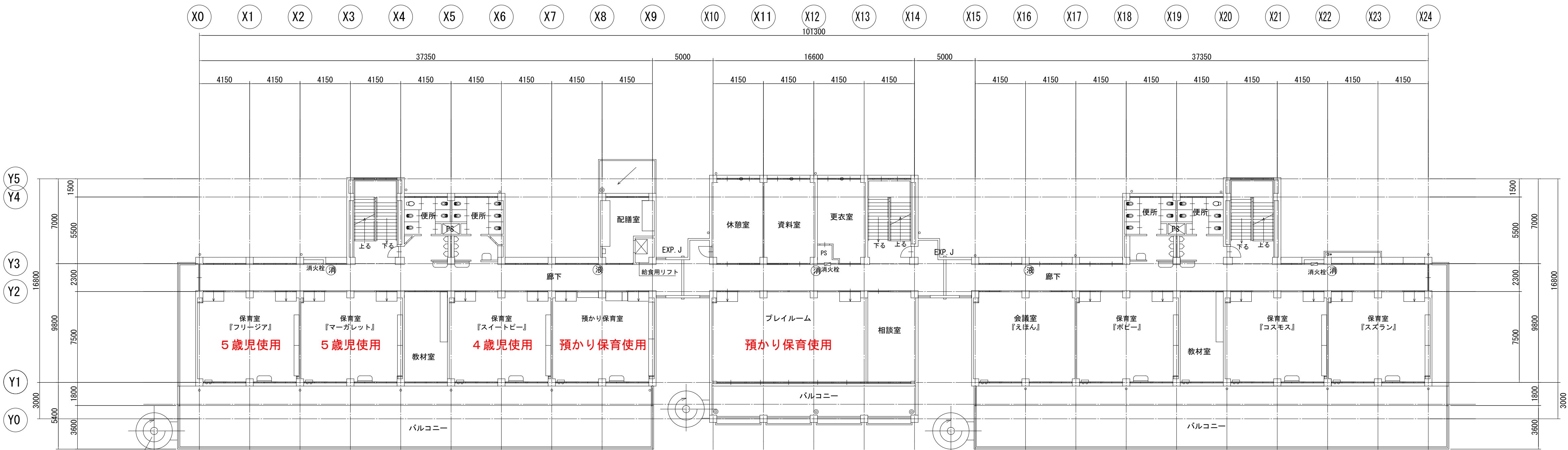
1階 平面図

③消 はABC粉末消火器10型を示す

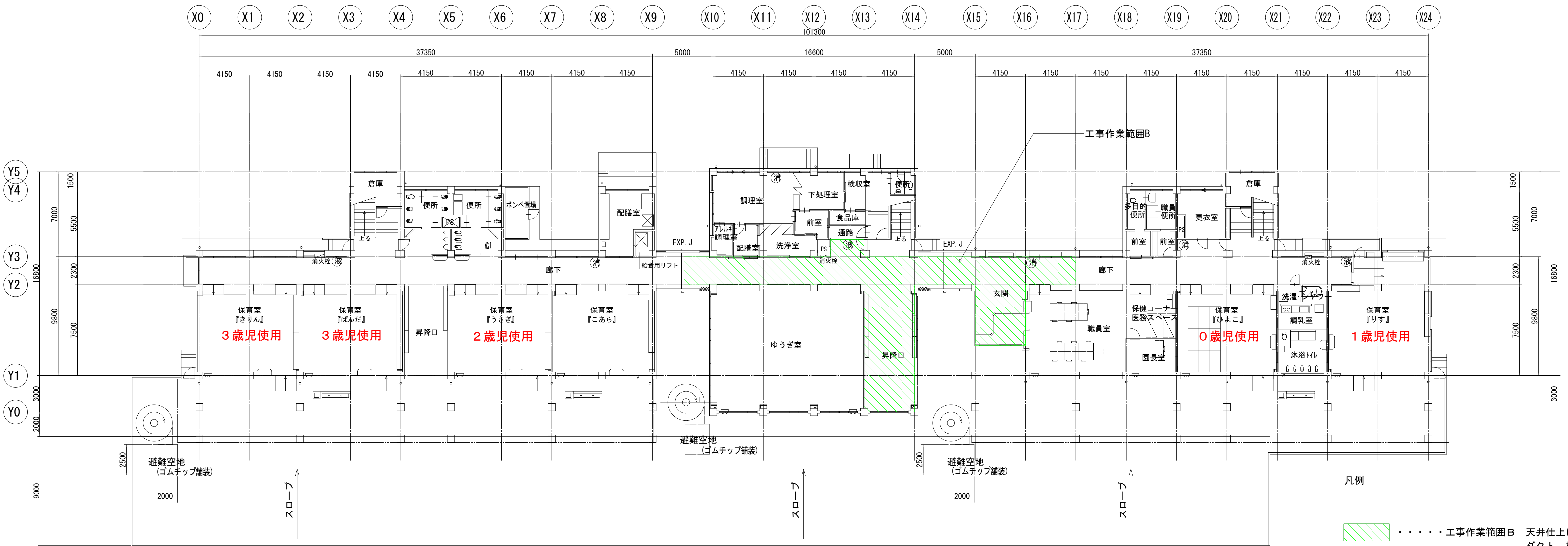
④液 は強化液(中性)消火器6型を示す

- 凡例
- 工事作業範囲A 作業期間中は脚立足場設置
 - 工事作業範囲B 天井仕上材の撤去時：ローリング足場使用
ダクト、機器設置時：高さ調節しローリング足場再使用
天井仕上工事時：脚立足場設置
※作業は土曜、日曜、祝日のみで行い、平日はローリング足場を昇降口に置いて廊下の通行を妨げないようにする
 - 室内除菌清掃作業のみの範囲
 - 室内除菌清掃作業のみの範囲 ※作業は土、日、祝日のみで行い平日は使用できるようにする。

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 10月工事作業範囲図	図面NO A-27
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地		TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 1/200



2階 平面図



1階 平面図

消 はABC粉末消火器10型を示す

液 は強化液(中性)消火器6型を示す

..... 工事作業範囲B
天井仕上げ材の撤去時：ローリング足場使用
ダクト、機器設置時：高さ調節しローリング足場再使用
天井仕上げ工事時：脚立足場設置
※作業は土曜、日曜、祝日のみで行い、平日はローリング足場を昇降口に置いて廊下の通行を妨げないようにする

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者	図面名 11～12月工事作業範囲図	図面NO A-28
備考				日付	日付	日付	縮尺 1/200	

工事名称

南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事

フレックス工期契約制度

○ 適用する 工事着手期限日（ 年 月 日） 工期の終期日（ 年 月 日） ● 適用しない

留意事項

・受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後7日以内に工事着手日通知書（第1号様式）を発注者に届け出なければならない。

・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法（昭和24年5月24日法律第100号）第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。

・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第11条に基づく現場代理人の設置を要しない。

・工事着手日までの間は、工事の施工（現場事務所の設置、資機材等の発注及び工場製作を含む）を行ってはならない。

・前金払は、工事着手日の10日前までは請求できない。

・工事実績情報システムへの登録に際しては、主任（監理）技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。（工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。）

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

南房総市千倉町南朝夷1400番地（千倉子ども園）

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法令施行令第16項(イ)	施設の種類	備 考
南房総市立千倉子ども園	RC造	3階	4043.92	16項(イ)		

3. 工事種目（● 印の付いたものを適用し、○ 印の付いたものは適用しない。）

建物別及び屋外工事種目	工 事 種 別					
	千倉子ども園				屋 外	
● 受変電設備	● 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	
● 電灯設備	● 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	
● 動力設備	● 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 一 式	
○ 雷保護設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 電力貯蔵設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 発電設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 構内情報通信網設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 構内交換設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 情報表示設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 映像・音響設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 拡声設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 誘導支援装置	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ テレビ共同受信設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 監視カメラ設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 防犯・入退室管理設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 火災報知設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○ 中央制御監視設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○	
○	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	
○	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	
● 構内配電線路	● 一 式	○	○	○	● 一 式	
● 構内通信線路	● 一 式	○	○	○	○ 一 式	
● 撤去工事	● 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 一 式	

4. 指定部分

○ 無 ○ 有（対象部分指定部分工期 年 月 日）

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

工事発注に関する説明事項書（質疑に対する回答書を含む）、本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気工事編）（令和4年版）」（以下、「改修工事標準仕様書」という。）、及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）」（以下、「標準図」という。）による。

2. 特記仕様

章、項目及び特記事項共に、● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは適用しない。

章	項	目	特 記 事 項
● 一般事項	● 電気工作物の種類	● 事業用電気工作物（自家用電気工作物） ○ 一般用電気工作物	
	○ 電気保安技術者	本工事現場に置く電気保安技術者は、千葉県自家用電気工作物保安規程第三条に定める工事管理者（施設改修課長）の任命する監督職員の職務を補佐し、電気工作物の保安業務を行うものとする。	
	● 施工従事者	電気工作物においては法令で定める電気工事士とする。契約電力 500kW以上の電気工作物においても、第1種電気工事士により施工を行うものとする。	
	○ 化学物質を放散させる建築材料等	1. 本工事の建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建築材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 3) 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、喫煙台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用するものとする。 2. 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分においては、「規制対象外」とは、次の1)又は2)に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の3)又は4)に該当する材料を指す。 1) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 2) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 3) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 4) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料	

章 項 目

● 県内生産品

○ ワンダーレスポンス

○ 適用区分

● 機材の品質等

章 項 目

● 完成時の提出図書等

● 引渡しを要するもの

● 建設副産物の処理等

章 項 目

● 完成時の提出図書等は以下のものとする。

● なし ○ あり（ ）

● 建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

● 建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準

● 建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調査」を作成し、1部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提出し確認を受けること。

● 建設副産物の処理に基く紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。

● 建設副産物の処理に基く紙マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を提出すること。

● 建設発生土

● 建設発生土（ m3）は、 地先に搬出するものとする。

● 建設発生土（ m3）は、片道運搬距離 kmに搬出するものとする。

● 路盤盛材

● 路盤盛材（ t）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの に運搬し、処理するものとする。

● 建設廃棄物

● 1)アスコン塊（ 11.6 t）は 南房総市 荒川地先、片道運搬距離 25 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 2)コンクリート塊（0.23 t）は 南房総市 荒川地先、片道運搬距離 25 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 3)建設発生木材（ t）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 4)建設汚泥（カッター汚泥）（1 m3）は 市原市万田野 地先、片道運搬距離 60 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 5)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 6)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 7)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 8)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 9)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 10)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 11)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 12)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 13)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 14)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 15)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 16)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 17)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 18)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 19)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 20)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 21)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 22)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 23)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 24)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 25)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 26)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 27)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 28)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 29)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 30)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 31)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 32)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 33)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 34)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 35)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 36)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 37)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 38)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 39)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 40)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 41)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 42)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 43)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 44)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 45)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 46)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 47)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 48)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 49)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 50)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 51)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 52)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 53)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 54)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 55)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 56)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 57)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 58)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 59)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 60)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 61)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 62)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 63)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 64)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 65)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 66)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 67)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 68)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 69)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 70)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 71)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 72)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 73)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 74)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 75)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 76)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 77)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 78)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 79)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 80)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 81)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 82)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 83)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 84)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 85)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 86)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 87)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 88)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 89)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 90)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 91)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 92)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 93)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 94)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 95)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 96)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 97)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 98)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 99)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

● 100)（ ）は 市 町地先、片道運搬距離 kmの（※ 中間処理場 ・ 最終処分場）に運搬し、処理するものとする。

間宮建築設計事務所

千葉県南房総市和田町花園897-6番地

TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540

日付 日付 日付

間宮 幸男

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

佐久間

間宮 間宮

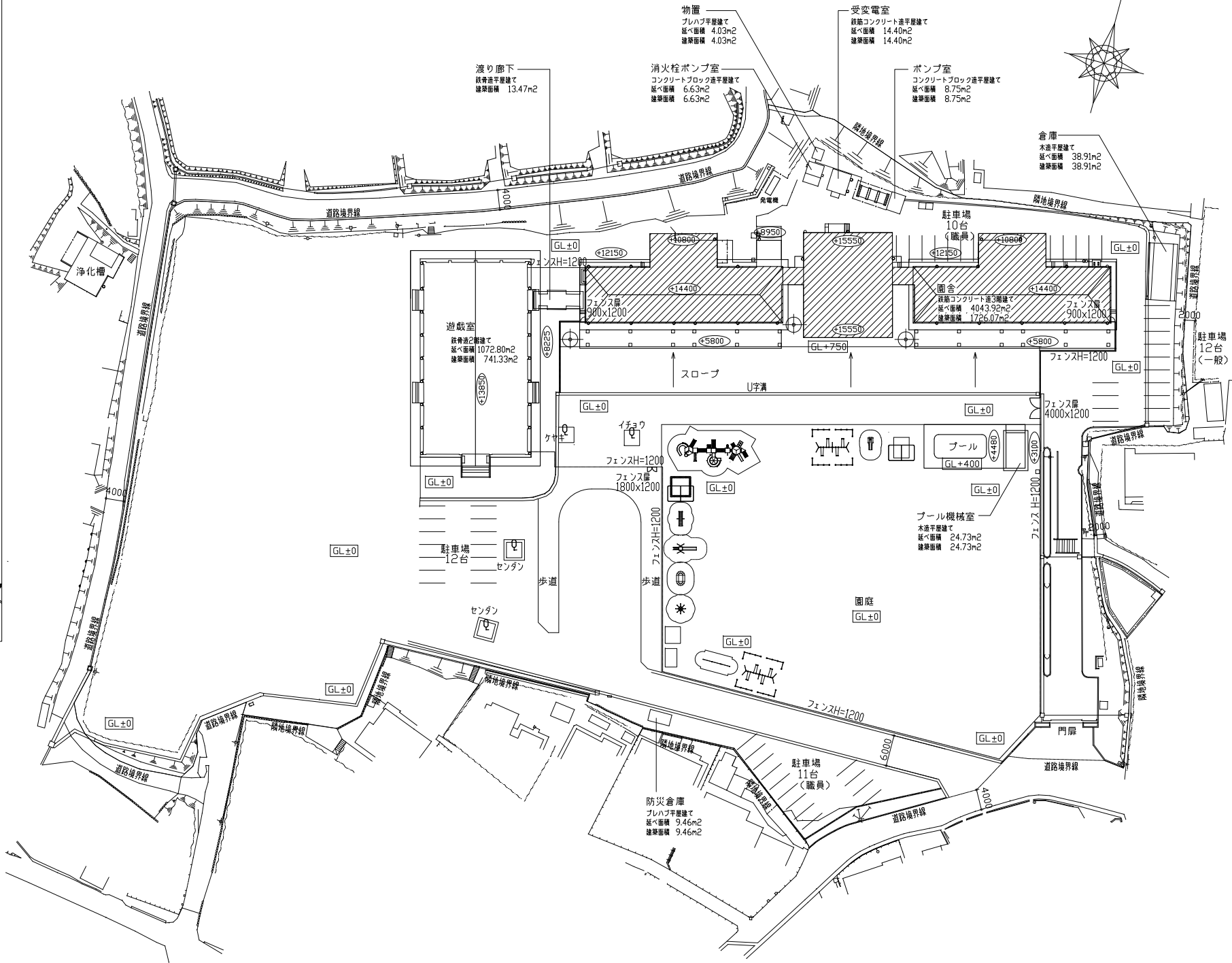
佐久間

間宮 間宮

佐久間



案内図
千倉子ども園
南房総市千倉町南朝夷1400番地



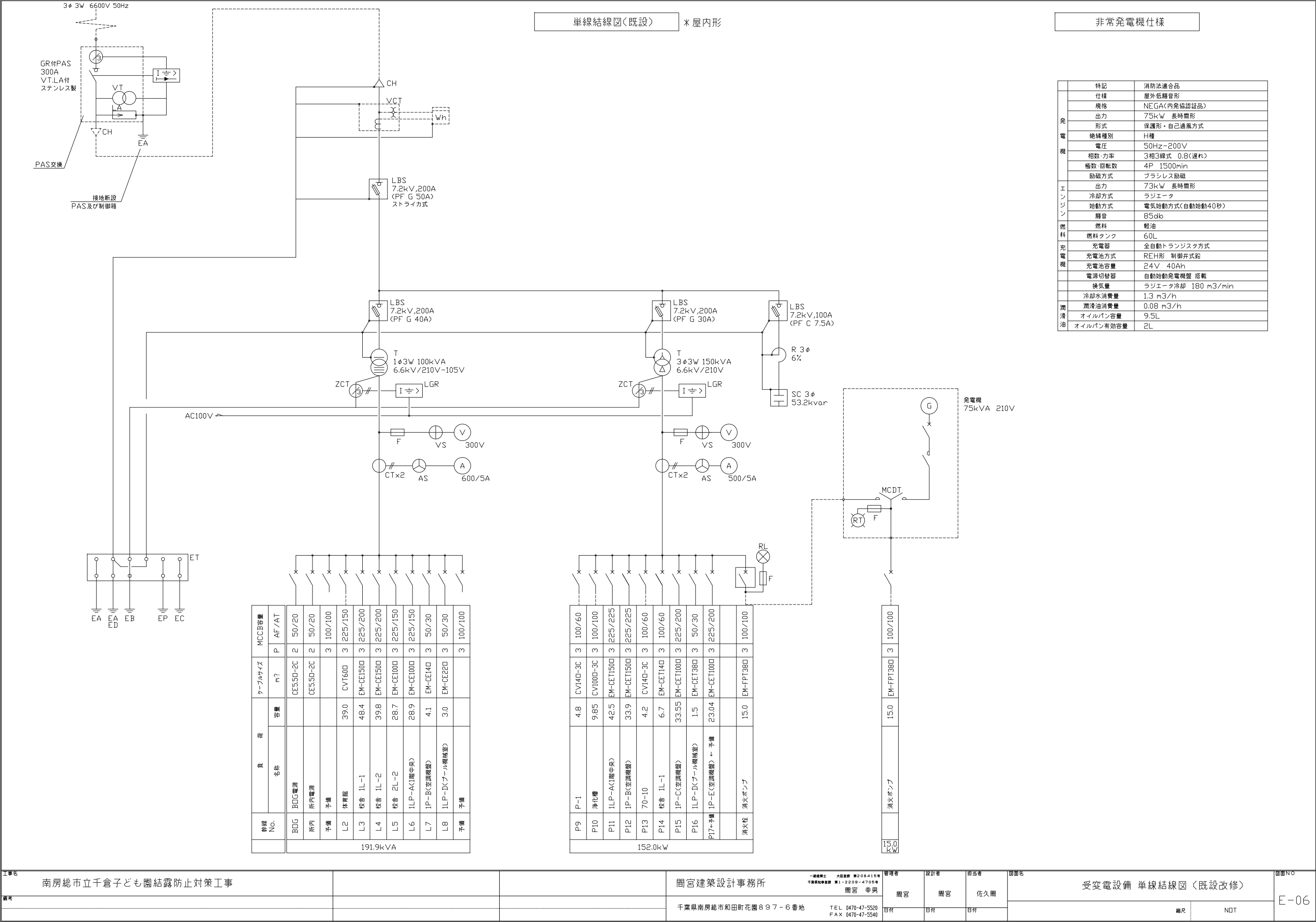
配置図
(注記) 図中の斜線は工事範囲建物を示す。

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所	一般建築士 大田彦雄 第208415号 千葉県知事登録 第1-2209-4705号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名 案内図・配置図	図面NO E-03
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 1/500	

電 気 工 事 凡 例

○ 印を本工事に適用する。

	記 号	名 称	備 考		記 号	名 称	備 考		記 号	名 称	備 考
○ 共 通	————	天井隠べい配線		○ 動 力 設 備		動力制御盤		○ 火 災 報 知 設 備		複合盤 火 報 窓 防排煙 窓 ガス漏 窓	
	-----	床隠べい配線				警報盤				受信機	P型1級 回線ベル内蔵
	-----	ケーブル配線				開閉器箱	容量を傍記			副受信機	回線主ベル内蔵
	-----	地中配線				電動機	(別途)			機器収容箱	屋内消火栓箱組込み
	-----	露出配管配線(外部厚銅管<(サイズ)>使用)	塗装仕上げ			電熱器(電器伊)	(別途)			機器収容箱	
	-----○	空配管1。2ビニール被覆鉄線挿入				換気扇				差動式スポット形感知器2種	1種の場合は、傍記による。
		立上り、立下り、素通し				フロートスイッチ	傍記は電極数			差動式スポット形感知器2種 埋込形	1種の場合は、傍記による。
		ブルボックス				フロートレススイッチ電極				定温式スポット形感知器	特種
		ジョイントボックス				サーモスタット	(別途)			定温式スポット形感知器1種	
		接地板	傍記は種類			ヒューミディスタット	(別途)			定温式スポット形感知器1種 防水形	特種の場合は、傍記による。
		埋設線(地中線)(ケーブル及び接地用杭)	○ コンクリート製鉄製(舗装部に埋る)			積算電力量計				煙感知器2種 露出形	1種の場合は、傍記による。
		ハンドホール				過電流と欠相と逆相を保護する継電器				煙感知器2種 埋込形	1種の場合は、傍記による。
		コンクリート柱	長さ、床口径、設計荷重は傍記による。			過電流と欠相を保護する継電器				煙感知器2種 点検ボックス付	1種の場合は、傍記による。
		支線	太さは傍記による。			地絡方向継電器				煙複合式スポット形感知器2種・3種複合式 露出形	1種・2種複合式の場合は、傍記による。
		支柱	材質、長さは傍記による。		ON	入				煙複合式スポット形感知器2種・3種複合式 埋込形	1種・2種複合式の場合は、傍記による。
○ 受 変 電 設 備				○ 電 灯 設 備	OFF	切		○ 電 話 設 備		インターホン親機	
	(室 名)	く) 印室名は直天井を示し、その他は二重天井			MA又はM	手 動				インターホン子機	
		CH	ケーブルヘッド		AUT又はA	自 動				本配線盤	
		AS	断路器		T	試 験				端子盤	
		VS	高圧気中開閉器(箱入)		R	遠 方				交換機	
		GS	高圧真空開閉器(箱入)		L	直入始動				電話アウトレット(床用)	通信用コネクタープラグユニットモジュラー埋込端子・多線型：40用・一線形：20用
		VC	高圧ガス開閉器(箱入)			限流遮断器				電話アウトレット(壁付)	
		VC	高圧真空接触器			漏電継電器				電話機	
			交流電源			給水又は排水用液面継電器				空配管 1。2ビニール被覆鉄線挿入	
			電池			空転防止又は高架水槽減水警報付給水用液面電器				電話型インターホン子機	
			電磁接触器			給水又は排水用液面継電器					
			双投電磁接触器			空転防止又は高架水槽減水警報付給水用液面電器					
		PC	高圧カットアウト(ヒューズ付)			満水警報付排水用液面継電器					
			差込形断路器			満減水警報付給水又は排水用液面継電器					
			零相変流器			受水槽空転防止付満減水警報及び高架水槽満減水警報付給水用液面継電器					
			計器用変流器			警報用液面継電器					
		VT	計器用変圧器			埋込コンセント 3極接地極付き	-Aは容量を示す				
			ヒューズ			LED<40型>・蛍光灯 40W×1	※図参照				
			変圧器			蛍光灯 40W×2	※図参照				
			高圧進相コンデンサ			LED<20型>・蛍光灯 20W×1 / 壁付	※図参照				
		CB	交流遮断器			LED・蛍光灯(角形)	※図参照				
		OCB	油遮断器			白熱灯	※図参照				
		VCB	真空遮断器			白熱灯(壁付)	※図参照				
		MBS	磁気遮断器			ダウソライツ(押込形)	※図参照				
		GCB	ガス遮断器			屋外灯	※図参照				
		ACB	気中遮断器			避難口誘導灯 廊下通路誘導灯 室内通路誘導灯	※図参照(必要に応じ避難方向の矢印を傍記する。)				
		MCCB	配線用遮断器			階段通路誘導灯	※図参照				
		ELCB	漏電遮断器			LED(電池内蔵形非常用照明器具)	※図参照				
			電圧計 電圧計切替スイッチ			蛍光灯 天井付(電池内蔵形非常用照明器具)	※図参照(階段通路誘導灯との兼用器具を含む。)				
		A	電流計 電流計切替スイッチ			埋込タンブラスイッチ1P15A	※図参照(階段通路誘導灯との兼用器具を含む。)				
			力率計			埋込タンブラスイッチ2P15A					
			無効率計			埋込タンブラスイッチ(3路スイッチ)3W15A					
			最大需要電力計			埋込タンブラスイッチ(4路スイッチ)4W15A					
			最大需要電流計(警報接点付)			埋込タンブラスイッチ(防水形)1P15A					
			周波数計			埋込タンブラスイッチパイロットランプ付					
			電力量計			埋込タンブラスイッチパイロットランプ付内蔵					
		CTT	試験用電流端子			リモコンセクタースイッチ	Nは回路数を表す。				
		PTT	試験用電圧端子			リモコンスイッチ	Nは回路数を表す。				
			過電流継電器			リモコンリレー					
			地絡継電器			リモコンリレー(集合体)					
			避雷器			自動点滅器	容量は、傍記による。				
						熱線式自動スイッチ	2A以外は、傍記による。				
						調光器	容量は、傍記による。				
○ 機 械 警 備 配 管				○ 呼 出 ・ 警 報 装 置				○ 機 械 警 備 配 管			
○ 機 械 警 備 配 管				○ 呼 出 ・ 警 報 装 置				○ 機 械 警 備 配 管			



幹線 No.	負 荷 名 称	容量	ケーブルサイズ m?	MCCB容量 P AF/AT	191.9kVA	
B0G	B0G電源		CE550-2C	2	50/20	
所内	所内電源		CE550-2C	2	50/20	
予備	予備			3	100/100	
L2	体育館	39.0	CVT600	3	225/150	
L3	校舎 1L-1	48.4	EM-CE1500	3	225/200	
L4	校舎 1L-2	39.8	EM-CE1500	3	225/200	
L5	校舎 2L-2	28.7	EM-CE1000	3	225/150	
L6	1LP-A(1階中央)	28.9	EM-CE1000	3	225/150	
L7	1LP-B(空調機盤)	4.1	EM-CE140	3	50/30	
L8	1LP-D(プール機械室)	3.0	EM-CE220	3	50/30	
予備	予備			3	100/100	

		152.0kW	
P9	P-1	4.8	CV140-3C 3 100/60
P10	浄化槽	9.85	CV1000-3C 3 100/100
P11	1LP-A(1階中央)	42.5	EM-CE11500 3 225/225
P12	1LP-B(空調機盤)	33.9	EM-CE11500 3 225/225
P13	70-10	4.2	CV140-3C 3 100/60
P14	校舎 1L-1	6.7	EM-CE1140 3 100/60
P15	1LP-C(空調機盤)	33.55	EM-CE11000 3 225/200
P16	1LP-D(プール機械室)	1.5	EM-CE1380 3 50/30
P17+予備	1LP-E(空調機盤)+予備	23.04	EM-CE11000 3 225/200
消火栓	消火ポンプ	15.0	EM-FPT380 3 100/100

		15.0kW	
	消火ポンプ	15.0	EM-FPT380 3 100/100

工事名

南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事

備考

図面NO

E-06

設計者

間宮

日付

日付

担当者

佐久間

日付

日付

図面名

受変電設備 単線結線図(既設改修)

図面NO

E-06

間宮建築設計事務所

千葉県南房総市和田町花園897-6番地

TEL 0470-47-5520

FAX 0470-47-5540

一級建築士 大臣登録 第208416号

千葉県知事登録 第1-2209-4705号

間宮 幸男

管理番号

0470-47-5520

設計者

間宮

日付

日付

担当者

佐久間

日付

日付

図面名

受変電設備 単線結線図(既設改修)

図面NO

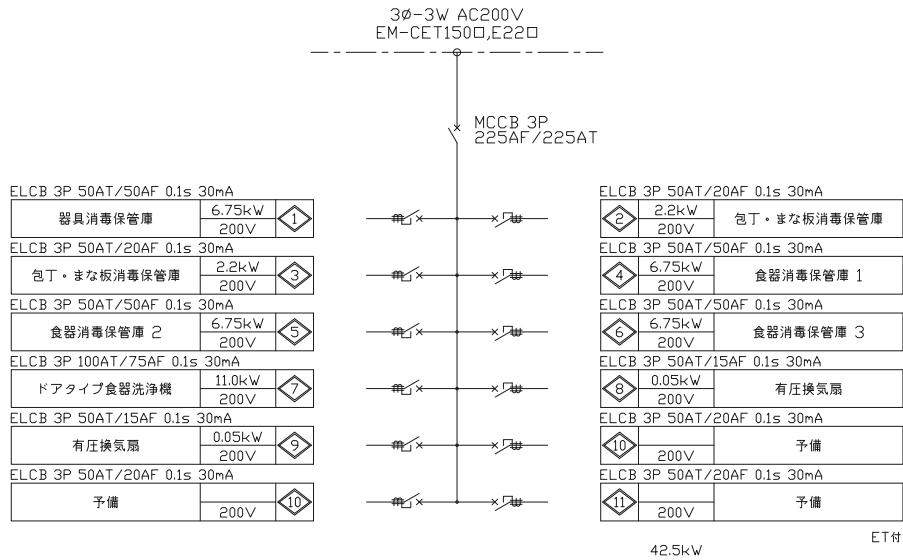
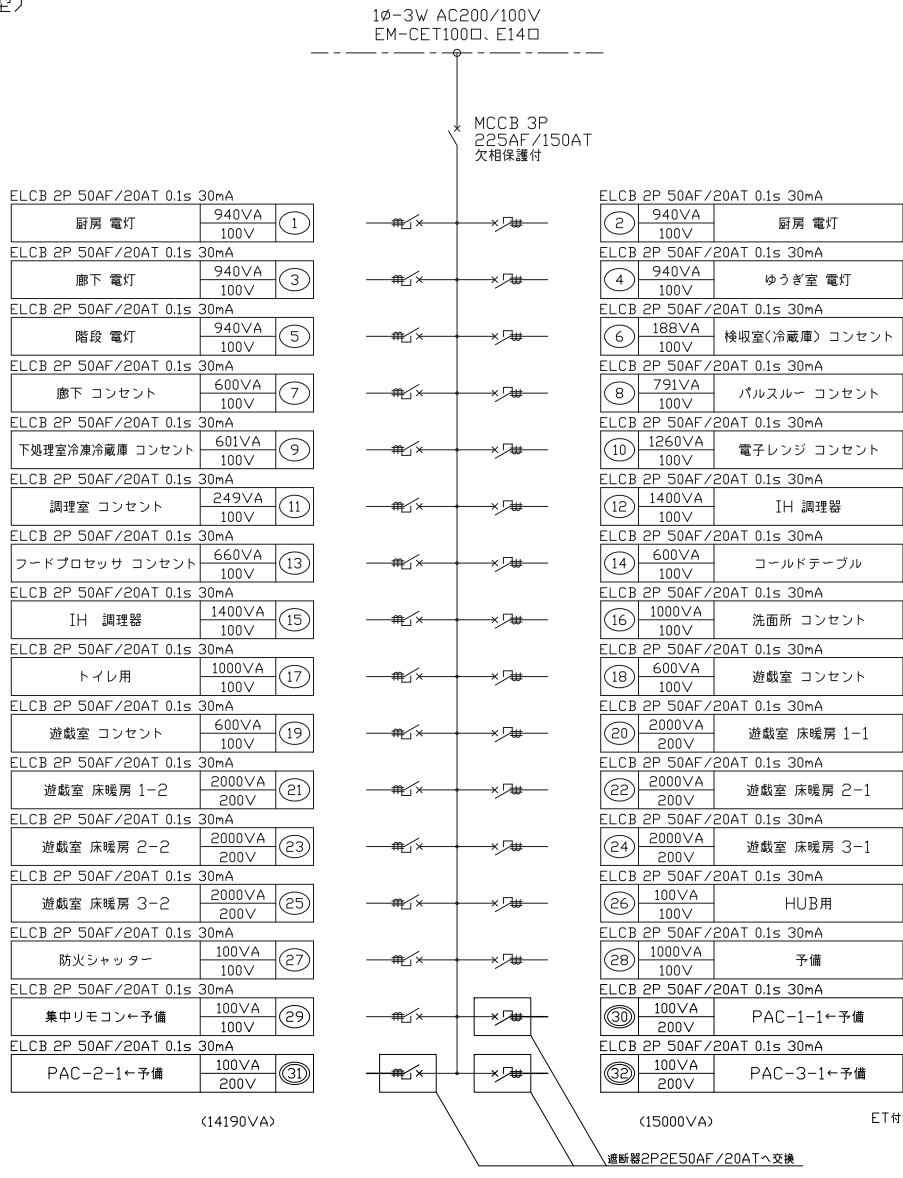
E-06

非常発電機仕様

特記	消防法適合品
仕様	屋外低騒音形
規格	NEGA(内発協認証品)
出力	75kW 長時間形
形式	保護形・自己通風方式
絶縁種別	H種
電圧	50Hz-200V
相数・力率	3相3線式 0.8(遅れ)
極数・回転数	4P 1500min
励磁方式	ブラシレス励磁
出力	73kW 長時間形
冷却方式	ラジエータ
始動方式	電気始動方式(自動始動40秒)
騒音	85dbs
燃料	軽油
燃料タンク	60L
充電器	全自動トランジスタ方式
充電池方式	REH形 制御弁式鉛
充電池容量	24V 40Ah
電源切替器	自動始動発電機盤 搭載
換気量	ラジエータ冷却 180 m3/min
冷却水消費量	1.3 m3/h
潤滑油消費量	0.08 m3/h
オイルパン容量	9.5L
オイルパン有効容量	2L

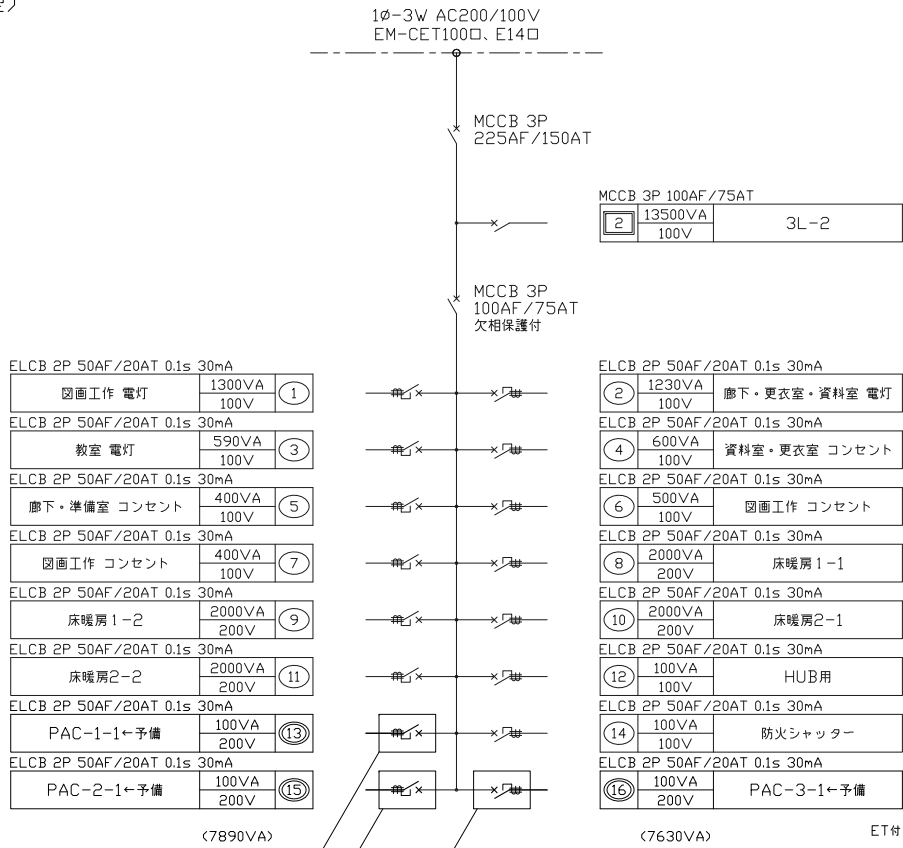
電灯・動力分電盤(改修)

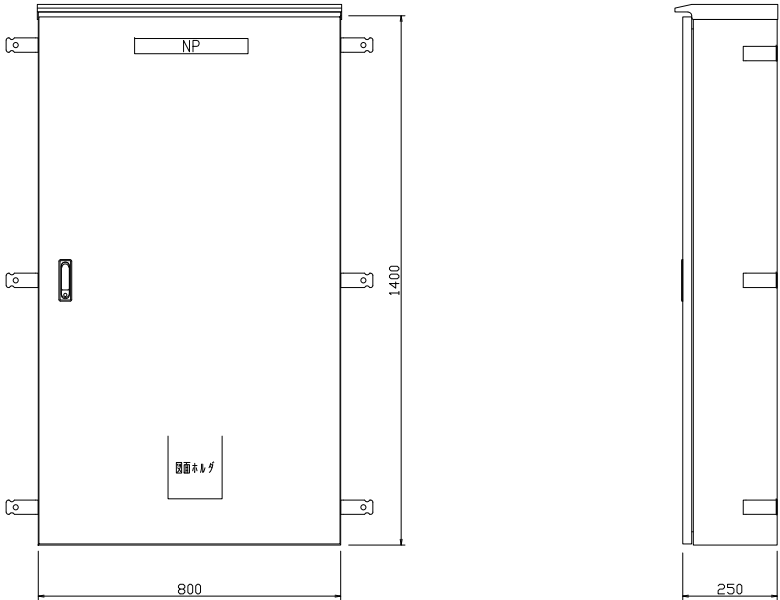
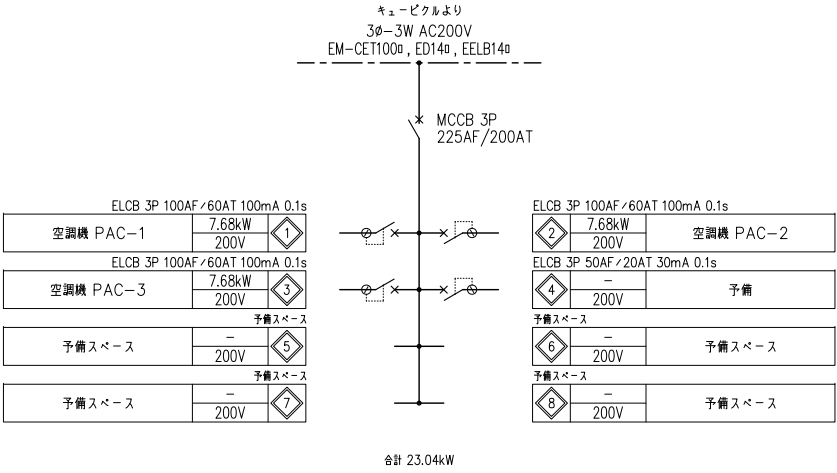
1LP-A(露出型)



電灯分電盤(改修)

2L-2(露出型)

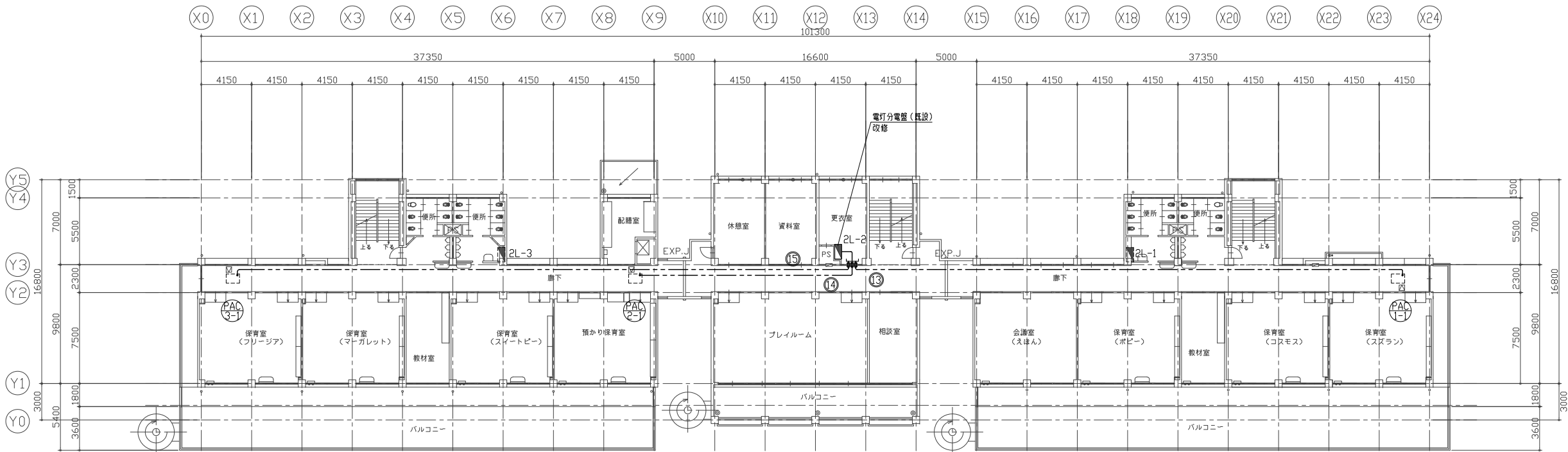




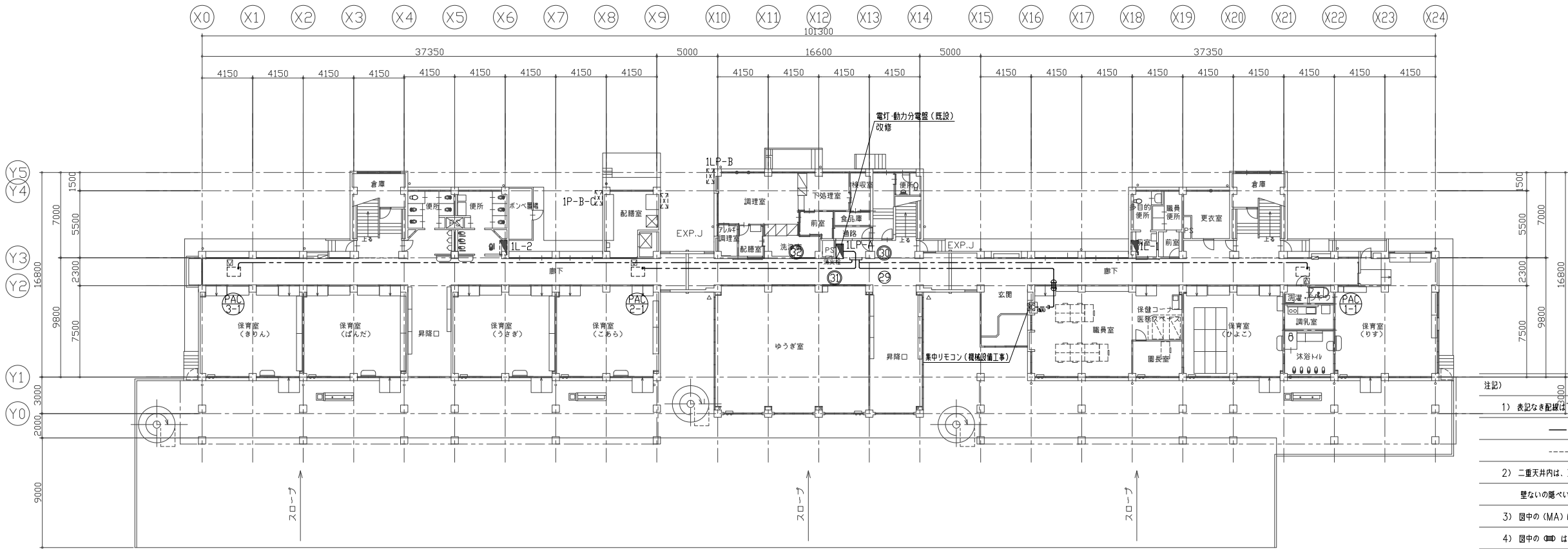
姿 図 (参考) S=1/10
寸法は参考値

注記)
1) 公共建築仕様
2) 屋外露出型ステンレス製・塗装仕上げ
カベはNo200とする
NPは監督員と協議のこと。
3) ED,EELB接地付き

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所	一級建築士 大臣登録 第208416号 千葉県知事登録 第1-2209-4705号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名	動力分電盤 (1P-E) 単線結線図 (新設)	図面NO	E-08
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺	NOT		



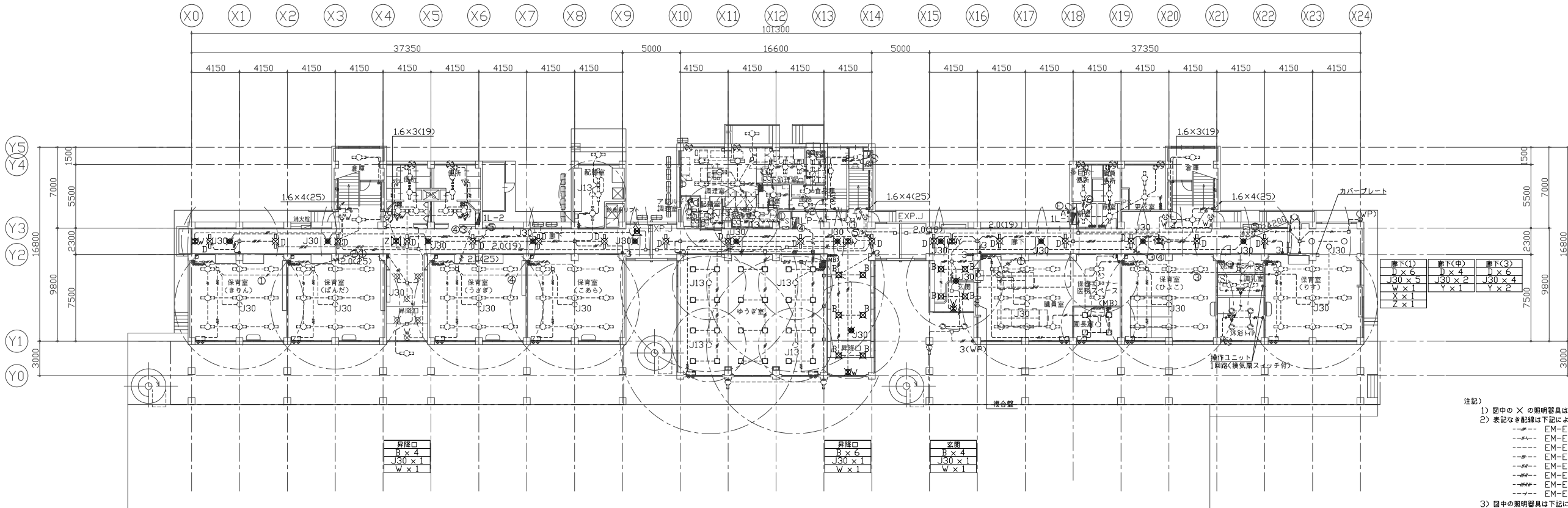
2階 平面図



1階 平面図

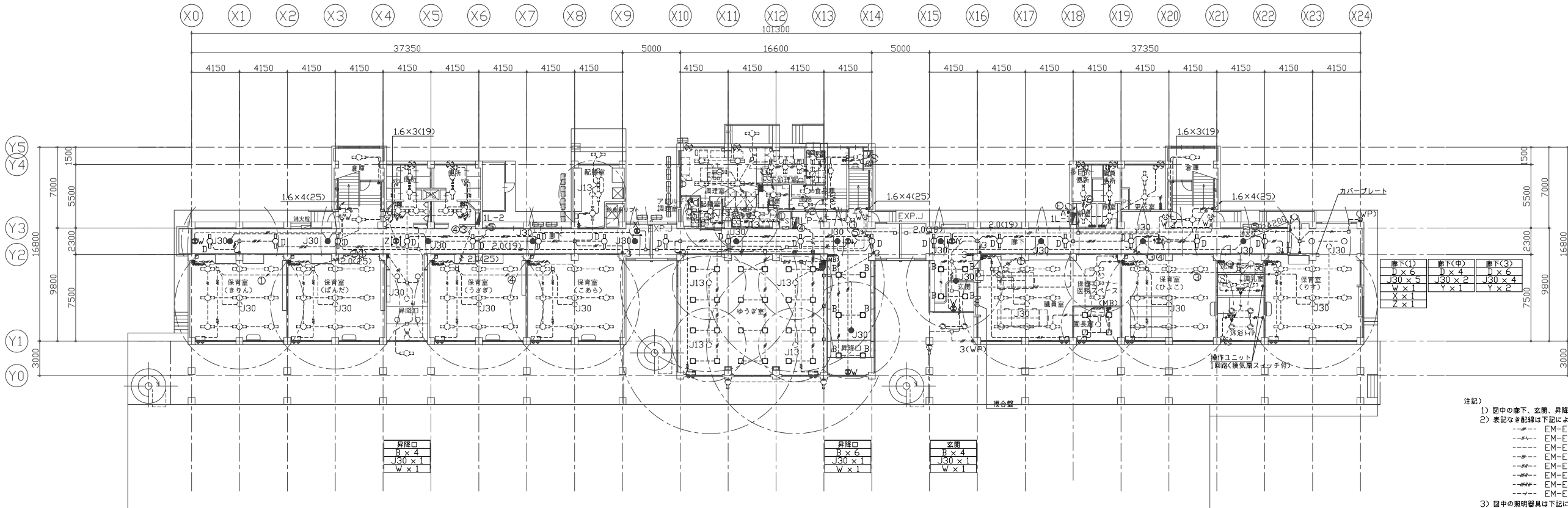
- 注記)
- 表記なき配線は下記による。
EM-EEF2.0-3C (1cE)
既設配線・配管 (既設のまま)
 - 二重天井内は、天井ごしとする。
壁ないの隠ぺい部は、PF管で保護のこと。
 - 図中の (MA) は1種全周縁がA型、(MB) はB型、(MC) はC型を示す。
 - 図中の ㊦ は 防火区画貫通処理 を示す。
 - 図中の □ は アウトレットボックス を示す。
 - 意匠図防火区画図参照の上 防火区画貫通処理は
国土交通大臣認定工法により措置を行うこと。

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名 1、2階 コンセント設備図	図面NO E-09
備考				日付	日付	日付	縮尺 1/200	



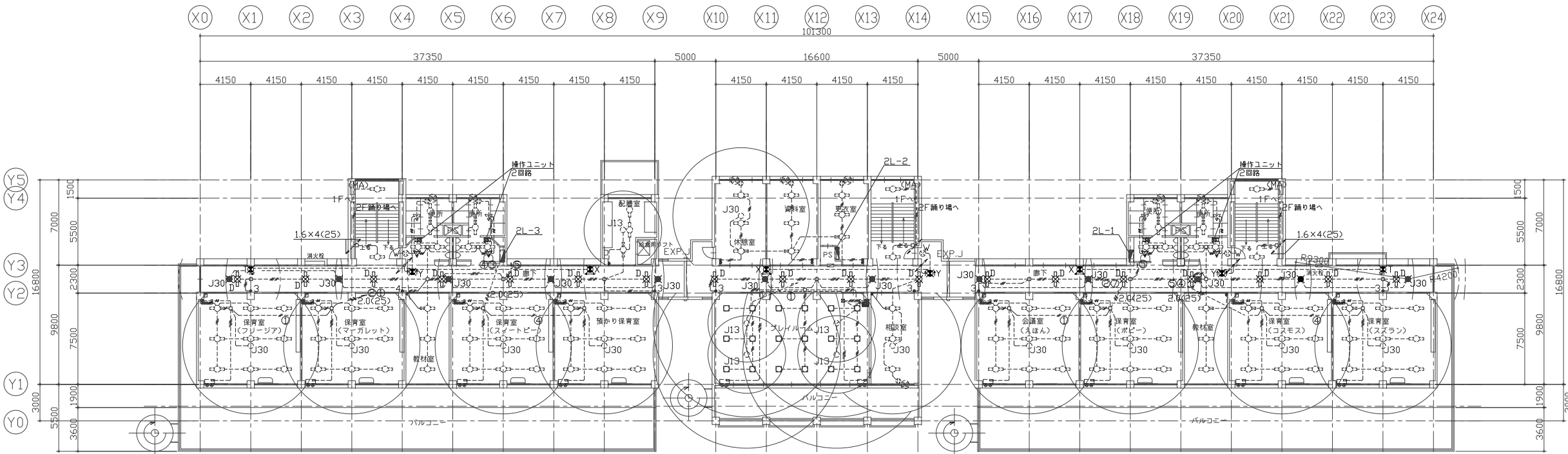
注記)
1) 図中の × の照明器具は取外しのこと。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-EEF2.0-2C
--- EM-EEF2.0-3C
--- EM-EEF1.6-2C
--- EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2
--- EM-EEF1.6-2C,EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2,EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2,EM-EEF1.6-3Cx2
3) 図中の照明器具は下記による。
B・・・LEDベースライト(スクエアタイプ 埋込型)
D・・・LEDベースライト(高出力型)
W・・・避難口誘導灯(片面型)
X・・・通路誘導灯(片面型)吊下げ式
Y・・・通路誘導灯(片面型)吊下げ式
Z・・・通路誘導灯(片面型)吊下げ式
J30・・・非常照明(30Wタイプ)

1階 平面図 (撤去)



注記)
1) 図中の廊下、玄関、昇降口の照明器具は取外し品再取付のこと。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-EEF2.0-2C
--- EM-EEF2.0-3C
--- EM-EEF1.6-2C
--- EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2
--- EM-EEF1.6-2C,EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2,EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2,EM-EEF1.6-3Cx2
3) 図中の照明器具は下記による。
B・・・LEDベースライト(スクエアタイプ 埋込型)
D・・・LEDベースライト(高出力型)
W・・・避難口誘導灯(片面型)
X・・・通路誘導灯(片面型)吊下げ式
Y・・・通路誘導灯(片面型)吊下げ式
Z・・・通路誘導灯(片面型)吊下げ式
J30・・・非常照明(30Wタイプ)

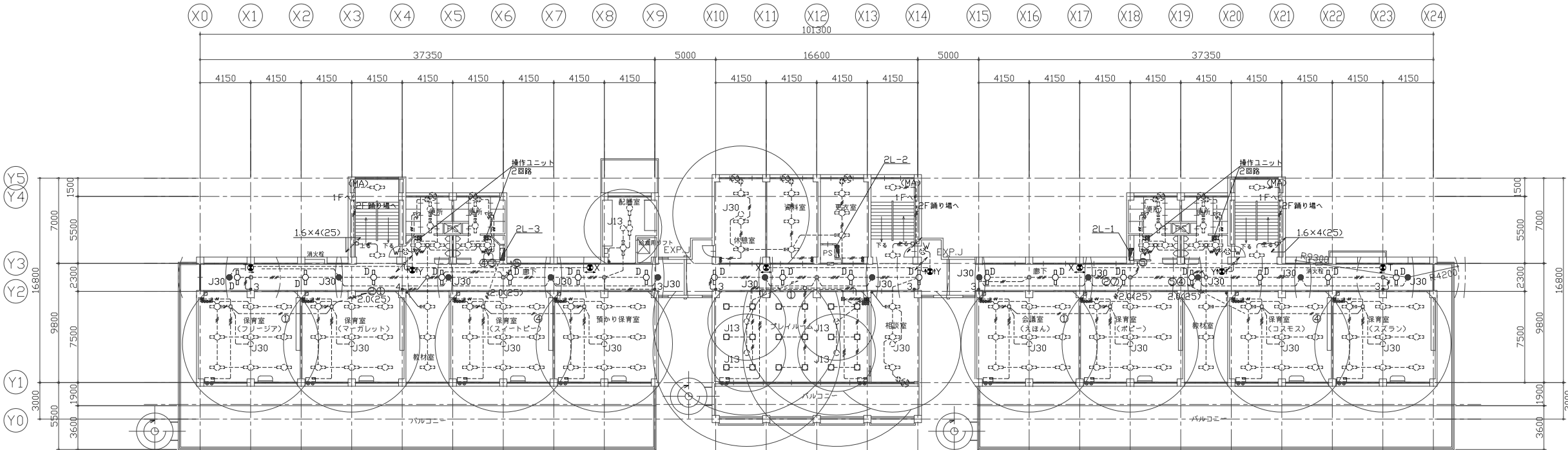
1階 平面図 (改修)



2階 平面図 (撤去)

廊下(1)	廊下(中)	廊下(3)
J30 x 7	J30 x 4	J30 x 7
J30 x 5	J30 x 2	J30 x 5
X x 1	X x 1	X x 1
Y x 1	Y x 1	Y x 1

- 注記)
- 1) 図中の X の照明器具は取外しのこと。
 - 2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-EEF2.0-2C
--- EM-EEF2.0-3C
--- EM-EEF1.6-2C
--- EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2
--- EM-EEF1.6-2C,EM-EEF1.6-3C
 - 3) 図中の照明器具は下記による。
D・・・LEDベースライト(高出力型)
X・・・通路誘導灯(片面型)吊下式
Y・・・通路誘導灯(両面型)吊下式
T・・・通路誘導灯(片面型)吊下式
J30・・・非常照明(30Wタイプ)

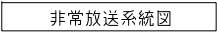


2階 平面図 (改修)

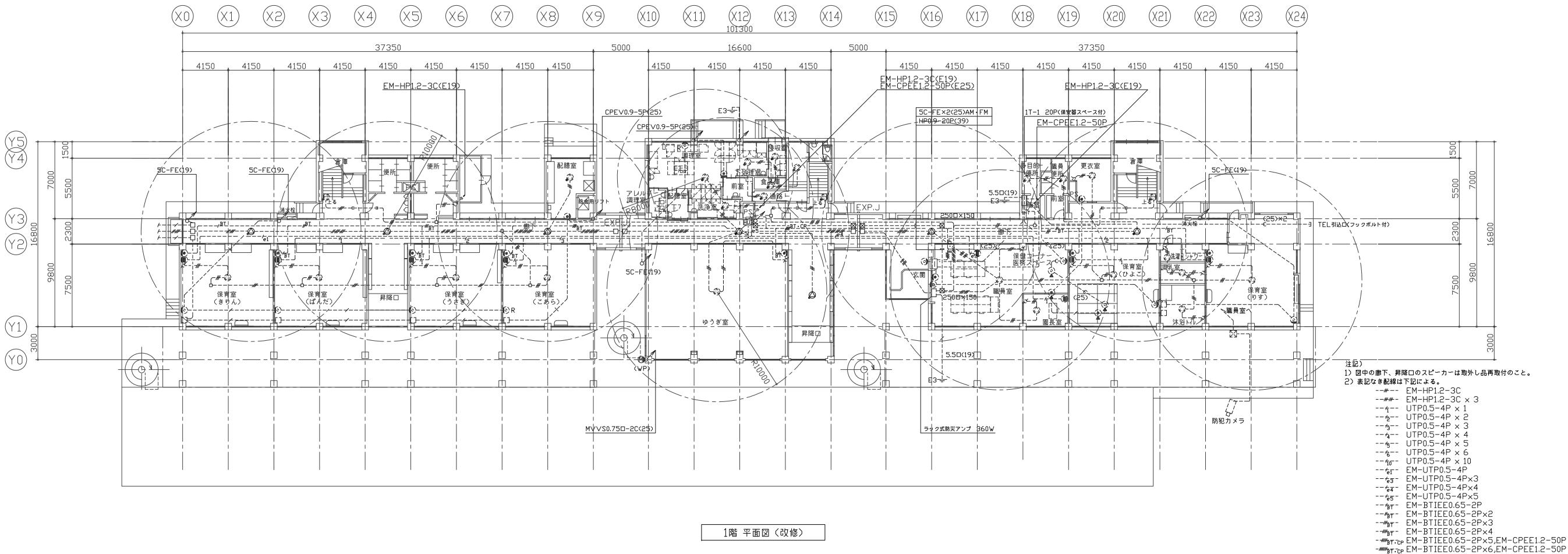
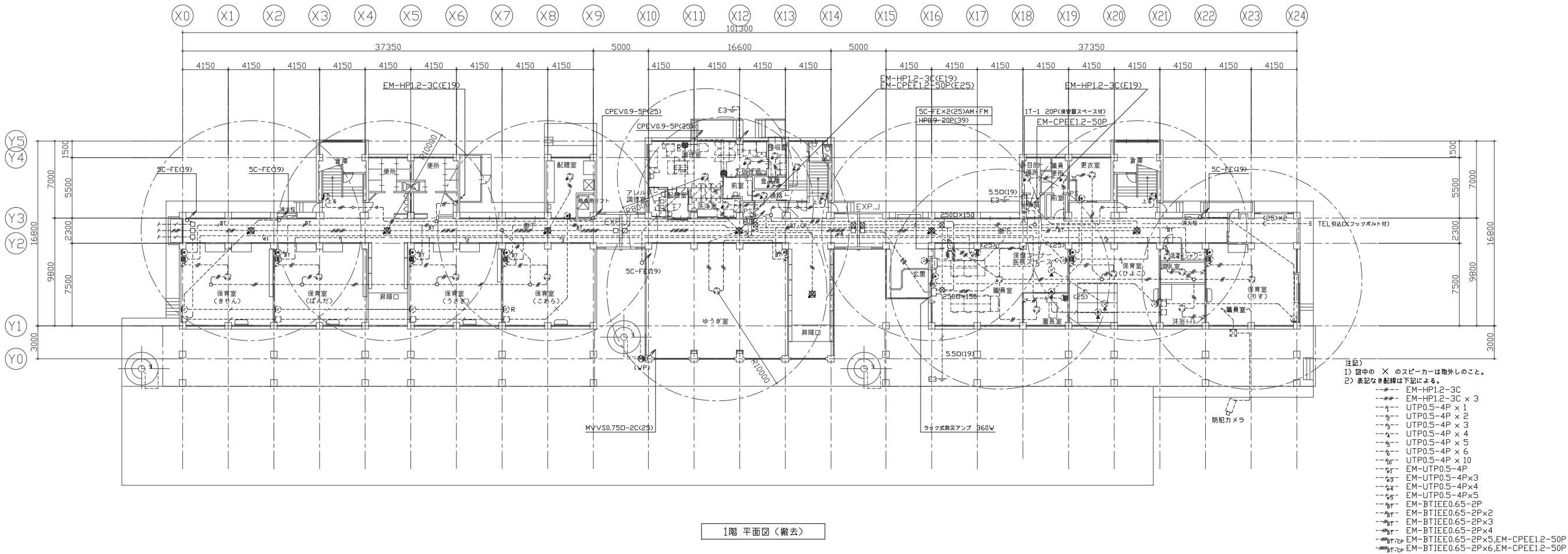
廊下(1)	廊下(中)	廊下(3)
J30 x 7	J30 x 4	J30 x 7
J30 x 5	J30 x 2	J30 x 5
X x 1	X x 1	X x 1
Y x 1	Y x 1	Y x 1

- 注記)
- 1) 図中の廊下の照明器具は取外し品再取付のこと。
 - 2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-EEF2.0-2C
--- EM-EEF2.0-3C
--- EM-EEF1.6-2C
--- EM-EEF1.6-3C
--- EM-EEF1.6-2Cx2
--- EM-EEF1.6-2C,EM-EEF1.6-3C
 - 3) 図中の照明器具は下記による。
D・・・LEDベースライト(高出力型)
X・・・通路誘導灯(片面型)吊下式
Y・・・通路誘導灯(両面型)吊下式
T・・・通路誘導灯(片面型)吊下式
J30・・・非常照明(30Wタイプ)

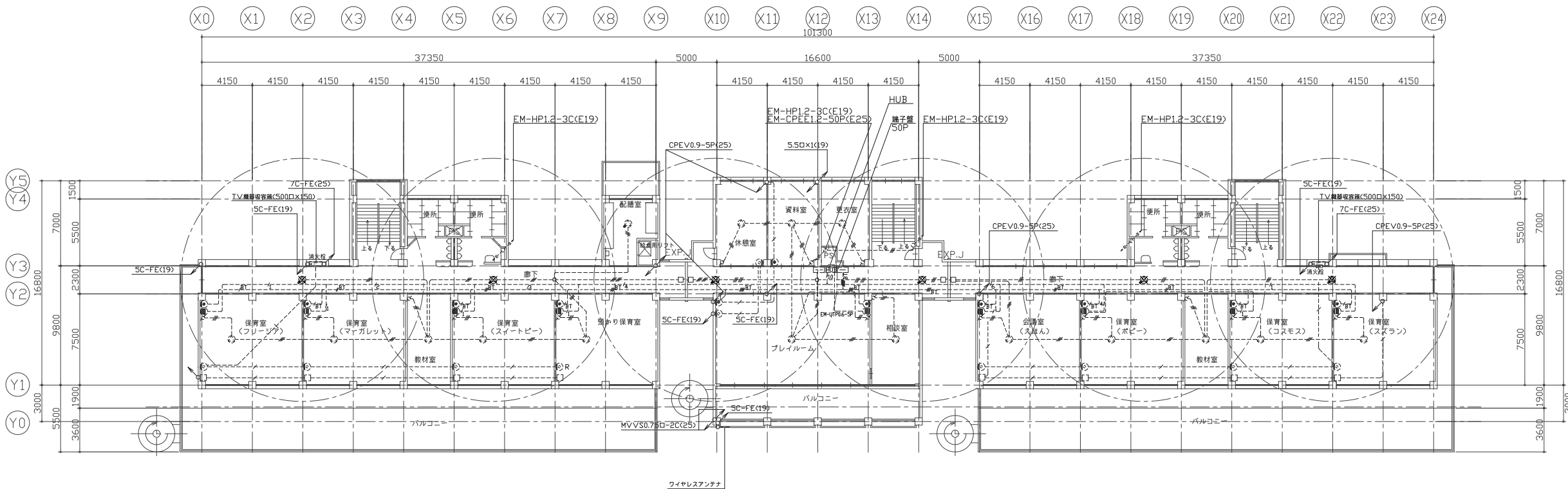
非常放送区域番号		
No.	階	放送区域
①	1F	1階
②	1F	1階・廊下
③	2F	2階
④	2F	2階・廊下
⑤	3F	3階
⑥	3F	3階・廊下
⑦		階段・東
⑧		階段・中央
⑨		階段・西
⑩		体育館



工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 一級建築士 大臣登録 第208415号 千葉県知事登録 第1-2209-4705号 間宮 幸男	管理者 間宮	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名 非常放送系統図	図面NO E-12
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 NOT	

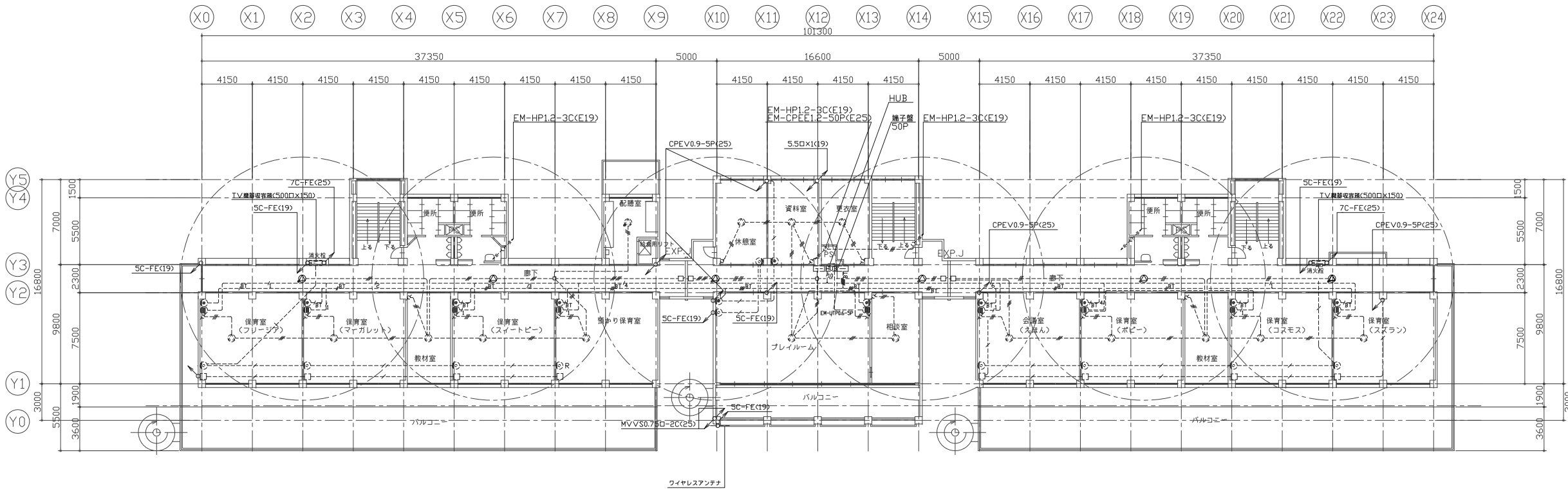


工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理 間宮 幸男	設計 間宮	担当 佐久間	図面名 1階弱电設備図(撤去・改修)	図面NO E-13
備考		千倉		日付	日付	日付	縮尺 1/200	



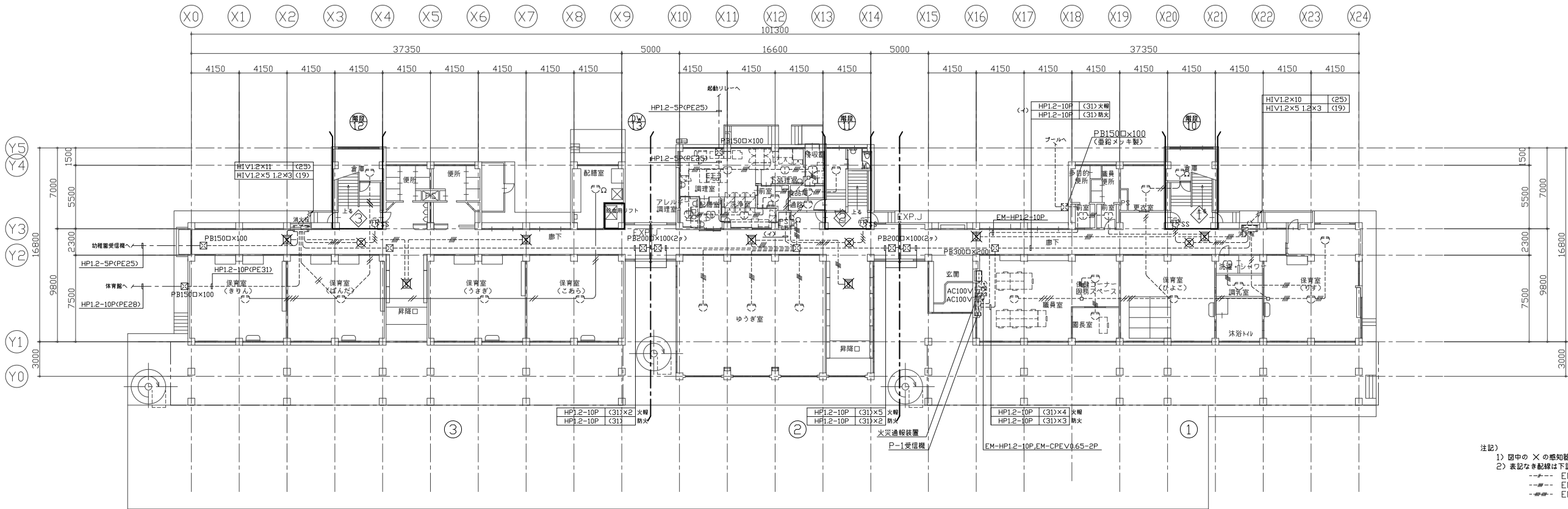
注記
1) 図中の X のスピーカーは取外しの事。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-HP1.2-3C
--- EM-HP1.2-3C x 3
--- UTP0.5-4P x 1
--- UTP0.5-4P x 2
--- UTP0.5-4P x 3
--- UTP0.5-4P x 4
--- UTP0.5-4P x 5
--- UTP0.5-4P x 6
--- UTP0.5-4P x 10
--- BT EM-BTIEE0.65-2P
--- BT EM-BTIEE0.65-2Px2
--- BT EM-BTIEE0.65-2Px3
--- BT EM-BTIEE0.65-2Px4

2階 平面図 (撤去)



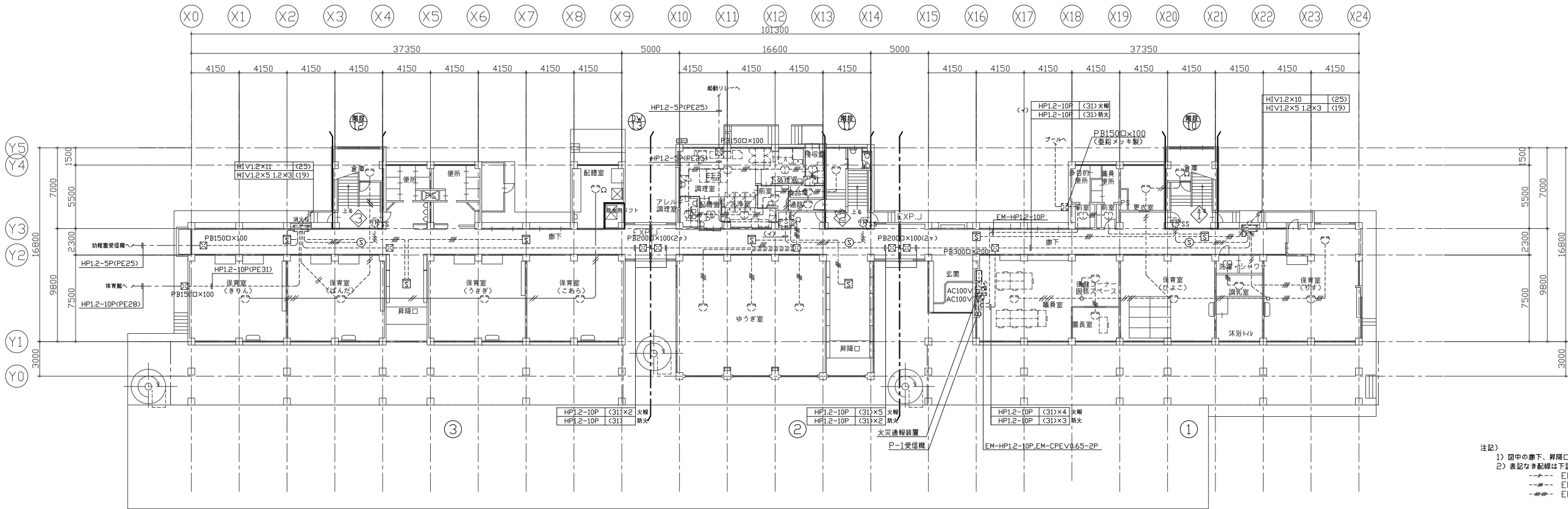
注記
1) 図中の廊下のスピーカーは取外し品再取付の事。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-HP1.2-3C
--- EM-HP1.2-3C x 3
--- UTP0.5-4P x 1
--- UTP0.5-4P x 2
--- UTP0.5-4P x 3
--- UTP0.5-4P x 4
--- UTP0.5-4P x 5
--- UTP0.5-4P x 6
--- UTP0.5-4P x 10
--- BT EM-BTIEE0.65-2P
--- BT EM-BTIEE0.65-2Px2
--- BT EM-BTIEE0.65-2Px3
--- BT EM-BTIEE0.65-2Px4

2階 平面図 (改修)



1階 平面図 (撤去)

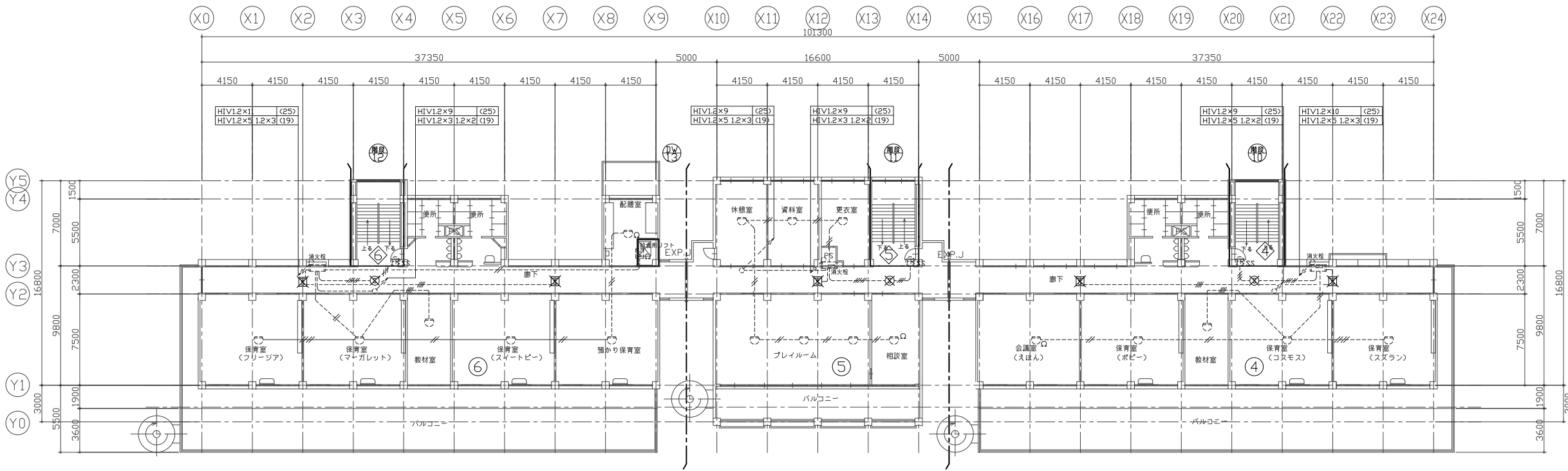
注記)
1) 図中の × の感知器は取外しのこと。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-HP1.2-2C
--- EM-HP1.2-4C
--- EM-HP1.2-4C x 2



1階 平面図 (改修)

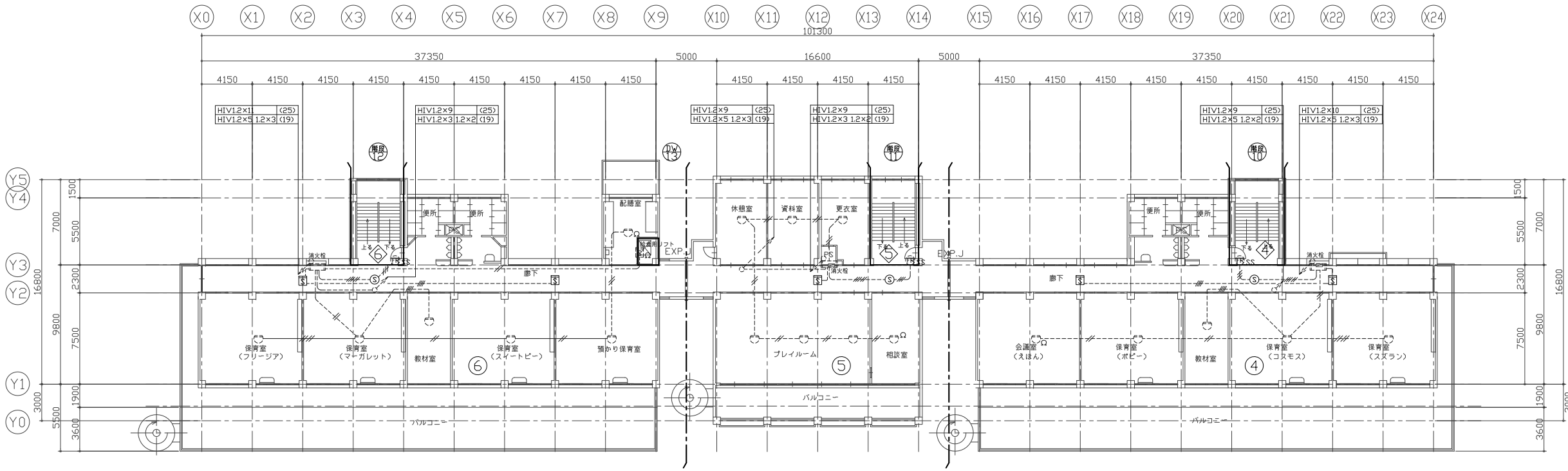
注記)
1) 図中の廊下、昇降口の感知器は取外し品再取付のこと。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-HP1.2-2C
--- EM-HP1.2-4C
--- EM-HP1.2-4C x 2

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	管理者 間宮 幸男 設計者 間宮 担当者 佐久間	図面名 1階火災報知設備図(撤去・改修)	図面NO E-16
備考		日付	日付	縮尺 1/200	



注記)
1) 図中の × の感知器は取外しの事。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-HP1.2-2C
--- EM-HP1.2-4C

2階 平面図 〈撤去〉



注記)
1) 図中の廊下の感知器は取外し品再取付の事。
2) 表記なき配線は下記による。
--- EM-HP1.2-2C
--- EM-HP1.2-4C

2階 平面図 〈改修〉

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		間宮建築設計事務所 千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540		管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名 2階火災報知設備図(撤去・改修)	図面NO E-17
備考				日付	日付	日付	縮尺 1/200	

工事名称		南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項	章 項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
I. 工事概要	<div> <div> <div>○ フレックス工期契約制</div> <div>○ 適用する 工事の着手期限日 令和0年○月○日 工事の終期日 令和0年○月○日</div> <div>○ 適用しない 留意事項</div> <div>・受注者は、工事着手日を明らかにするため、契約締結後7日以内に工事着手日通知書(第1様式)を発注者に届け出なければならない。</div> <div>・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設業法(昭和24年5月24日法律第100号)第26条に基づく主任技術者又は監理技術者の設置を要しない。</div> <div>・契約締結日から工事着手日の前日までの間は、建設工事請負契約書第1条に基づき現場代理人の設置を要しない。</div> <div>・工事着手までの間は、工事の監理(監理事務所の設置、資機材等の発注及び工場製作を含む)を行って行はならない。</div> <div>・前金払は、工事着手日の10日前までは請求できない。</div> <div>・工事実績精細システムへの登録に際しては、主任(監理)技術者及び現場代理人の従事期間は、工事着手日をもって登録するものとする。(工事契約日から工事着手日の前日までを除くこととする。)</div> </div> </div>	<div> <div>1. 工事場所 南房総市千倉町南朝1400番地 (千倉子ども園)</div> <div>2. 建物概要</div> <table> <tr> <th>建 物 名 称</th><th>構 造</th><th>階 数</th><th>延べ面積 (㎡)</th><th>消防法施行令別表第 四 施設の種類</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>南房総市立千倉子ども園</td><td>RC造</td><td>3階</td><td>4043.92</td><td>16項(イ)</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <div>3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)</div> <table> <tr> <th>建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目</th><th colspan="16">工 事 種 別</th></tr> <tr> <th>工 事 種 目</th><th>千倉子ども園</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th><th>○ 一 式</th></tr> <tr> <td>● 空調設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 換気設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 排煙設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 自動制御設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 衛生器具設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 給水設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 排水設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 給湯設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 消火設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 厨房設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● ガス設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 排水処理設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 雨水利用設備</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> <tr> <td>● 撤去工事</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td><td>○ 一 式</td></tr> </table> <div>4. 指定部分 ○ 無 ○ 有 対象部分(指定部分 工期 令和 年 月 日)</div> <div>5. 設備概要 (●印の付いたものを適用する。)</div> <table> <tr> <th>方式及び種類</th><th colspan="16">設 備 概 要</th></tr> <tr> <td>● 空調方式</td><td>○ 空冷ヒートポンプ方式</td><td>○ 電気式</td><td>○ 電子式</td><td>○ デジタル式</td><td>○ 高圧タンク方式</td><td>○ ポンプ直送方式</td><td>○ 水道直結方式</td><td>○ 建物内の雨水と雑排水(ポンプ排水)の併用</td><td>○ 汚物</td><td>○ 雑排水</td><td>○ 湧水</td><td>○ 無</td><td>○ 建物外放流先</td><td>① 汚水</td><td>○ 直放排水主管</td><td>○ 雑排水</td><td>○ 直放排水主管</td></tr> <tr> <td>○ </td></tr></table></div>	建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第 四 施設の種類	備考	南房総市立千倉子ども園	RC造	3階	4043.92	16項(イ)																				建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目	工 事 種 別																工 事 種 目	千倉子ども園	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 空調設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 換気設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 排煙設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 自動制御設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 衛生器具設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 給水設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 排水設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 給湯設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 消火設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 厨房設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● ガス設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 排水処理設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 雨水利用設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	● 撤去工事	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	方式及び種類	設 備 概 要																● 空調方式	○ 空冷ヒートポンプ方式	○ 電気式	○ 電子式	○ デジタル式	○ 高圧タンク方式	○ ポンプ直送方式	○ 水道直結方式	○ 建物内の雨水と雑排水(ポンプ排水)の併用	○ 汚物	○ 雑排水	○ 湧水	○ 無	○ 建物外放流先	① 汚水	○ 直放排水主管	○ 雑排水	○ 直放排水主管	○
建 物 名 称	構 造	階 数	延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第 四 施設の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
南房総市立千倉子ども園	RC造	3階	4043.92	16項(イ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
建 物 別 及 び 屋 外 工 事 種 目	工 事 種 別																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
工 事 種 目	千倉子ども園	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 空調設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 換気設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 排煙設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 自動制御設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 衛生器具設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 給水設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 排水設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 給湯設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 消火設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 厨房設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● ガス設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 排水処理設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 雨水利用設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
● 撤去工事	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
方式及び種類	設 備 概 要																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
● 空調方式	○ 空冷ヒートポンプ方式	○ 電気式	○ 電子式	○ デジタル式	○ 高圧タンク方式	○ ポンプ直送方式	○ 水道直結方式	○ 建物内の雨水と雑排水(ポンプ排水)の併用	○ 汚物	○ 雑排水	○ 湧水	○ 無	○ 建物外放流先	① 汚水	○ 直放排水主管	○ 雑排水	○ 直放排水主管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																		
● 設計用温湿度	○ 下表による。 ○ () の温度条件による。	<table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">外 気</th><th colspan="6">屋 内 (調 整 目 標)</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td><td>℃</td><td>%</td></tr></table>			外 気		屋 内 (調 整 目 標)						温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 銅板厚 (○ 3.2mm ○ 4.5mm)		● 低圧ダクト (○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト) とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び強化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。		取り付け箇所は図示による。	
		外 気			屋 内 (調 整 目 標)																																							
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																			
	夏 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																			
	冬 期	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																			
	○ 銅 板 製 煙 道																																											
	● ダ ク ト																																											
	● 風 量 測 定 口																																											
	● チ ャ ン パ ー																																											
	○ ダ ン パ ー																																											
● 配 管 材 料																																												
○ 弁 類																																												
○ 温 度 計																																												
○ 圧 力 計																																												
○ 瞬間流量計																																												
○ 油面制御装置																																												
○ 絶縁継手																																												
● 保 温 及 び 消 音 内 貼 [リ]																																												
○ ダ ク ト	○ 低圧ダクト (○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが 1500 mm以下の部分) ○ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト) とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び強化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1番手厚いものを使用する。																																											
○ 風 量 測 定 口																																												
○ ダ ン パ ー																																												
○ 排気ダクトのシール																																												
○ チ ャ ン パ ー																																												
○ 保 温																																												
○ ダ ク ト	○ 垂鉛鉄板 ○ 普通鋼板 (厚1.6mm)																																											
○ 排煙口の形式	○ 図示による。																																											
○ 排煙口手動開放装置 (開放及び復帰方式)	○ ワイヤー式 ○ 電気式 (遠隔操作 ○ 要 ○ 不要)																																											
○ 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書平成28年度版 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。																																											
○ 中央監視制御装置	○ 有り (○ 新設 ○ 既設) ○ 無し																																											
○ システム構成・機能	図示による。																																											
○ 電気計装用配線	使用する電線及びケーブルは、原則としてB電線又はBケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠へいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。																																											
○ 自動洗浄装置及びその組み込み小便器	洗浄水量は4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。																																											
○ 洗面器	○ 個別感知方式 (一体型) 制御盤 (○ 要 ○ 不要)																																											
○ 標 記 板	手洗器は止水栓付とする。																																											
○ 自動水栓の電源供給方式	○ 要 材質 (○) (○ 大便器 ○ 小便器) ○ 不要 ○ AC電源 ○ 自己発電 ○																																											
○ 衛生器具ユニット	ユニットの配管材料は、図示による。																																											
○ 洋風便器	タンク式は6.5L/回以下とする。																																											
○ 浴室ユニット	仕様は別図による。																																											

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項	
○ 配 管 材 料	給	(1) 一般配管 ○ (2) 地中埋設配管 ○ (3) 水道直結配管 ○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、() とし、他の部分は (1) による。 ()		○ 撤 去 内 容		● 図示による。 ○					
	○ 水 栓	○ 台所流し用の水栓は泡流式とする。 ○ 水栓柱を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 (○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。)		○ 保 温 材		ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。					
	○ 量 水 器	○ 親メーター (貸与品) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 水道事業者指定品 (○ 貸与品 ○ 買い取り) ○ 標準図 MC 形		● 石綿含有品		撤去方法 ○ 図示による ○					
	○ 量 水 器 附	図示の位置に取付ける。		● 発生材の処理		● 金属類 (● 機器類 ○ ダクト ○ 配管 ○ その他金属類) の処理は (● 構外搬出適切処理 ○) とする。 ○ 特別管理産業廃棄物 (○ 別途 ○) の処理は (○ 構外搬出適切処理 ○ 別途) とする。 ○ 石綿含有産業廃棄物 (○ 配管用成形保温材 ○ フランジ用ガスケット) の処理は (○ 構外搬出適切処理 ○ 別途) とする。 ● 上記以外のもの (○) の処理は (● 構外搬出適切処理 ○ 別途) とする。 ○ 建設リサイクル法における再資源化等を行なう特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。					
	○ 絶縁継手	JIS 又は JV ○ 水道直結部分 (○ 10K ○) ○ その他の部分 (○ 5K ○) ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。		○ 冷媒 (フロン類) の回収		○ 本工事 ○ 別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類を監督職員に提出する。 ○ フロン回収行程管理表の写し ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し					
	○ 弁 類	○ 管の上端より原則として、一般敷地は(cm) 構内道路は(cm) 以上とする。 ○ 合成樹脂製 ○ アルミニウム合金製 ○ 人造石とぎ出し製 ○ ステンレス製		○ その他		○ 上ガス対策		○ なし ○ あり (○ 自然換気口 ○ ガス抜き管 ○ 強制換気装置 ○ ガス検知器 ○ その他 ()) ○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。			
	○ 管の地中埋設深さ	標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) の (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要									
	○ 水 栓 柱										
	○ 建物導入部配管										
	○ 引込納付金等										
○ 配 管 材 料	(1) 屋 内 汚 水 管 ○ ○ 種排水管 ○ 通気管 ○ ポンプアップ排水管 ○										
○ 洗面器等の排水管	(2) 屋 外 第一樹まで ○ 樹 間 ○										
○ 清水試験継手	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床下露出部分の配管は、ビニル管 (RF-VP) でもよい。 ○ 標準仕様書第2編 2.4.8 (f) による。 ○ 図示の箇所に取付ける。										
○ インバート樹・たの樹	○ プラスチック樹 (○ 標準図による。) ○ コンクリート樹 (○ 標準図による。 ○ 本図面の施工要領図による。 ○)										
○ 放流納付金等	○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要										
○ 配 管 材 料	○										
○ 弁 類	JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。										
○ 保 温	湯沸器の給排水施 (二重管) の隠へい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5のh・(イ)・Ⅹとする。										
○ 配 管 材 料	(1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連結式水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○										
○ 屋内消火栓種別	○ 易操作性1号消火栓 ○ 1号消火栓 ○ 2号消火栓										
○ 屋内消火栓開閉弁	○ 10k										
○ 保 温	屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(イ)・Ⅶによる保温を行う。										
○ 建物導入部配管	標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。										
○ 不活性ガス消火設備	別図による。										
○ 泡消火設備	別図による。										
○ シ ス テ ム	○ ドライシステム ○										
○ 厨房用熱源	図示による。										
○ 機器の機能等	図示による。										
○ ガ ス 種 別	○ 都市ガス (供給者名： 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 液化石油ガス										
○ 配 管 材 料	○ 都市ガス ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○										
○ 充 て ん 容 器	別途 (○ 50kg ○) × 本										
○ 集 合 装 置	○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。										
○ 転 倒 防 止 等	○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。										
○ メ ー タ ー	○ 親メーター (貸与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式)										
○ ガス漏れ警報器	○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 機型 ○ 型式 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)										
○ 漏洩検知装置											
○ 電気防食											
○ 引込負担金等											
○ バルク貯槽											
○ 仕 様 等	別図による。										
○ 設 備 方 式	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害										
○ 仕 様 等	別図による。										
○ 雨水利用設備											

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事			間宮建築設計事務所	一般建築士 大匠登録 第208415号 千葉県知事登録 第1-2209-4705号 間宮 幸男	管理者	設計者	担当者	図面名	図面NO
備考				千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	間宮	間宮	佐久間	機械設備工事特記仕様書(2)	M-02
						日付	日付	日付	縮尺	NOT

[illegible][illegible]

別表-1

機 材 等	

冷媒配管支持要領

土間下配管詳細図

土間鉄筋に結束のこと

土間下地中配管は、9φ鉄筋（ターレスポキン塗リ）にて、U字型支持のこと。支持間隔は、仕様による。

土間鉄筋に結束のこと

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。棒鋼を土間鉄筋に結束する場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。支持間隔は、仕様による。

土間コンクリート中間位置

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。棒鋼を土間鉄筋に仮止めする場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。支持間隔は、仕様による。

インポート樹 施工要領図 S-1 ・ S-2

既製樹縁塊
目地モルタル
既製樹側塊
モルタル仕上げ
ミルタル
コンクリート
桷コンクリート

100 100 100 100 100 100 100 100 100 100

	H-600以下	H-600超
寸法	S-1	S-2
T	450 × 450	600 × 600
t	45	50
t	100	120
A	700	850

1. 蓋は錆鉄製防臭蓋とする。
(鎖付き、汚水マーク入り)
2. 既製樹側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 既製樹側塊、縁塊は、ズレを防止する構造とする。

[illegible]

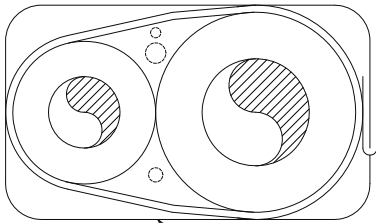
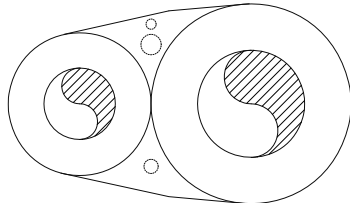
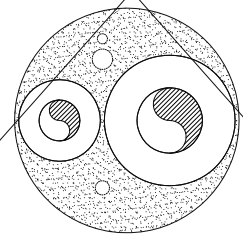
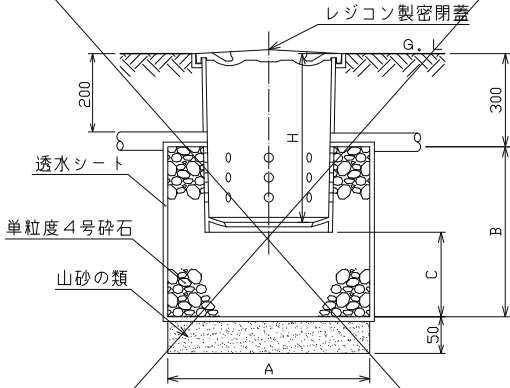
名 称	記 号	実内径	受 枠	安全荷重	備 考
防臭中耐蓋	MHA-45	450φ	560	1500kg以上	
防臭中耐蓋	MHA-60	600φ	710	1500kg以上	
防臭重耐蓋	MHD-45	450φ	560	5000kg以上	
防臭重耐蓋	MHD-60	600φ	710	5000kg以上	







W	H	柵 塊			既設 縁塊
		150H	300H	450H	
450	250 ~ 400			1	1
450	400 ~ 550	1			1
450	560 ~ 700		1		1
450	710 ~ 850			1	1
600	530 ~ 680		1		1
600	690 ~ 830	1	1		1
600	840 ~ 980				2
600	990 ~ 1130	1			2
600	1140 ~ 1280		1		2
600	1290 ~ 1430	1	1		2

W		H	側塊			既製 縁塊	
			150H	300H	450H		600H
450	250 ~ 400					1	1
450	400 ~ 550	1				1	1
450	560 ~ 700			1		1	1
450	710 ~ 850				1	1	1
600	530 ~ 680				1	1	1
600	690 ~ 830	1	1			1	1
600	840 ~ 980					2	1
600	990 ~ 1130				1	2	1
600	1140 ~ 1280					2	1
600	1290 ~ 1430	1	1			2	1

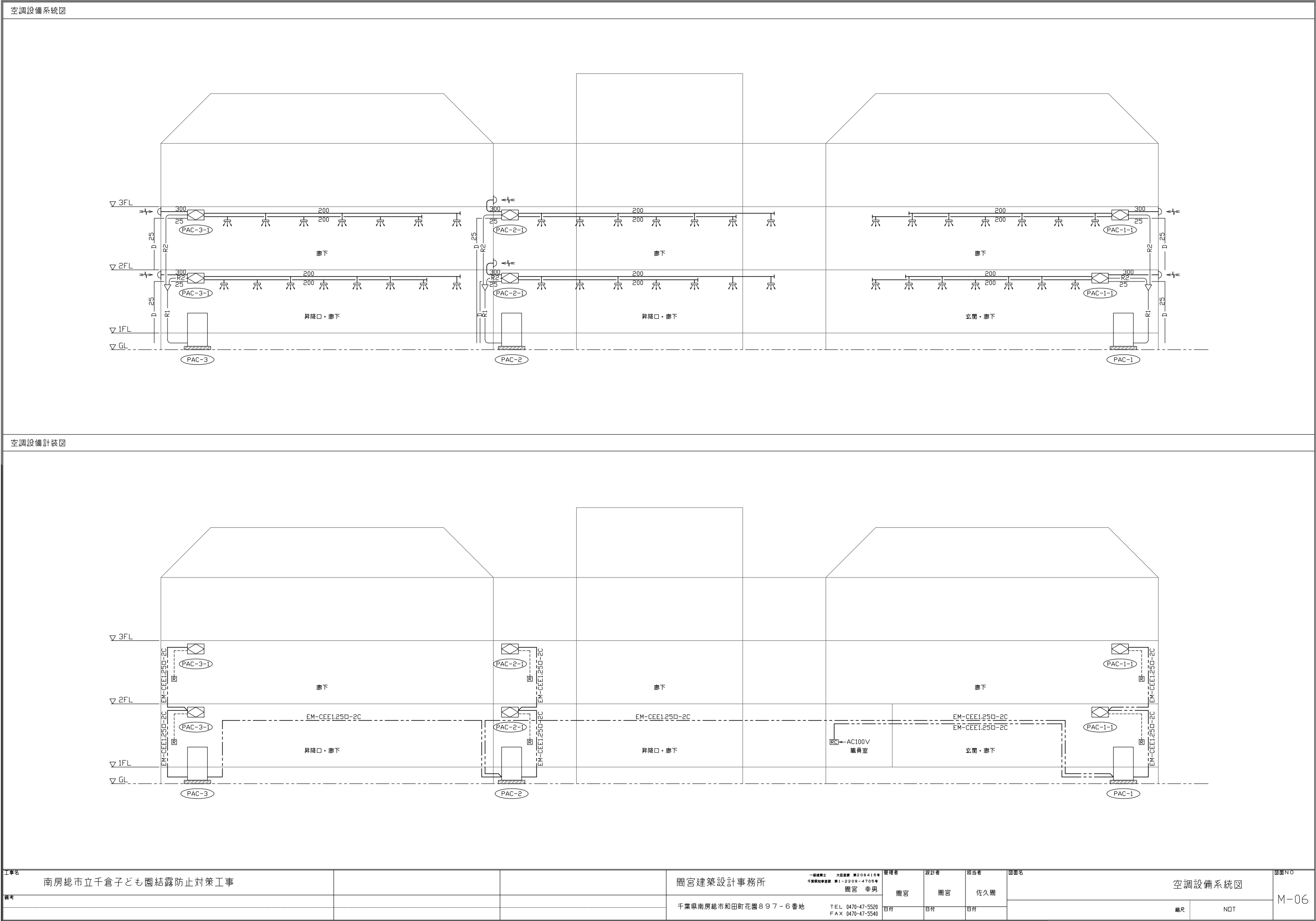
工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事	間宮建築設計事務所	一級建築士 大原登雄 第208419号 千葉県知事登録 第11-2209-4705号	管理者 間宮 幸男	設計者 間宮	担当者 佐久間	図面名 機械設備工事特記仕様書(3)	図面NO M-03
備考		千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺 NOT	

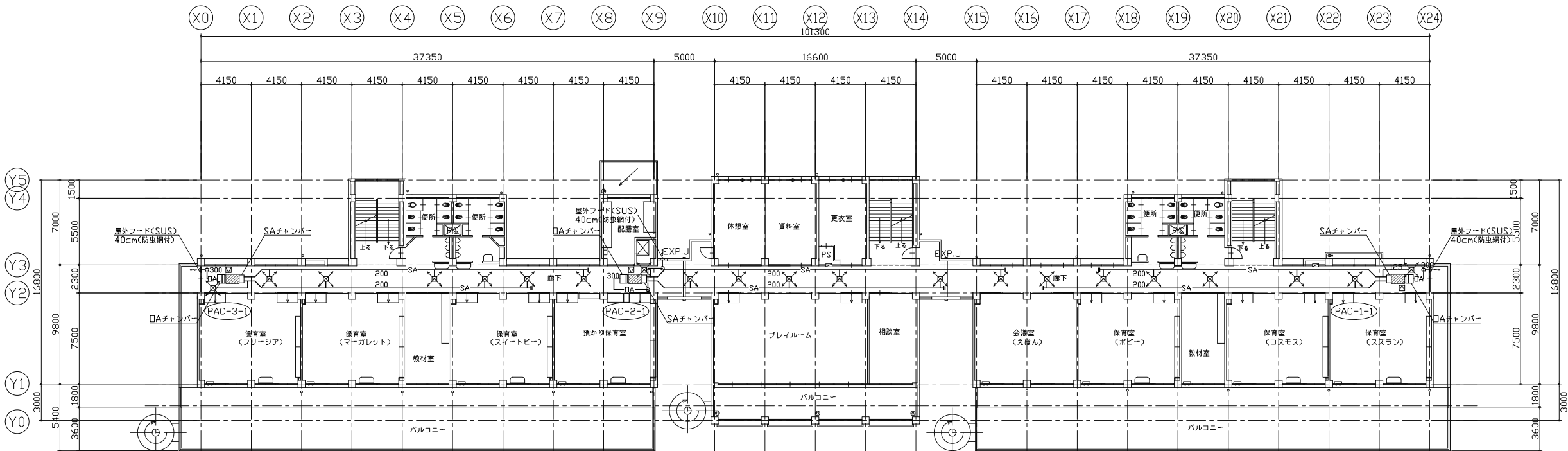
空調設備機器表									
機器番号	機器名称	設置場所		機器仕様	台数	電動機			備考
		階	室名			KW	V	φ	
PAC-1	マルチエアコン	1	屋外	冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW	1	6.85	200	3	EHP
	室外機			冷媒ガス R32					耐塩害仕様
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 25.4φ					参考型式RXGA280AE
				附属品:接続配管キットその他附属品一式					参考重量=259kg
PAC-1-1	外気処理エアコン	1	廊下	冷房能力 14.0KW 暖房能力 8.9KW	2	0.38	200	1	EHP
	天井埋込形	2	廊下	ドレン管 25φ ファン風量1080m3/h 200Pa以上					参考型式FXYMA140ZAN
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ 冷媒ガス R32					参考重量=86kg
				附属品:ワイヤード多機能リモコン、フィルターチャンバー、					
				冷媒制御ユニット、高性能フィルター<JIS比色法65%タイプ>					
				ロングライフフィルターその他附属品一式					
PAC-2	マルチエアコン	1	屋外	冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW	1	6.85	200	3	EHP
	室外機			冷媒ガス R32					耐塩害仕様
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 25.4φ					参考型式RXGA280AE
				附属品:接続配管キットその他附属品一式					参考重量=259kg
PAC-2-1	外気処理エアコン	1	廊下	冷房能力 14.0KW 暖房能力 8.9KW	2	0.38	200	1	EHP
	天井埋込形	2	廊下	ドレン管 25φ ファン風量1080m3/h 200Pa以上					参考型式FXYMA140ZAN
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ 冷媒ガス R32					参考重量=86kg
				附属品:ワイヤード多機能リモコン、フィルターチャンバー、					
				冷媒制御ユニット、高性能フィルター<JIS比色法65%タイプ>					
				ロングライフフィルターその他附属品一式					
PAC-3	マルチエアコン	1	屋外	冷房能力 28.0KW 暖房能力 31.5KW	1	6.85	200	3	EHP
	室外機			冷媒ガス R32					耐塩害仕様
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 25.4φ					参考型式RXGA280AE
				附属品:接続配管キットその他附属品一式					参考重量=259kg
PAC-3-1	外気処理エアコン	1	廊下	冷房能力 14.0KW 暖房能力 8.9KW	2	0.38	200	1	EHP
	天井埋込形	2	廊下	ドレン管 25φ ファン風量1080m3/h 200Pa以上					参考型式FXYMA140ZAN
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ 冷媒ガス R32					参考重量=86kg
				附属品:ワイヤード多機能リモコン、フィルターチャンバー、					
				冷媒制御ユニット、高性能フィルター<JIS比色法65%タイプ>					
				ロングライフフィルターその他附属品一式					
	集中リモコン	1	職員室	集中制御機器	1		100	1	参考型式DCM601C1
				<液晶タッチパネル、スケジュール機能、ON/OFF、消し忘れ防止>					

空調設備標準図														
<div>樹脂製ケース</div> <div>保温化粧ケース（屋内・屋外）<table><tr><td>保温化粧ケース</td></tr><tr><td>ビニール粘着テープ</td></tr><tr><td>鉄線</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table><div>保温化粧ケース</div><div>注）制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。</div></div>	保温化粧ケース	ビニール粘着テープ	鉄線	断熱材被覆銅管	<div>屋内保温（隠ぺい）</div> <div>屋内隠ぺい<table><tr><td>ビニル粘着テープ ※1 （1 mにつき1箇所2回巻）</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table><div>注）制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。 ※1 電気絶縁用ポリ塩化ビニルテープ（t=0.2mm）</div></div>	ビニル粘着テープ ※1 （1 mにつき1箇所2回巻）	断熱材被覆銅管							
保温化粧ケース														
ビニール粘着テープ														
鉄線														
断熱材被覆銅管														
ビニル粘着テープ ※1 （1 mにつき1箇所2回巻）														
断熱材被覆銅管														
<div>ステンレスカバー</div> <div>屋外露出<table><tr><td>ステンレス鋼板・溶融アルミニウム亜鉛鉄板</td></tr><tr><td>ポリエチレンフィルム（1/2重ね巻き）</td></tr><tr><td>鉄線（1 mにつき1箇所以上2回巻締め）</td></tr><tr><td>グラスウール保温材</td></tr><tr><td>断熱材被覆銅管</td></tr></table><div>注）制御線、アース線及び動力線は必要に応じ入れるものとする。</div></div>	ステンレス鋼板・溶融アルミニウム亜鉛鉄板	ポリエチレンフィルム（1/2重ね巻き）	鉄線（1 mにつき1箇所以上2回巻締め）	グラスウール保温材	断熱材被覆銅管	<div>浸透枳（ポリプロピレン製）</div> <div><table><tr><td>枳口径</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr><tr><td>300</td><td>600以上</td><td>510</td><td>110</td></tr></table></div>	枳口径	A	B	C	300	600以上	510	110
ステンレス鋼板・溶融アルミニウム亜鉛鉄板														
ポリエチレンフィルム（1/2重ね巻き）														
鉄線（1 mにつき1箇所以上2回巻締め）														
グラスウール保温材														
断熱材被覆銅管														
枳口径	A	B	C											
300	600以上	510	110											

空調設備 凡例			
記 号	名 称	材 質	備 考
	新設機器		
—R—	冷媒管	断熱材被覆銅管	
—D—	ドレン管	硬質ポリ塩化ビニル管(VP)	
—□A—	外気ダクト	スパイラルダクト<低圧>	GW25t
—SA—	空調送気ダクト	スパイラルダクト<低圧>	GW25t
∅VD	風量調整ダンパー	亜鉛鉄板	
∅FD	防火ダンパー	亜鉛鉄板、ヒューズ付	ヒューズ仕様 一般72℃、火気使用120℃
	制気口<吐出口>	アルミ製	
	制気口<吸込口>	アルミ製	
	ベンドキャップ	ステンレス製	深型、防虫網付
	壁貫通<はつり補修>		壁コア抜き
	114条区画貫通		区画貫通処理

工事名	南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事		問宮建築設計事務所	一級建築士 大臣登録 第208415号 千葉県知事登録 第1-2209-4705号 問宮 幸男	管理者 問宮	設計者 問宮	担当者 佐久間	図面名	空調機機器表	図面NO	M-05
備考			千葉県南房総市和田町花園897-6番地	TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	日付	日付	日付	縮尺	NOT		





制気口リスト(PAC-3-1)

名称	設置場所	仕様	数量
吐出口	2階廊下	VHS200x200 155m3/h	7

BOXリスト(PAC-3-1)

名称	設置場所	仕様	数量
BOX	2階廊下	300x300x300	7

制気口リスト(PAC-2-1)

名称	設置場所	仕様	数量
吐出口	廊下	VHS200x200 155m3/h	7

BOXリスト(PAC-2-1)

名称	設置場所	仕様	数量
BOX	2階廊下	300x300x300	7

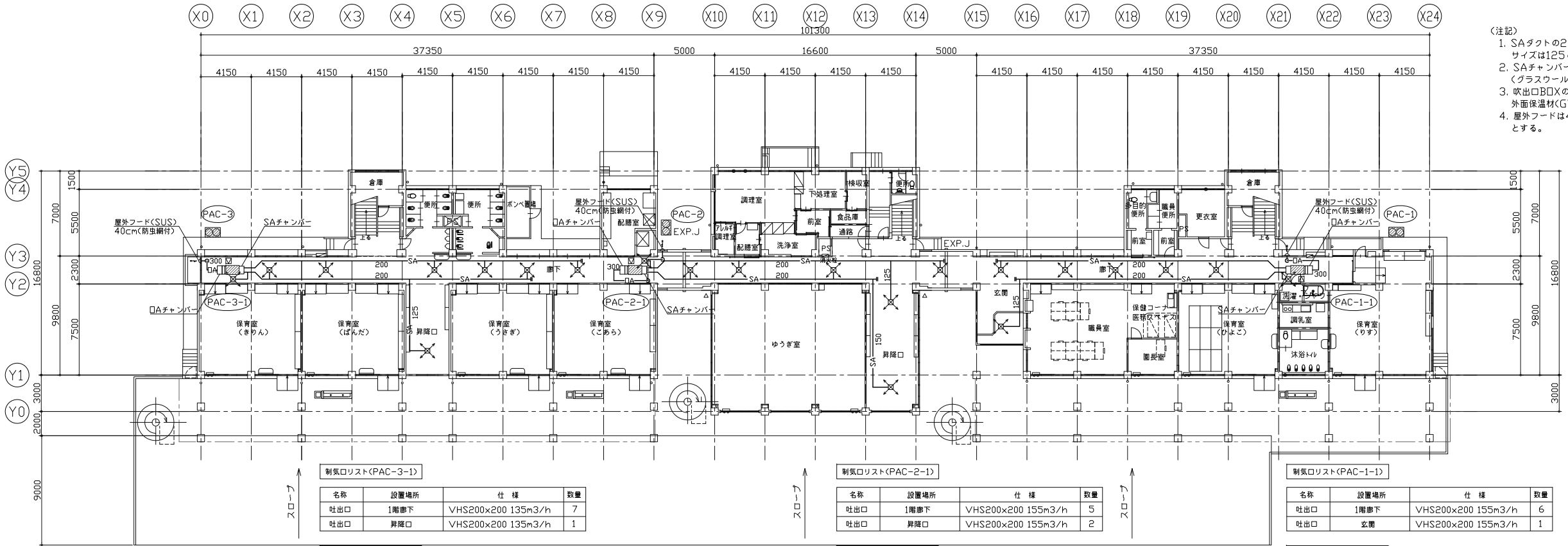
制気口リスト(PAC-1-1)

名称	設置場所	仕様	数量
吐出口	2階廊下	VHS200x200 155m3/h	7

BOXリスト(PAC-1-1)

名称	設置場所	仕様	数量
BOX	2階廊下	300x300x300	7

2階 平面図



制気口リスト(PAC-3-1)

名称	設置場所	仕様	数量
吐出口	1階廊下	VHS200x200 135m3/h	7
吐出口	昇降口	VHS200x200 135m3/h	1

BOXリスト(PAC-3-1)

名称	設置場所	仕様	数量
BOX	1階廊下	300x300x300	7
BOX	昇降口	300x300x300	1

制気口リスト(PAC-2-1)

名称	設置場所	仕様	数量
吐出口	1階廊下	VHS200x200 155m3/h	5
吐出口	昇降口	VHS200x200 155m3/h	2

BOXリスト(PAC-2-1)

名称	設置場所	仕様	数量
BOX	1階廊下	300x300x300	5
BOX	昇降口	300x300x300	2

制気口リスト(PAC-1-1)

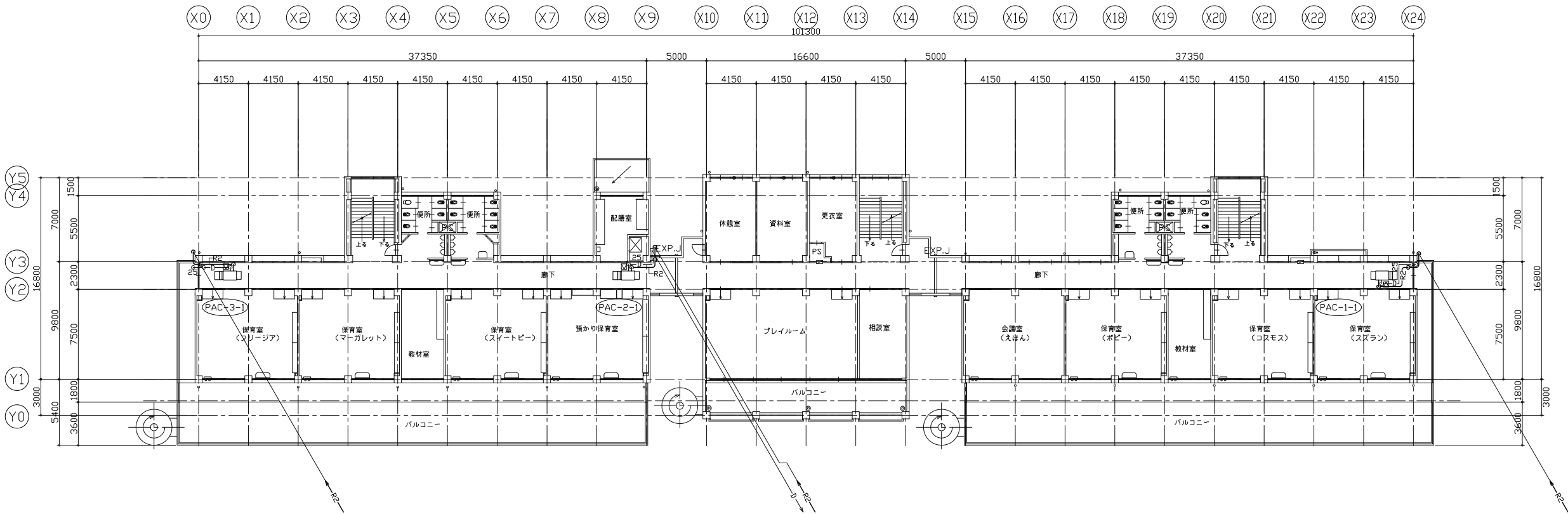
名称	設置場所	仕様	数量
吐出口	1階廊下	VHS200x200 155m3/h	6
吐出口	玄関	VHS200x200 155m3/h	1

BOXリスト(PAC-1-1)

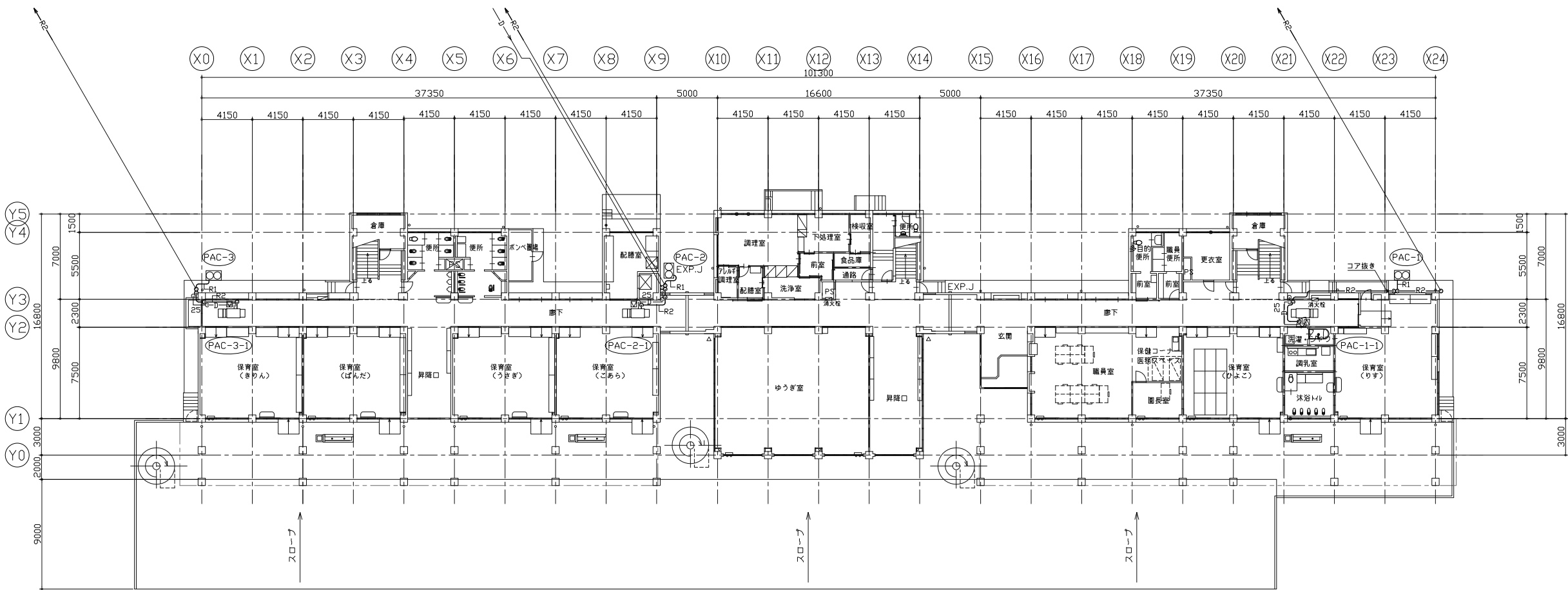
名称	設置場所	仕様	数量
BOX	1階廊下	300x300x300	6
BOX	玄関	300x300x300	1

1階 平面図

- 〈注記〉
1. SAダクトの200φスパイラルダクトから吹出口BOXへのダクトサイズは125φとする。(但し中央昇降口は150φとする。)
 2. SAチャンバー及びOAチャンバーは板厚1.0mmとし、外部保温(グラスウール厚25mm)アルミガラスクロスとする。
 3. 吹出口BOXの板厚は0.8mmとし、内面消音材(GW厚25mm)外面保温材(GW厚25mm)アルミガラスクロスとする。
 4. 屋外フードは40cmステンレス製給気用フードとし、防虫網取付とする。

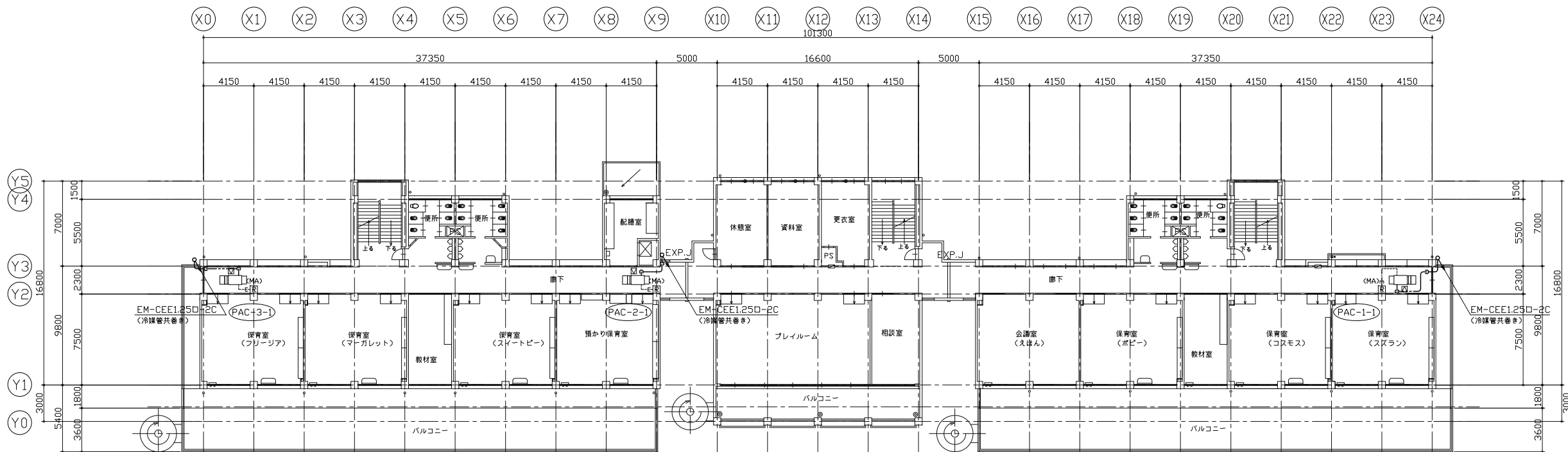


2階 平面図

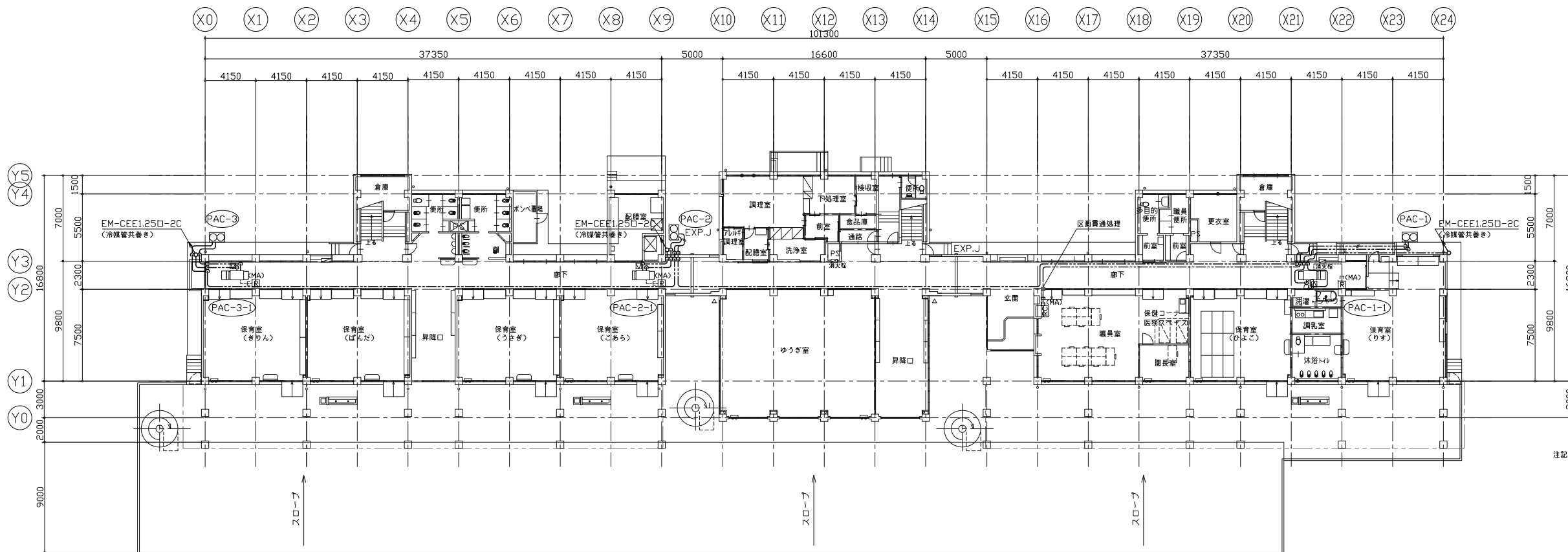


1階 平面図

記号	冷暖配管サイズ	備考
R1	9.5φ+22.2φ	EM-CEE1.25D-2C
R2	9.5φ+15.9φ	※



2階 平面図

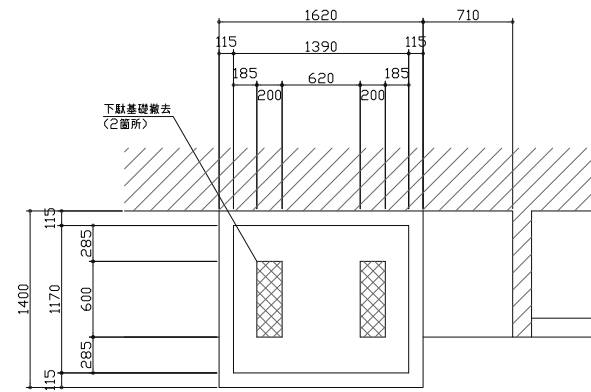


- 注記)
- 1) 図中の□は集中リモコンを示す。
 - 2) 図中の図はワイヤード多機能リモコンを示す。
 - 3) 図中の(MA)はMMI-Aを示す。
 - 4) 表記なき配線は下記による。
(天井ごし及び冷暖房共働き)
—— EM-CEE1.25D-2Cx2
- - - EM-CEE1.25D-2C
- - - - EM-CEE1.25D-2C

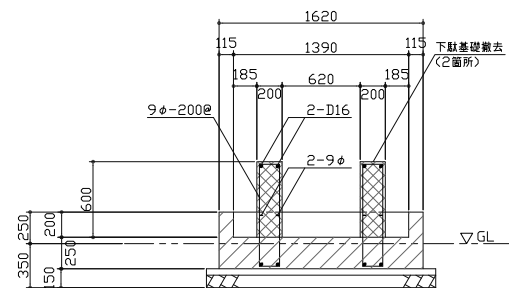
1階 平面図

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事	設計者 間宮建築設計事務所	図面名 1、2階空調リモコン配線図	図面NO M-09
備考	千葉県南房総市和田町花園897-6番地 TEL 0470-47-5520 FAX 0470-47-5540	縮尺 1/200	

既存機械基礎撤去

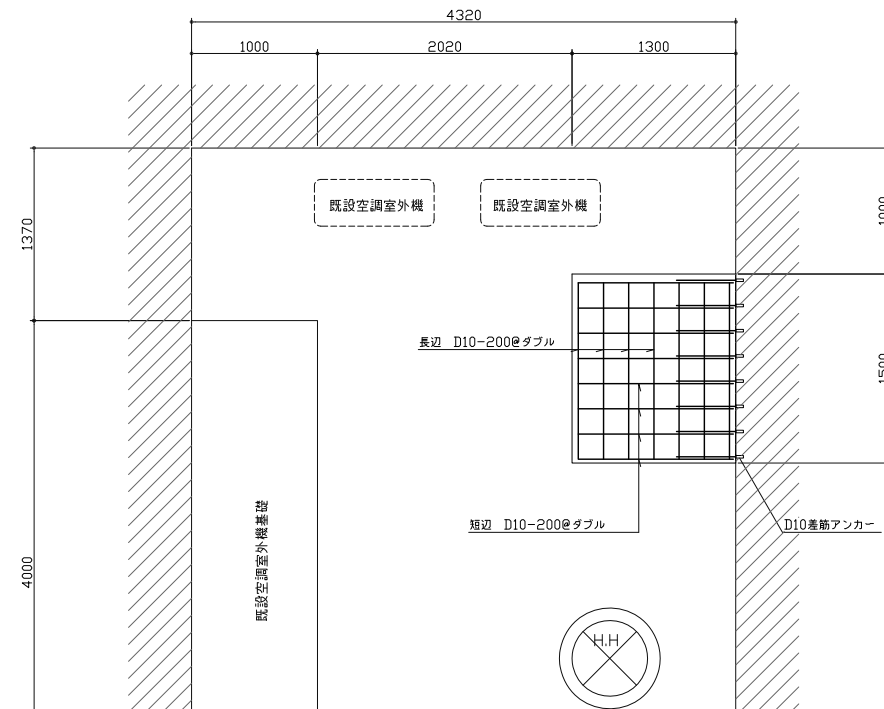


平面图

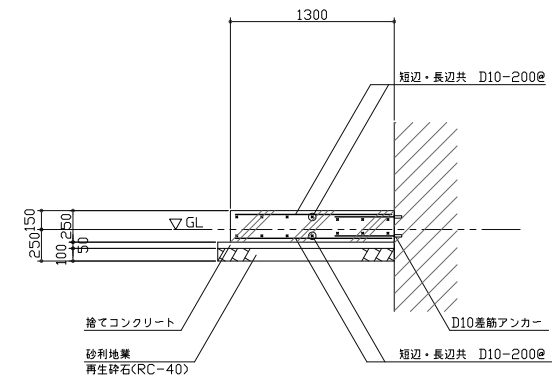


断面图

PAC-2用基礎



平面图

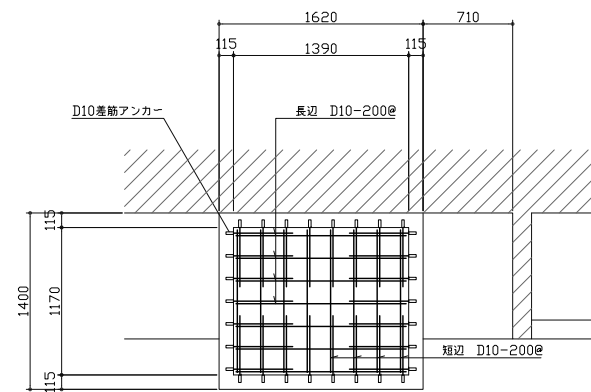


断面图

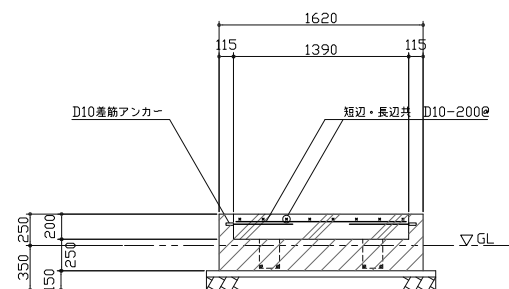
機械基礎一般事項			
項目	設計基準強度 F C=N/mm ²	スラブ Cm	備考
再生砕石RC40			厚 100mm
捨コンクリート	18	18	厚 50mm
コンクリート	21	18	厚 250mm

鉄筋	SD295A(JIS規格品) 異径鉄筋	SD10	
		縦手・定数40dとする	

PAC-1用基礎



平面图

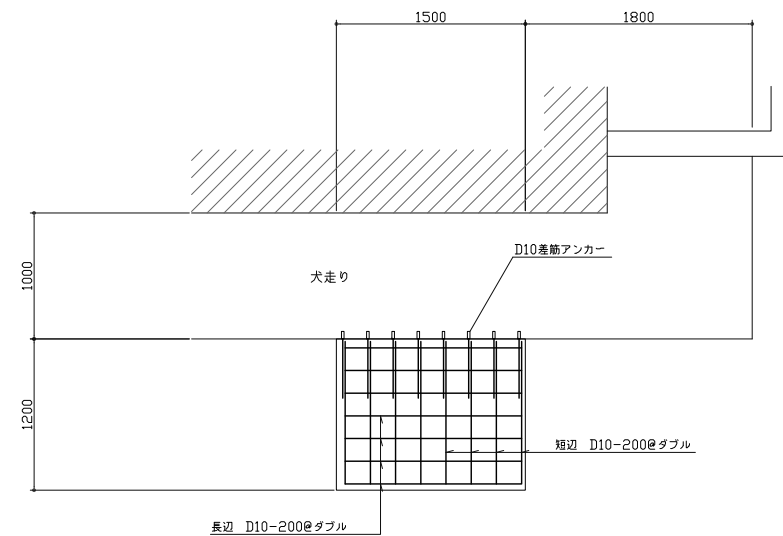


断面図

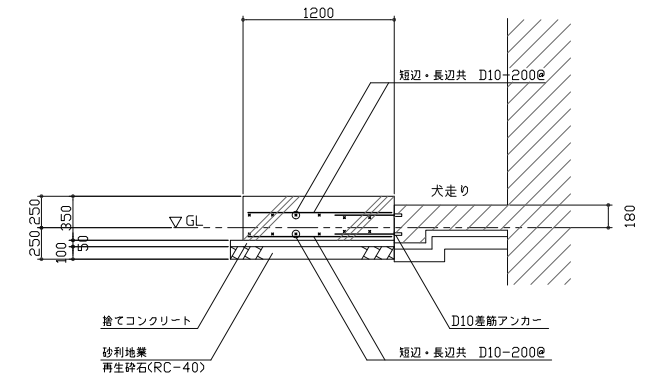
機械基礎一般事項			
項目	設計基準強度 Fc=N/mm ²	スラブ cm	備考
再生砕石RC40	既存のまま		厚 100mm
給コンクリート	既存のまま		厚 50mm
コンクリート	≥1	18	厚 450mm

鉄筋	SD295A(JIS規格品) 異径鉄筋	SD10
		継手・定着4dとする

PAC-3用基礎



平面图



断面图

機械基礎一般事項			
項目	設計基準強度 F _c =N/mm ²	スラブ cm	備考
再生砕石RC40			厚 100mm
輪コンクリート	18	18	厚 50mm
コンクリート	21	18	厚 350mm

鉄筋	SD295A(JIS規格品) 異径鉄筋	SD10	握手・定寸40dとする

工事名 南房総市立千倉子ども園結露防止対策工事

備考

間宮建築設計事務所

千葉県南房総市和田町花園897-6番地

一級建築士 大臣登録 第208415号
千葉県知事登録 第1-2209-4705号
間宮 幸男
TEL 0470-47-5520
FAX 0470-47-5540

5号	管理者	
号		
月		圖書

設計者	
問	

担当者	佐久
-----	----

图面名

空調室外機基礎図

縮尺

1/30

圖面NO

M-10